

てゐるかのやうであるが、非常に頭腦よく、支那の複雑な政治に通曉し、財政經濟にも非常に明るく、それ等の點では海千山千の支那政治家も頭が上らぬと云はれ、秀才揃ひの宋家に於ても一頭地を抜き、弟の子文、良人の孔祥熙も實は彼女の糸に操られる人形だときへ云はれてゐる。

宋慶齡 宋家の次姉で、大正三年孫文と我國で結婚し夫君を援けて大いに革命運動に力を盡し、孫文の死後は三民主義の宣傳に努め、國民政府内にも隠然たる勢

イスラビヤ、スイス、ハンガリー、ルーマニヤ、ブルガリヤ、ギリシヤ、アルバニヤ、スペイン、ポルトガル、オランダ、ベルギー、デンマーク、リトアニヤ、ラトビア、エストニア、フィンランド、スエーデン、ノールウェー等がある。その中のスイスは永世中立國で超然としてをり、オランダ、ベルギー、デンマーク等も中立を表明し、リトアニヤ、ラトビア、エストニア、フィンランド、スエーデン、ノールウェー等は、國も小さく、北に偏してゐるので、殆んど問題の渦中に捲きこまれることはない。又ポルトガルは矢張り中立的立場にあり、アルバニヤは伊太利の保護國同様であるから問題外である。そこで問題の渦を巻いてゐるのは自餘の九ヶ國は、近東のトルコを加へて、常に歐洲の狭い天地で己巴と入り亂れて外交戦を闘はしてゐる。

これを一國一國切り離して説明すると非常に面倒でもあり長くもなるから、最近の方法に従つて二大別にするのが最も便利なやうである。即ち持てる國と持たざる國、自由主義國と全體主義國、この二つである。然もそれが、持てる國は自由主義

力を持つてゐるが、蒋介石の國共分離策に反對してソ聯入りをし、繼子孫科と共に容共策に狂奔し、支那人民戦線派の一枚看板として活動してゐる。

宋美齡 宋家の三女傑の末妹で、蒋介石夫人である。米國の大學に遊び蔣との結婚は昭和二年であるが、たゞ家庭に止まらず、翌年立法院立法委員となり、革命遺族學校長、航空委員會委員等となつて絶大の力を揮ひ、蒋介石のある所必ず宋美齡あり、歐米派の總帥と目され、抗日政策に大童と

國であり、持たざる國は全體主義國である所にまた面白い興味が湧いて来る。尤も、持てる國といつても、その實は英佛二國だけで、他の小國家に至つては持たざること甚しいのであるが、大家に仕へる出入職人のやうなもので、旦那のお先棒をかつぐだけであり、持たざる國の選手は獨逸と伊太利、及びこの獨伊樞軸に左右される若干の小國である。ところが近頃に至つてその色分けは甚だ困難になつて来たところ、歐洲外交の複雑性がある。言ひかへれば、英佛と獨伊の對抗が顯著になればなるほど、他の弱小國の色分けはだんく怪しくなつて來、歐洲の惱みは此處に胚胎してゐる。

世界大戰直後にはこの色分けはハッキリしてゐた。戦争は濟んだが敵と味方とはハッキリ分れてゐた。即ち同盟軍側と聯合軍側である。同盟軍側は獨逸を中心として、オーストリア、ハンガリー、ブルガリヤ、トルコの五ヶ國であつた。この中トルコは地域の關係上間もなく離れて行つたが、その代りに聯合軍側から伊太利といふ有力者が加はつて來た。聯合軍側は、アメリカや日本は別として、歐洲にあつては主

なつてゐる。本年三十九歳
宗子良 宋家の次男で、宋美齡の弟、現廣東財政廳長
宗子安 宋家の末弟で、現在四明銀行理事。
宋哲元 山東省樂陵出身。長じて軍籍に入り、馮玉祥麾下となつて蕪陶を受け、昭和四年馮が反蔣戦に敗れるやその軍隊を整理し、馮治安、張自忠、劉汝明、張人傑等を麾下に收め暫編第二師を編成し、昭和八年全軍河北省に入り、熱河戦に我軍と戦つて敗れたが察哈爾省に退いて却つて勢力を増大し、昭和十年梅津何應

として英、佛、伊であり、これにソ聯、ルーマニヤ、セルビヤ（今のユーゴースラビア）、ギリシヤ、アルバニヤ等が加はつてをり、ポーランド、チェコスロバキア、リトアニヤ、ラトビア、エストニア、フィンランド等は當然聯合軍側の手先となつた。何故なら、この六ヶ國は世界大戦前には此の世に存在しなかつた國家であり、獨逸いぢめの一手段として、民族自決の美名の下に、聯合國の手で作られ出された新興國家だから、生みの親であり育ての親である英佛に追隨するのは當然のことである。聯合國は民族自決を唱へ、自由主義的平和主義を高唱して國際聯盟を作つたが、これとても要するに同盟國側に講和條約を履行させる目付役、差配人として作られたもので、それ以外に大した意味のあつたものではない。聯合國達は敗けた同盟國の領土を削り、天文学的數字だといはれたほど勘定し切れない巨額の賠償金を課し、軍備を極度に制限し、國際的地位を剝奪し、手をもぎ足を切つて再び起つ能はざる片輪者にしてしまつた。同盟國側は悲鳴を揚げた。併し同病相憐れむの情は人民の間にも強まり、精神的には一層鞏固な同盟をするやうになつた。（勿論事實上の同盟を

欽協定によつて中央軍が河北省から撤退するや河北省に入つて平津衛戍司令となり、第二十九軍長、冀察政務委員會委員長となつたが元來抗日運動の波に乗つて榮達しただけに我軍に抗して支那事變の大事を惹起し支那を誤らせた。本年五十五歳

蘇炳文 滿洲國奉天省新民縣の人。保定軍官學校卒業。滿洲國建國當時東支鐵道護路軍哈滿司令となり、ウランバイル市政準備所長を兼ねたが、後ウランバイル獨立を策し、自ら東北民衆救

結ぶことは許されなかつたが）オーストリアの如きは大戰前には有力な同盟國のメンバーであり、大戰の張本人の一人であつたが、經濟的に一人立ちの出来ないほどの弱小國に轉落した結果、負すりや鈍する譬への通り、國際聯盟や佛國の少なからぬ御厄介になつた關係上、一時はフランスの門前に尾を振つて行つたが、獨逸が立ちなほると同時に、血は争はれぬもので、いつしか親獨となつてしまつた。伊太利は聯合國である。だが世界大戰前までは獨逸と同盟を結んでゐたが、同盟國側の形勢の宜しくないのを見て、聯合國側についてしまつた。それは明かに不信行爲である。だが元來フランスと仲の悪い伊太利は、平和會議への不満もあつて、再び獨逸と舊交を温め、ヒットラーが出るに及びムツソリーニは一層これと固く握手してしまつた。かうして歐洲の天地は、同盟國の國力恢復と共に、對立状態は大戰前と同様な形勢となつた。

バルカン問題とは何か

國司令となつて叛亂したが皇軍に撃破せられてソ聯領内に逃げ、昭和十年新疆省に入つてソ聯と結び抗日を續けてゐる。年四十八。

孫科 孫文の先夫人の嫡子で、宋慶齡の繼子に當る米國のカリフォルニア、コロンビア兩大學に學び、父の革命運動に従ひ、父死後は所謂太子派の領袖として國民黨左派に對抗して一方の旗頭となり、武漢南京合體後は國民政府財政部長等になつたが、胡漢民が廣東政府を興すやこれに加はり廣東南京合體後は南京に出

歐洲の外交關係を論ずる者は、曾ては誰でもバルカン問題を口にした。そして、バルカン半島は世界大戰前にも歐洲の火藥庫だといはれ、文字通り爆發して歐洲の天地を引つくり返したが、バルカンの火藥庫性は大戰後にも失はれず、寧ろそれ以上になつた。必ずやバルカンは第二次世界大戰の火藥庫ともなるだらうといふのである。何故かといふと、此の半島には、ルーマニヤ、ブルガリヤ、ギリシヤ、ユーゴスラビヤ、それからトルコがある。大戰前にはトルコは今日以上にバルカンに領土を持ち、それだけ勢力もあつたが、今ではイスタンブールを残すほかは全く東洋に退いてしまひ、バルカンの渦巻の中からは稍遠ざかつた形である。だがイスタンブールといふ曾ての首都を持つてをり、ギリシヤやブルガリヤが若し國境に大砲を据付けるならば、砲弾は直接イスタンブールの市中に落下するといふ慘目な状態にある。従つて國境線をも少し擴大してその危険から逃れると共に、アワよくば昔の盛時を取戻したいと希つてゐる。だが、それはまだ大したことではない。バルカンの大火藥庫といはれるものは、何といつても敗戦の苦杯を嘗めたブルガリヤ

で國民政府行政院長となり翌年汪蔣合作成るや職を去り、立法院長に任じられても上海に引籠つて出でず、昭和八年初めて出で就任した。親ソ派の大立物で、事變後もソ聯と往復して容共抗日策に狂奔してゐる。本年五十二歳。

孫文 字は逸仙。廣東省香山縣の人。幼にしてハワイに渡り、基督傳道學校を経て高等教育を受け、歸國して香港醫學專門學校に入り、澳門で醫を開業。明治十七年清佛戰爭を見て清朝覆滅を考へ、秘密結社を

である。

ブルガリヤ人は成吉思汗の後裔と土民との混血した蒙古人種に屬し、勤勉で、強健で、黙々として一事業に精進する眞面目な人種であるが、祖先の血は争はれず、勇猛で恥を知る武士的性質がある。故にバルカンを制するものは恐らくブルガリヤ人だらうといはれてゐる位である。長くロシヤやトルコのために虐めぬかれて來たが、孜孜として努力した結果、大戰前にはバルカン有数の大國となり、領土は現在のルーマニヤの南部、ギリシヤの北部、ユーゴスラビヤの東部を持つてゐるが、一敗地に塗れてからは周圍を削り取られてしまつた。併しブルガリヤ人は再建の意氣を捨てず、マセドニヤ問題で度々ユーゴスラビヤやギリシヤと争つて來た。マセドニヤ問題といふのは、ブルガリヤ人と同人種であるマセドニヤ人を助け、その居住地をブルガリヤに併合しようといふ問題である。マセドニヤ人は丁度ユーゴとギリシヤとブルガリヤの三國々境に跨つて住んでゐる。言語も風俗も全く同じであり、姻戚關係の者も多いのに、彼等は國籍を三つに分ち、三種の政策に従は

作り、明治二十八年反清暴動を企てて失敗。歐米を逃げ廻つて日本に亡命し、日本の志士と交はつて志を固くし、明治三十三年廣東省惠州に擧兵して失敗、再び歐米を逃げ廻り、日本に来て黄興、宋教仁等と中國同盟會を興し、支那留學生を糾合し、不撓不屈の革命運動を續け明治四十二年第一次革命に成功して中華民國臨時大總統となつたが、袁世凱に欺かれ、第二次革命に失敗して日本に亡命し、後廣東に歸つて廣東軍政府を樹て、中國國民黨を作つて同志を募り、大正十二年

ねばならぬ。だから彼等は自治獨立を主張して各自の所屬する政府に楯つき、ブルガリヤはこれを助けて來た。勇敢なマセドニヤ人は何時なにをするか知れないといふので、非常に恐れられて來たものである。尤もこの問題はユーゴースラビヤが伊太利と接近してからは親獨のブルガリヤとユーゴの間に圓滿になつたが、最近伊太利のアルバニヤ併合でユーゴの態度が怪しくなり、ブルガリヤが再び動き出すやうになつた。

一方それと同時に、ハンガリーとルーマニヤの問題が最近再び火の手をあげようとしてゐる。それは大戦の結果ハンガリー領土の一部がルーマニヤに與へられた。その地方にはハンガリー人が多く棲んでゐる。ハンガリー人も亦蒙古人種で、我が日本民族に非常によく似通つた武士的性格を持ち、勤勉質朴で、主として農を業としてゐる。これに反しルーマニヤ人はラテン系に屬し、非常に怠け者で、おしやれで、商人根性であるから、ハンガリー人が面白く思はぬのも無理がない。ルーマニヤ領のハンガリー人は度々自治を唱へ、ハンガリーはこれに聲援して來た。これは

遂に廣東政府の基礎を固めた。翌年中國共產黨と合同し、ソ聯の援助を受けて益々三民主義による革命を成就させようとしたが、同年北方では段祺瑞が執政となつて政府を樹てゝをり、孫を招いて妥協しようとしたので、北上して天津に入つたが、持病の肝臓疾患のため、再び立つ能はず、大正十四年三月遂に北京に客死した。享年六十。革命の父として遺骸は南京政府により南京城外中山廟に篤く葬られてゐる。

孫連仲 河北省出身。馮玉

火藥庫の一つだといはれてゐたが、最近、チエツコから舊領土の一部を取返し、更にルテナヤ地方まで手中に收めたハンガリーは、その餘勢を驅つてルーマニヤからも舊領地を奪還しようとしてゝをり、ルーマニヤは、獨逸のウクライナ進出と共に必死の防戦に努めてゐる。

歐洲を覆へず火藥庫は、これ等の地方から漸くポーランド及びウクライナ方面へ移動し、嘗てのバルカン問題は全く内容をかへてしまつたが、ウクライナを北部に持つバルカンは、相變らず歐洲の火藥庫たる性質を失はない。

フランスと協商國の關係

フランスは大戦直後、經濟的パニックのために非常な苦境に陥つたことがある。だがこの危機を抜け出してからは却つて世界中の金がフランスに集まるやうな結果となり、經濟的にも、政治的にも、一時は英國を凌ぐ盛時を現出したものである。だがフランスの眼の上の瘤は獨逸である。獨逸が何時仇討に來るかも知れない。何

祥の一兵卒から累進し、昭和二年第二集團軍第十二軍長となり、北伐後青海省主席に任ぜられ、昭和五年中央軍第二十六路軍總指揮兼第二十五師長となり、昭和六年江西の共産軍討伐に當つたが大敗し、その後第三十軍長となる。

戴天仇 浙江省吳興縣の人我が國學院大學に學び、第一革命より孫文に従つて活動し、大正八年山東問題の際排日宣傳の首唱者となり昭和三年國民黨中央黨部宣傳部長となり、次いで考試院長、中央執行委員等とな

とかして獨逸の手足をもぎ取つて仇討の出來ぬやうにしておきたい、と考へた。ヴェルサイユ條約はフランスが全力を注いで獨逸を再起不可能にするために作つた條約である。陸軍は十萬以上持つてはならぬ、海軍は一萬噸以上の戦艦を造つてはならぬ、軍用飛行機は五臺以上持つてはならぬ、ライン地方へ軍隊を入れるな、要塞を築くな、等と、手出しのならぬものにしておき、その上天文學的數字の大賠償金をとつて、獨逸國民が百年飲まず食はずに働いても賠償金を拂ひ盡せないやうにし、つまり仇討がしたくても武器も金もない状態にしておいた。併しフランスはそれでも安心出來なかつた。そこで民族自決主義に賛成して、チェッコスロバキア、ポーランド、リトアニア等の新しい國家を造り、獨逸の領土を削ると同時に獨立の恩恵を賣つて獨逸を包圍せしめた。そしてこれ等の新興國を經濟的、政治的に援助しながら協商を結び、更にその國同士でも固い協商を結びしめ、手を繋いだ上に肩まで組み合せて、離れまい放すまいことを誓つた。これを世に小協商國といふ。小協商國達はフランスの威を借りて國際外交界に相當の地位を占め、殊にチェッコの如き

り政治の第一線から去る。本年五十七。

張學良 奉天省海城縣の人。張作霖の長子。東三省講武堂を卒業し、父歿後は滿洲の主權を握り、蔣介石と妥協して東三省保安總司令となり、國民黨に入黨して中央の形式的要職を與へられたが、昭和六年我が軍に抗して滿洲事變を起し、滿洲を追はれ、舊東北軍を擁して北平にあつたが、蔣介石の巧妙な政策に乗せられ、昭和十年西北剿匪副司令として陝西省西安に移駐され、勢力頓に衰へた。故

は國際聯盟でも議長を務めるほどに顔を賣つた。彼等はいよ／＼フランスを徳としフランスの内意を受けて獨逸包圍の態勢をとつてゐた。これは單にフランスに媚を呈しなければならぬからばかりではない。みな幾分かづ、獨逸の領土を取り、獨逸民族を包含してゐたので、若し獨逸が勃興して舊領土を返せなどと言ひ出されては大變だからである。

ところが此の杞憂は間もなくやつて來た。それはヒットラーといふ英雄が現はれてドイツを再建すると同時に、まるで天秤のやうに、頼みに思ふフランスの勢力が低下して行つたからである。フランスは徹底した自由主義の國民である。ロシアに次いで共產黨の勢力を張る國である。共產黨は國家の安危も考へず、事ごとに政府に桶ついて來た。そして度々大ストライキを指導し、政變を捲き起した。この事はフランスの經濟力を低下せしめ、國務を停頓せしめ、遂には協商國への睨みがきかなくなつてしまつた。そこへ捲起つたのが我が滿洲事變である。フランスは英米を誘ひながら躍起となつて國際聯盟第一主義を唱へ、日本をその決議に従はせようと

に勢力挽回を謀つて蒋介石を突如監禁し、抗日策を強要して再起しようとしたが却つて共産黨に利用せられ蒋介石釋放の後は謹慎を命じられ、今日全く存在さへあるか無きかになつた本年四十一。

張群 四川省華陽縣の人早くより國民黨に入り、第二次革命失敗後我國に亡命し、陸軍士官學校に入り第十期騎兵科出身。歸國後陳其美麾下となつたが、陳の死後は國民黨を離れ、四川の獨立を策したり、第二奉直戦に馮玉祥のクーデター

したが、我國が独自の見地に立つて斷乎これを退けたので、フランスは非常に焦つた。利害關係の少い滿洲事變で日本を怒らせたくないのがフランスの眞意である。だが聯盟規約を守らないでは協商國を牛耳つて行くことが出来ない。何故なら協商國は國際聯盟で造つた國であり、聯盟あつてこそ、聯盟規約が固く守られてこそ自身の安全をはかることが出来るのだから、それを破るやうな一切の行爲に賛成することは出来ない。だから彼等は躍起となつて日本に喰つてかゝつた。日本がそれを拒絶したのは止むを得ないが、フランスが日本を壓へることが出来ず、日本の處置を默認するやうなことをしたので、スツカリ憤つてしまひ、フランスを見限るやうになつた。

老獺極まる英國の外交策

これが協商國達の色分けが怪しくなつてきた原因である。そしてフランスの勢力が愈々低下し、反對に獨伊が擡頭して來た原因でもある。

に參畫したりしたが、その後蒋介石の腹心となり、國民政府軍事委員、上海兵工廠長、軍政部政務次長、東北政務委員會常務委員、湖北省主席、外交部長等に歴任し、昭和十二年三月中央政治會議秘書長となつた。本年五十一。彼は元來蒋介石と同僚だが蔣に従つて政治方面の片腕となつてゐる

張治中 安徽省の産。保定軍官學校卒業後、黃埔軍官學校學生總隊長、中央軍官學校訓練部主任、同教育長等に歴任し、馮玉祥討伐、閻錫山討伐等に當つて武勳

ヒットラーはその有名な著「我が闘争」の中で、かう書いてゐる。「最近三百年の歐羅巴外交史は、大陸諸國が英國に操られて踊つた歴史である。英國は對岸諸國を互に争はせておいて、其の間自分は海上を横行して世界政策を行つた。英國はエリサベス女皇以來、大陸に對して一貫した外交方針を持つて居る。即ち大陸の或る一國が他國を凌いで膨脹しさうになれば、あらゆる手段を用ひ、必要があれば武力に訴へても之を撃つすることである。」

これは何もヒットラーのみの卓見ではなく、爾來歴史家の等しく唱へて來た所である。英佛は昔から大猿の潤柄であつた。何故なら歐洲大陸に於て常に勢力を張るものはフランスだからである。英國はこれを撃つべく軍隊を送りフランス全土を占領した。ジャンダークが起つたのは此の時である。併しジャンダークを以てしてもよく英軍を追拂ふことは出来ず、長くその屈辱に甘んじた。そこでその仇討を企てたのがナポレオンである。ナポレオンは歐洲各國を暴れ廻つてゐたかのやうであるが、その目的は英國にあつた。英國に味方する國を片ツ端から討つて廻り、英國

あり、昭和七年上海事變起るや第五軍長兼第八十七師長として江灣鎮、廟行鎮等に戦ひ、戦後は中央軍官學校にあつて將校養成に努力してゐた。本年四十八。蒋介石直系の股肱である。

張自忠 山東省塩清縣の産。馮玉祥の一兵卒より身を起し、漸次累進し、昭和六年宋哲元の第二十九軍第三十八師長となり、宋哲元が河北政府首席となるや後を襲つて察哈爾政府首席となり、後天津市長となる。知日派なるも今は宋哲元に從ひ轉戦中。本年五十。

張發奎 廣東の人、武昌軍官學校を出で廣西派の巨頭李濟琛に從ひ蔣の北伐に從軍して第四軍長となつたが後李濟琛の留守を襲つて廣東にクーデターを行ひ、廣西軍を追つて廣東に君臨したのも東の間、共產黨暴動の責を負つて下野。一九二八年復職し蔣の北伐軍に從ひ、完了後第四軍長となり後汪兆銘の反蔣運動に参加し、廣西派と妥協して中央軍と戦つたが大敗した。後蔣と妥協し、中央監察委員にあげられたが、目下は甚だ振はない。本年四十五歳

の手足をもぎとつておき、歐洲大陸の全土を擧げて英國に當らうとした。そして遂に失敗し、ナポレオン自身もまた英國のために捕へられて生を終へたのである。併しフランスの國力は強大であつた。そこで英國は獨逸をそのかして普佛戰爭を起さしめ、フランスが負けると初めて安心した。そのうちにロシアが強くなり出し、東洋へ魔手をのびし初めた。すると英國は世界第一の大強國といふ面目などは顧みず、名もない日本と同盟を結んだ。日本をしてロシアを牽制せしめようといふ老獪な外交策である。これも目的を達し、ロシアの國力は衰へた。すると次には獨逸が隆々として擡頭し初めた。すると英國は、昔の仇敵たるフランスと握手して獨逸を牽制し、遂に武器をとつて起ち、世界大戰まで起して獨逸を完膚なきまでにやつつけた。すると今度はフランスが協商國達を牛耳りながら歐洲大陸に覇を唱へ出した。英國は甚だ心穩かならず、獨逸を助けてフランスをいやがらせた。先づ賠償金を少くしてやつた。支拂方法をも考へてやつた。國際聯盟にも加入させて力づけてやつた。ヒットラーが出てからの獨逸はまるで脱兎のやうな勢ひで強大となつたが、

これは決してヒットラーだけの力でなし得たのではない。英國が絶えず背後に立ちヴェルサイユ條約の蹂躪に無言の聲援を送つてゐたからである。そこでヒットラーは次々にヴェルサイユ條約を蹂躪して行き、忽ち英佛を凌ぐ強大な大軍隊を作つてしまつた。あわてたのは英國である。彼は獨逸がこんなに早く強くならうとは豫期しなかつた。そこで再びフランスと結んで獨逸牽制にかゝつた。今や英國はフランスと共に獨伊樞軸の打破に浮身をやつしてゐるのであるが、この二つの老大國が、新進氣鋭の獨伊と果して對抗し得るや否や、これこそ今後の歐洲外交界にかけられた大きな興味である。

チエンバレン外交は何故軟弱か

英國最近の外交は、外務大臣を柵に上げておいて、首相たるチエンバレンが自ら衝に當つてゐる。このチエンバレンの外交策は非常に軟弱だといふので、目下英國議會で大問題にされ、内閣の改造或は更迭まで口にされてゐる。實にチエンバレン

陳果夫 浙江省吳興縣の人
で革命の先達陳其美の甥に
當る。南京陸軍中學卒業後
叔父に従つて第一革命に參
加し蔣介石と相知つてから
その腹心の部下となつた。
大正十二年黃埔軍官學校の
教官となり、次いで國民黨
組織部長代理、組織部長を
歴任し、北伐完了後監察院
副院長、次いで江蘇省政府
主席、中央政治部委員會委
員となる。本年四十七歳。

陳立夫 陳果夫の弟で本年
四十歳。米國ピッツバーグ
大學卒業後、國民革命軍總
司令部秘書長、國民政府訓

外交は傍の見る目にも軟弱に見える。例へば彼は、伊太利に恫喝されて地中海から手を引いたし、伊太利のエチオピア併合は承認したし、スペイン問題でも獨伊を壓へ得ず、むしろフランスを慰めにかゝる一方だし、獨逸に對してはヴェルサイユ條約の破棄を默認し、オーストリアを併合しても文句を云はず、ズデーテン地方接收の時には、寧ろチエッコをなだめて獨逸の目的を容れてやる。そのためには、臍の緒切つて以來一度も乗つたことがないといふ嫌ひな飛行機に乗つて二度まで獨逸に足を運び、世が世ならばヒットラーをロンドンへ呼びつけるべき人が、自らヒョコヒョコと出かけて行き、「平和のためなら何度でも足を運ぶことを辭さない」とまで言はしめてゐる。これを言ひかへれば、「戰爭を避けるためなら、どんな屈辱も敢て忍ぶ」といふのであつて、實に軟弱極まる外交ぶりである。

このチエンパレンの外交策を人は現實主義だといふ。それは前外相イーデンが國際聯盟第一主義で、抽象的な理想を重んじ、現實を輕んじたのに對照して云つた言葉であり、初めには若干チエンパレンを讚める意味に使はれてゐたが、事此處に至つては餘りにも現實主義すぎると言はざるを得ない。だが併しそれは決してチエンパレンのみの罪ではない。英國の現實が軟弱ならざるを得ないからである。

第一に兵力が足りない。フランスと共同しても到底獨逸一國にすら當り得ないからである。元來英國の陸軍は兵力も少いが武器が舊式である。頼みとする海軍も漸次老朽艦となり、一流の新鋭艦と闘ふには心細い。だから武備が整ふまでは隱忍自重せざるを得ないといふので、七重の腰を八重に折つて隱忍し、懸命になつて軍備充實をはかつてゐる。

第二には英國の國家組織が原因してゐる。英國は、領土から太陽の没する事なしといはれるほど地球上至る所に廣大な領土を持つてゐるが、子供も三年経てば三つになり、カナダ、オーストラリア、ニュージールランド等は半分獨立國となり、容易に本國の言ふことをきかないばかりか、直轄の印度すら年々ゴタ／＼して思ふやうに動かない。所で英本國は、重工業こそ發達してゐるが食料は殆んどない。若し殖民地から麥を送つて來なければ國民は忽ち餓死してしまふ。戰爭となれば先づ糧道

練總監部政治訓練所長等から黨の組織部長、組織部委員會副主任、主任等に歴任し別にCC團を組織して首領となり、兄と共に蔣介石の腹心として絶大な勢力を張つてゐる

陳濟棠 廣東省防城縣の人
廣東陸軍軍官學校出身。長
く廣東にあつて實力を養つ
てゐたが、昭和六年廣東派
の巨頭胡漢民が蔣介石に監
禁さるゝや、廣西派と結び
汪兆銘等の反蔣運動と呼應
して廣東政府から第一集團
軍總司令とされ、廣東の獨
裁者として軍事、政治、黨

務等一切の實權を掌握し、廣西と共に半獨立的な存在となつたが、西南事變と共に潰滅し、蔣介石の了解を得て下野外遊した。本年四十七歳。

陳誠 浙江省の産。保定軍官學校卒業後黃埔軍官學校教官となり、營長、團長を経て國民革命第一師副師長となり、次いで第一師長、第十四師長を経て第十八軍長となり、昭和六年共產軍討伐に大功を樹て、昭和十年武昌行營主任、十一年軍政部次長に任じられ、支那事變に際しては初め北支方

を確保せねばならぬ。カナダがこれを引受けてくれればよいが、カナダは最近殆んど本國の言ふことをきかなくなつたし、大西洋航路は獨逸潜水艦の活躍場裡で危い。すると印度かオーストラリアに助けを求めねばならぬが、地中海には伊太利の艦隊や空軍が待つてゐるからスエズ運河は通れず、印度洋及び南太平洋方面も、若し日本が敵に廻れば満足には通れない。だから糧道を確保し得るまでは、立ちたくても立てないのである。

第三には獨逸の東進政策は英國と衝突する所がないから黙認してゐるのである。獨逸はチエツコを手に入れ、此處を通路としてウクライナに食糧及び鐵・石油を求めようとしてゐる。更に進んでコーカサス地方に達するかも知れぬ。だがそれは殆んどソ聯の問題であつて、英國の權益は、殆んど犯されない。然も獨逸が東へ東へといつてゐる間は西、即ち英佛に手を伸ばす餘裕があるまいから、當分英佛は安心してゐられる。その間に軍備を充實し、力の出來た所で一舉に叩いてやらうと隠忍してゐるのであらう。

面の指揮に當つたが、上海戦が初まるやその方の指揮に當つた。蔣介石の秘藏弟子で、才子で、一流の指揮官といはれ、重用されてゐる。本年四十四歳。

陳獨秀 安徽省懷甯縣の人。浙江求是書院、東京高等師範學校速成科等を卒業し、第一、第二革命に加はつたが、大正九年初めて中國共產黨を組織し、大いに活躍した所、トロツキー派と目されてコミンテルンからも除名され、國民政府からも追はれ、昭和七年逮捕されて南京の監獄にあつたが、

だからチエンパレンならずとも英國外交は此處暫く軟弱ならざるを得ない。若しイーデンのやうに理想外交、聯盟第一主義外交であつたならば、徒らに獨伊を刺戟し、今頃は或は第二次歐洲大戰となつてゐたかも知れぬ。理想に走るのは老獪な英國外交の傳統にもとる。チエンパレンは英國外交の正統を行くものかも知れぬ。さるにても、大英帝國の宰相ともあらうものが、ヒヨイ／＼飛び廻つて、ひたすら恫喝を受けてばかりゐるのは餘り見つともよい圖ではない。矢張これは英國が老衰して動脈硬化症にかゝつてゐるものと見なければならぬ。獨逸がチエツコを併合した後、三月十七日の議會でチエンパレンは珍しく強い言葉をもつてヒットラーをこき下し、「二枚舌だ、嘘つきだ、若し英國が蠶食されることがあれば實力を以ても阻止する」といつたが、これも要するに喧嘩が終つて後の大見榮にすぎないだらう。

小協商國の去就

このやうに英佛が弱腰になつたに對し獨伊が強腰に出られる裏面には、歐洲に於

昭和十二年、事變勃發以後國民政府が容共策を取るに及び釋放せられた。

陳友仁 南米に生れ英國で教育を受けたので祖國に歸つても支那語を知らぬ状態であつたが、第一、第二革命等に參加し、昭和二年共產派と結びソ聯に行つて益々親ソ派となり、孫科が行政院長時代に外交部長として花々しい革命外交をやつたが、孫科辭職後は辭して外遊し、目下米國にあつて相變らず親ソ抗日の言辭を弄してゐる。本年六十一。

程潜 湖南省の人。我が

陸軍士官學校第六期砲兵科出身。大正九年廣東政府陸軍部次長、十二年廣東孫文大本營軍政部長となり、北伐軍起るや湖南軍を率ゐて湖南、江西に轉戦し、昭和二年南京を占領し、武漢政府の江蘇政治委員長となり一時蔣介石と争つたが、南京と合併するや第六軍長、第四路軍總指揮、湖北省政府主席、國民政府委員等に歴任したが、李宗仁等の反蔣運動に加はつて追はれ、廣東南京妥協後は再び國民黨中央執行委員會委員、國民政府委員となり、昭和十一年參謀總長となつた。本

ける小協商國達の色分けが大戦直後のやうでなくなつたことに原因する。前述のやうに、ユーゴー、チェッコ、ポーランド、ルーマニア、リトアニア等、獨伊を圍む諸國は皆フランスの傘下に集まり、フランス及び各國間で二重三重の條約を結び、フランスに忠誠を誓つてゐたのであるが、伊太利のムッソリーニは先づこれを打破すべく、不斷の努力の結果、對岸のアルバニヤを屬國同様にし、こゝを足場としてユーゴーに働きかけ、遂にユーゴーをしてフランスから切離させてしまつた。續いてオーストリアに働きかけた。オーストリアは財政的破綻の結果度々國際聯盟の—換言すればフランスの御厄介になり、一時はフランス側に加擔してゐたが、いつしか伊太利と仲よくなり、種々のイキサツのあつた末、遂に獨逸に併合されてしまつた。ポーランドは傳統的にロシアと仲が悪く、従つてロシアと親交を結ぶフランスに對しては、快く思つてゐなかつたが、ダンチヒ廻廊問題で獨逸の脅威を身近に受けつゝあつた結果、フランスの助けを借らざるを得なかつた。だがその後獨逸が廻廊問題を斷念したかに見え、より以上ロシアを憎み出したので、ポーランドは何

時しか獨逸と握手してしまつた。フランス陣營で残るはチェッコとルーマニアだけとなつた。チェッコは最後までフランス及び英國にすがつて獨逸の攻勢を防がうとしたが、ズデーテン問題で取つた英佛の態度に怒り、ズデーテンを割くと共に一朝にして親獨派と豹變し、半歳ならずして遂に國を擧げて獨逸に合併してしまつた。かくしてフランス陣營は一人へり二人へりして今は全く孤立となつてしまつた。尤もポーランドはウクライナ問題で獨逸と仲たがひするやうになつたし、ルーマニヤも同様な心配を抱いてゐるが、さりとて頼みにならぬフランスを頼むことは出来ず、寧ろロシアに秋波を送つたり、獨逸を怒らせない程度で協調して行かうとするかのやうである。

かういふ複雑な國際關係にある上に、獨伊の攻勢は愈々強く、ウクライナ問題、ダンチヒ問題、ズブチ、チュニス問題、コルシカ問題等が山積し、一つ間違へば一瞬にして全歐は戰場と化するといふ危機一髪の状態にあり、この間に處して各國外交家は、千番に一番の危い綱渡りをしてゐるといふのが歐洲の現狀である。

年五十九歳。

董康 江蘇省武進縣の人
清朝時代の進士で我國に留
學し、北京大理院長となり
大正十年靳雲鵬内閣の司法
總長、額惠慶内閣の財政總
長となり、昭和元年政界を
去り、上海法科大学院長と
して教育界、司法界に盡し
てゐたが、中國臨時政府興
るやその司法委員會委員長
兼議政委員會常務委員とな
る。本年七十二歳。

唐紹儀 廣東省中山縣の人
米國コロンビア、ニユーヨ
ーク兩大學卒業後、李鴻章
や袁世凱の下に累進し、明

新ロカルノ體制とは何か

新といふからには舊がある。舊ロカルノ條約とは、大正十四年(一九二五年)十月、獨、佛、英、白、伊、チエツコ、ポーランドの七ヶ國間に締結されたもので、(一)佛、獨、白の國境は現在の線を維持する。(二)ライン河東方(獨領)五十軒以内は非武装地帯とするといふのが大體の内容である。即ち獨逸が大戦の疲勞を回復して漸次起上つて来たことに不安を抱いた佛國や白耳義が、他國を誘つて獨逸に確約させ、獨佛國境に漂ふ不安、それは世界の不安にも通じるので、これを取除かうとし、ヴェルサイユ條約だけでは心細いとあつて、屋上屋を架して此の條約を結んだのである。併しそれはナチスといふものが獨逸に殆んど勢力がなかつた當時である。ナチス黨はロカルノ條約で尻を打たれた馬のやうに驅け出した。そして忽ち中央に勢力を張り、昭和八年には遂に天下を取つてしまつた。ヒットラーはヴェルサイユ條約を叩き潰せロカルノ條約を粉碎しろといふのがモットーである。彼は先づ

治四十年奉天巡撫となり、
大正元年民國成立するや第
一次内閣の總理となつたが
間もなく辭して上海の實業
界に入り、袁世凱が帝王とな
らうとするや極力反對し
大正六年孫文と結んで廣東
軍政府を組織し、八年南方
代表として南北和議に盡力
した。その後孫文と共に廣
東にゐたが、十三年第二奉
直戦後南京政府外交總長に
任ぜられたが就任せず、孫
文發祥の地中山縣の縣長と
なつて悠々自適してゐたが
昭和九年中山縣長排斥運動
起るや怒つて國民政府と離
れた。本年八十歳。在野政

ヴェルサイユ條約の一部を破つて兵備を整へ、昭和十一年三月にはナチスの親衛隊
黨シヤツ軍をラインランドの非武装地帯へ進めた。佛國は驚いて抗議した。併し獨
逸は黨シヤツ隊は正規軍に非ずとはねかへし、然もいつの間にかこれを正規軍と合
同させてしまつてロカルノ條約を蹴飛ばした。そこで佛國は英國に泣きつき、何と
かしてナチス獨逸を牽制し、國境の不安を除きたいと八方奔走し、英佛會談、英伊
會談、佛伊會談等をとげて二重三重に協定し、こつちの地盤を固めた上で獨逸を誘
込んで協定をとげようとした。これが即ち新ロカルノ體制と云はれるものである。
併しこれは悉く失敗に歸し、まご／＼してゐる間にオーストリア、チエツコまで
合併されてしまひ、新ロカルノ案は幽霊のやうに立ち消えてしまつた。

奥國は何故獨逸に併合されたか

オーストリアは獨逸よりも歴史が古く、嘗ては獨逸よりも強大な帝國を築き、歐
洲大陸中の最強國として君臨したこともあつた。併し歐洲大戦により一敗地に塗れ

界、實業界に隠然たる勢力あり。

湯爾和 浙江省杭縣の人。我が金澤醫學專門學校出身で我が國醫學博士の學位を持つ。明治四十四年第一革命の際浙江省代表として出席し議長に選ばれ、大正十一年王寵惠内閣の教育總長となり、十二年關東大震災には支那の紅十字會の慰問使として來朝。昭和元年顧維鈞内閣の内務總長、財政總長となり、滿洲事變後は張學良の意を受けて來朝した事あり、同年東北政務委員會委員となり、昭和十一

てからは、見る影もない弱少國となつてしまつた。即ち北は今日のチェッコからポーランドの一部にまで及び、南はユーゴスラビアの西部を合せてアドリア海に及んでゐた。所が戦後は國土の周圍を悉く削り取られ、面積僅か三萬二千方哩、わが北海道に毛の生えた位の小さな國となり、然もこの狭い國土の中に六百萬の人口を擁し、猶その三分の一が首都ウィーンに棲む有様である。ウィーン二百萬の人口は昔日の大塊國にして初めて養ひ得たのであるが、この商人達を養つてゐたチェッコ地方の工業地帯をもぎ取られ、周圍に僅かの農業地を残されただけでどうして國を建て、行けようか。國內で出来る農産物は、國民は愚かウィーン市民だけの食糧にすら足りなかつた。かうした福助のやうな頭でつかちの國では到底經濟は保てない。そこで戦後は幾度となく破産状態になり、その度に國際聯盟が塊國をいぢめた責任上、自ら救済に乗出さざるを得なかつた。併し根本的缺陷を持つ塊國は何としても到底一人立ち出来ない状態にあつた。そこで當時「我等は何如にすべきか」との問題を提議して非公式の國民投票を行つた時、絶對多數を以て「獨逸と合併すべし」

年冀察政務委員となつた。我國に知友多く、大の親日家で、事變後、中國臨時政府の議政委員長兼文教部長となる。年六十二歳。

唐生智 湖南省東安縣の人 保定軍官學校卒業後湖南の陸軍に入り、内戦に従軍してゐたが、昭和二年湖北、湖南地方から直隸派を驅逐して湖南省主席、國民革命軍前敵總指揮、第八軍長等となり、奉天軍を河南から逐ひ、長沙の共産軍暴動を鎮壓し、遂に武漢軍權を獨占して大勢力を張り、爲に反感を買ひ、昭和二年國民

と答へた。オーストリア人が獨逸と併合したいといふ希望を持つてゐたのはその頃からの事である。一體オーストリア人は獨逸民族である。ヒットラーも亦オーストリア人であり、青年時代からの熱心な合併論者であつた。兩國は嘗て合併の準備工作として關稅撤廢を策したが、國際聯盟の猛烈な反對に會ひ、目的を果さなかつた。聯盟の意志はフランスの意志である。フランスはオーストリアをなだめ、すかし、脅かし續けて來た。そのうちに伊太利がバルカン進出を策し、アルバニアからユーゴスラビアまで味方につけ、オーストリアにまで働きかけた、ためにシユシニツク首相初め親伊派が漸次擡頭したけれども、民族の血は濃い、親獨氣分は隠然たる勢力を持ち、オーストリア・ナチスが一度起るや國民は翕然としてその方に赴いた。彼等は焦つて騷擾を起したことがある。その時伊太利軍は逸早く國境に迫つてナチスを威嚇した。併しナチスの勢力は獨逸ナチスの強大と共に最早動かすべからざるものとなり、シユシニツク首相も親獨派のインカートを入閣させずにはゐられなくなつた。インカートは内相となつた。オーストリア・ナチスは急に活潑な活

黨を除名され、南京政府から討伐軍を向けられたので下野して我國に亡命した。昭和三年歸國、翌年馮玉祥の反蔣軍討伐總指揮となつたが、密かに汪兆銘、閻錫山と通じて蔣に反旗を翻へし、のち廣東獨立政府委員となつたが、南京との妥協後は國民政府の軍事參議院長、訓練總監を経て昭和十一年軍事委員會常務委員となり、支那事變には南京防衛に當つて失敗した。本年五十四歳。

徳王 内蒙古の王族で、幼少より北京、天津に留學

動を初めた。シユシユニツク首相は焦立つて親伊派に秘命を授け、昭和十三年三月十三日に國民投票を舉行して現状維持か獨逸合併かを國民に問ひ、政府の力を以つて現状維持派の勝利を確定しようとした。これは全く寢耳に水の發表で、内閣員は一人も知らなかつた程である。國民は湧いた。オーストリア・ナチスは怒つて各地で騒擾し、全國に擴大し、由々しき大事にならうとした。故に獨逸は警告を發し、國民投票を延期し、シユシユニツク首相はインカート内相に内閣を讓るべき事を要求した。彼はこれを拒絶した。併し國內の情勢は漸く親伊派に不利となり、加ふるに獨軍が國境に進軍中との報に接した。三月十一日には獨軍越境の噂まで立つた。シユシユニツクは止むなく辭職した。インカート内相は十二日早くも内閣を組織した。その日獨軍はインカート内閣の依頼に應じ、治安維持のためオーストリア國內に進軍した。翌十三日ヒットラーは獨逸國境近くのリンツに乘込み、翌十四日には首都ウィーンに入つた。ミクラス大統領は辭職し、インカートは直ちに獨逸合併を中外に宣言し、オーストリア軍を獨逸軍隊に編入し、世界がアツと驚いてゐる暇に

して新知識を得、夙に蒙古民族を漢民族の支配から解放せんとし、滿洲國獨立後は積極的に内蒙古獨立運動を起し、昭和八年百靈廟に王公會議を開き、南京政府に自治を要求し、自治委員會設立するやその秘書長となり爾來常に南京政府と抗争し昭和十一年には綏遠事件を起して傳作義軍及び共產軍と戦ひ、支那事變起るや蒙古聯盟自治政府を組織し、雲王の死後は政府主席となり、昭和十二年十一月察南、晋北の自治政府と蒙疆聯盟委員會を組織した。本年三十九歳。成吉思汗の

獨逸合併といふ離れ業が決行されてしまつた。これはヒットラー一流の強硬外交によつて強行されたかの感はあるが、前述のやうにオーストリア人はもともと獨逸民族であり、國民の多くは早くから合併を希つてゐたものであるから、形は強行のやうでも、内實は自然の流れである。だからこそ此の強行に對してオーストリア國民は殆んど反對する者がなく、全くの平和裡に事が運んだのである。此の問題に對し、フランス其他國際聯盟が一應の不滿を表明したが何の力もなく、伊太利また事の行掛り上、何か抗議をするかと思へたが、ムツソリーニは却つて全幅の賛意を表し、これを祝福し、ベルリン・ローマ樞軸は一層鞏固になつた。血は水より濃いことを知つてゐたからである。今やオーストリアは獨逸國內の一州となり、かくて經濟的にも初めて救はれる日が來た。

チエツコスロバキアの悩み

チエツコは一千年の昔ボヘミア王國を築いて歐洲に覇を唱へてゐた古い國である。

再來と仰がれてゐる。

杜月笙 江蘇省上海縣の人
上海佛蘭西租界工部局の密
偵黄金榮の従弟として身を
起し、阿片密賣買の總元締
として巨利を博し、上海佛
租界の青帮の首領として隱
然たる勢力あり、表面は實
業家として實業界にも名あ
り、蔣介石と結んで軍資を
貢ぐと共に多くの要職を與
へられてゐる。年五十二。
白崇禧 廣西省出身。保定
軍官學校卒業後廣西軍に屬
し大正十五年北伐に際し國
民革命軍總司令部參謀長と
なり、次いで東路軍前敵總

だが今から凡そ三百年前に宗教上の争ひからオーストリアに併呑されてしまひ、ボ
ヘミヤ王國は全く滅び、昔の夢を抱く國民の一部は歐洲各國をさすらひ歩き、所謂
ボヘミアンとなつてしまつた。併し多くの人民は少數民族としてオーストリア及び
ハンガリーの治下に悲運をかこち、何時の日か昔の盛時を再現したいと希つてゐ
た。時恰も歐洲大戰となるや、チエツコ人やスロバキア人は、オーストリア及びハ
ンガリーの指揮官の命令下に屬してロシア方面の戦線に狩立てられた。彼等はこの
時ぞとばかり鋒を逆様にしてロシア軍に降り、却つてオーストリアやハンガリーに
攻入つた。併し頼みに思ふロシアは間もなく革命騒ぎを起し、據り所のないチエツ
コ軍は進みも退きもならなくなり、止むなくロシアを横斷してシベリヤに出で、大
迂回して聯合軍に合しようとしたが、懸軍萬里、目的を果し得ないうちに平和とな
つてしまつた。初代大統領マサリック博士が日本へ來たのもこの時である。彼等は
非常に苦勞したが、その軍事的功勞は大した事はなかつた。併し民族自決の波に乗
つた彼等は聯合軍への些かの功勞をも認められて、昔の首都プラーグを中心に新興

指揮となり浙江を攻略し、
上海戒嚴司令として共産軍
を討伐し、蔣介石下野後何
應欽と協力して國民革命軍
を統制し、昭和三年第四集
團軍前敵總指揮として北伐
に従軍し北平に入つたが、
昭和四年蔣介石の廣西派討
伐に會つて北平を逃れて廣
西に歸り、李宗仁と協力し
て廣西モンロー主義を守り
反蔣運動を續け、昭和十一
年には中央軍三十數箇師に
圍まれたが遂に一步も中央
軍を廣西省に入れず、小諸
葛孔明だと謳はれた。支那
事變に際し蔣と妥協して中
央に出たが、最近廣西に歸

國チエツコスロバキアを建設する事に成功した。それは國名に示す通り、チエツコ
人とスロバーク人とが多く棲む地方、即ち舊オーストリア及び舊ハンガリーの北部
地方を國土とした。けれどもそれだけでは經濟的に一人立ち出来なかつた。そこで
鐵や石炭の産地であり重工業地であるテツシエン地方をポーランドから取り、小麥
の産地であるルテニア地方をハンガリーから收め、温泉地、ガラス及び陶器工業地
として有名なズデーテン地方を獨逸から削り取り、かうして一國の經濟的要素をつ
けるために無理に他國の領土を併合して國を建てた。そのためにそれ等の名地方に
は各種民族が棲み、所謂少數民族としての屈辱と悲哀に泣くこととなり、これが建
國二十二年にして身を滅ぼす原因にならうとは、神ならぬ身の知る由もなかつた。
これを人口的に觀ると、國の中心たるチエツコ人とスロバキア人とは同じくスラブ
民族系で約九百萬人、獨逸人が三百五十萬人、ハンガリー人が七十萬人、ポーラン
ド人が二十萬人、ルテニア人五十萬人、その他總計一千五百萬人となつてゐる。こ
のやうに多くの民族が寄集つてゐるのだから官報一つ出すにも數國語で書かないと

つたとの噂がある。本年四十七歳、大の抗日家である
馮玉祥 安徽省巢縣の人
 保定武備學堂卒業後、吳佩孚の麾下となつて累進したが第二奉直戰の時裏切つて吳佩孚を敗走せしめ、西北に蟠居し、幾度か反蔣運動を企てたが利あらず、昭和四年蔣のため全く破れ、悉く舊部下を失ひ、止むなく隠棲したが、蔣に懐柔されて昭和十年軍事委員會副委員長の閑地を與へられて蔣の願使に動き、昔日の倅なし。本年五十九。

馮治安 宋哲元麾下の第三

判らぬ有様であつた。勿論これ等が地方的に判然と集つてゐた譯ではなく、その中にも他民族を交へてゐたが、大體に於てチエツコ人は西部に、スロバーク人は中央に、ルテニア人、ハンガリー人等は東部に棲んでゐた。そして常に各々自治を希望し、各民族間で反目する所が多かつた。マサリツク、ベネシユなどの大政治家は困難な國內をよく統一して來たが、この二人がゐらなくなつてからは内紛の絶え間がなく、ズデーテン地方の獨逸歸屬を契機として、忽ち崩壊してしまつたのである。

ズデーテンは何故獨逸領になつたか

チエツコスロバキアのズデーテン地方は昭和十三年十月一日を以て獨逸領となつた。ズデーテン地方といふのはチエツコの西方が獨逸國の中へ頭を突込んでゐる部分の國境線に沿ふ細長い部分で、歐洲大戰までは獨逸領又はオーストリア領だつたものであり、こゝには三百五十萬の獨逸人が住み、チエツコ人も多少はゐたが、獨逸人絶對多數の地方であつたのみならず、此の地方のガラス工業、陶器工業その他

十七師長兼河北省政府主席たり、蘆溝橋で支那事變の口火を切つた抗日家。

傅作義 山西省孝義縣の産
 保定軍官學校卒業後は閻錫山麾下の一師長であつたが昭和元年山西軍と奉天軍との戰に第四師長として涿州に數ヶ月籠城して勇名を走せ、昭和五年反蔣軍に加はり津浦線方面に出陣したが翌年綏遠省主席兼第三十五軍長兼第七十三師長となり昭和十一年綏遠事件に内蒙軍と戰つて利なく、支那事變では皇軍に抗して危く綏遠省全土を失はうとしてゐ

輕工業及び温泉の經營者、資本家はみな獨逸人であり、從つて經濟的にも文化的にも獨逸人の絶對支配下にあつた所である。チエツコもそれを無視することは出來ず、最初は可なり寛大に取扱つてゐたが、國內の他種民族を何時までも在るがまゝにさせておいたのでは統制が保てぬといふので、公式には一切獨逸語を廢してチエツコ語を用ひる事にした。大體その昔はチエツコ人やスロバーク人は獨逸民族に征服せられた者であり、從つて獨逸人はチエツコ人等を目して滅亡民族とし、輕蔑してゐたのに、今や主客地位を換へたのだから、獨逸人の憤懣は云ふまでもない。そこで彼等は飽くまで獨逸人たることを主張し、頑強に獨逸語を固執し、紛擾は常に絶えなかつた。時恰も大獨逸主義のヒットラーが出た。ズデーテンの獨逸人はそれに呼應して祖國獨逸への復歸を要望し、チエツコ内のナチス黨とも云ふべきズデーテン獨逸黨を組織し、ヘン・ライン氏がこれを率ゐるズデーテン地方の自治を認めよと政府に迫つた。茲に於てチエツコ人と獨逸人は事毎に正面衝突をするやうになり、チエツコ政府は遂に軍隊を以て彈壓しようとした。すると獨逸のヒットラーは、オ

る。本年四十六歳。
萬福麟 滿洲國吉林省出身一兵卒から身を起し、吳俊陞に従つて累進し、張作霖麾下となつて各地に轉戦して信任を得、殊に張學良に重用せられ、二萬の兵を養つてゐた。本年五十九。
毛澤東 湖南省の人。長沙師範學校に學び、早くもマルクス學會を組織して全校を牛耳り、湖南王と稱さるのち中國共產黨幹部となり昭和二年國共分離後は湖南に歸り農民の暴動を指導して失敗し、農民の組織を痛感して三千人のバルチザン

イストリアを併合した餘勢を驅つて、「血は水よりも濃い、吾等は同胞を見殺しにする事は出来ぬ」と叫んで今にもズデーテンに進撃しようとした。チエツコ政府は驚いて英佛に助けを求めた。獨逸軍の精銳は續々ズデーテンの國境に集結し、その威力を以てすれば三日にして全チエツコを席捲すると豪語した。所がチエツコも負けてはゐず、全軍隊に動員令を發し、いづれは負けるだらうが、我が優秀な機械化部隊を以てすれば三ヶ月は支へてみせる。若しその間に英佛ソ聯等が救援してくれらるならば、むざ／＼と獨逸軍をして國境を越えさせはせぬと應酬し、アワヤ戰端が開かれるかと思へた。萬一こゝで砲火が飛んでしまつては第二の歐洲大戰となる。そこで英國首相チエンバレンは驚いて、ミュンヘンへ駆けつけ、ヒットラーと會談し、最後には佛伊の首相まで招いて平和裡の解決策を講じ、遂にズデーテン地方は獨逸の要求通りに割讓させることとし、序にテツシエン地方やルテナ地方をもそれ／＼ポーランドやハンガリーに割讓させることとなつた。頼む英佛に見離されたチエツコは今更何とも致し方なく、泣き寝入りこれ等を認めたとのである。

ハンガリーのルテナ進軍問題

チエツコとハンガリーの紛争も、獨逸のズデーテン問題同様な理由による。ハンガリーは歐洲大戰まではオーストリアと結び、現在の約三倍の國土を持つてゐたが、聯合國側によりトリアノン條約を押し付けられ、軍備は縮少され、莫大な賠償金は課せられた上、更に領土はチエツコ、ユーゴスラビア、ルーマニア等の四方八方から削り取られて、従前の三分の一以下になつてしまつた。中にもチエツコへは、スロバーク人が若干あるといふ理由で、ダニユーフ河畔の肥沃な土地三十二萬平方キロ餘を取られた。ハンガリーはこれを不當とし、常にトリアノン條約の改訂を聯盟に要求し續けたが、若しそんな要求を通されては一大事だといふので、チエツコはフランスやルーマニアやユーゴスラビアと同盟し平和條約嚴守の結束を固めた。これが所謂小協商同盟である。この同盟の精神は、獨逸の復興を恐れる英佛の精神と全く共通である。共に英佛がこれを支持し指導したのは云ふまでもない。爲にハン

隊を作つて江西省に入り、朱德軍と合して共產軍を組織し、朱德を軍長とし、自ら政治委員となり、各地に轉戦流浪し、昭和六年瑞金に中華ソヴィエト臨時政府を作つて主席たり、昭和十年にコミンテルン中央執行委員に選ばれ、支那共產黨の首領たり。本年四十七。組織の天才と謳はれてゐる

揚虎城

陝西省蒲城縣の人 陝西講武堂を出て馮玉祥麾下になつたが、後蔣介石の下に走り、馮の反蔣軍を大破して陝西省政府主席に任ぜられ、次いで第十七路軍

總指揮兼第七軍長となり、更に西安綏靖公署主任となつたが、昭和十一年張學良と謀つて蒋介石を監禁した併し罪は許されて原職にある。本年五十六。

余漢謀 廣東省高要縣の人。陳濟棠麾下となつて廣東陸軍に重きをなしたが、西南事變の時、江西に進軍した蔣介石に策應し、陳濟棠を没落せしめ、代つて廣東省綏靖主任兼第四督軍總司令となつて廣東の實權を握つてゐたが、我軍の南支進出で追はれ目下轉々たり。本

ガリーの要求は殆んど相手にされなかつた。所が獨逸がヴェルサイユ條約を破棄し、伊太利と固く握手して着々ベルリン・ローマ樞軸を強化して行くにつれ、ユーゴもルーマニアもこれに歩み寄りざるを得なくなり、小協商同盟は崩れた。ハンガリーは秋到れりとはばかり突撃を開始した。即ち伊太利との修交を愈々固める一方、前々から仲のよかつた獨逸と一層握手を固め、勢に乗じて昭和十三年八月二十三日トリアノン條約を一方的に破棄して再軍備を行ひ、ズデーテン問題のやかましくなつた際中に失地回收の要求をした。ズデーテン問題に關し、九月には有名なミュンヘン會談が行はれて解決を見たが、この時獨逸は、ハンガリーやポーランド等の少數民族問題に關する諒解をも得たので、ハンガリーは大いに喜び、十月四日七十萬人のハンガリー人が住むルテナヤ地方一萬三千平方キロを割讓せよとチェッコに要求した。所がチェッコはこれに對し僅か千八百平方キロしか割讓し得ないと云ひ、兩者の會談は決裂した。併しその後獨逸兩國の仲裁の結果ウイーン條約によりハンガリーの要求は殆んど容れられ、十一月二日ハンガリー軍隊は直ちに接收地に向つて進軍

年四十八歳。

李濟琛 廣西省の人。北京陸軍大學卒業後、民國初年以來廣東軍に屬し、蒋介石北伐當時第四軍長國民革命軍總參謀長として廣東の留守を預り、昭和三年廣州政治分會主席となつて廣東、廣西の軍事政治兩權を握り北伐完了後廣東省主席、國民軍參謀長となつたが、南京政府の壓迫漸く強くなるや李宗仁と結び、蒋介石に捕へられた。昭和六年釋放されて南京、廣東兩派の妥協旋幹に努め、失敗したが兩派合同の後黨中央執行委

した。斯くて十數年少數民族としてチェッコ人の願使の下にあつたハンガリー人は、遂に土地と共に祖國へ歸り得たのである。だが、ハンガリーは猶これ満足せず、ルテナヤ全土を併せてポーランドと共同國境を持たうとし、ポーランドの支持を得て常にチェッコと争ひ續けて來たが、昭和十四年三月十五日、チェッコが獨逸に併合されると見るや逸早く軍隊をルテナヤに進め、遂にルテナヤ全土を席捲し、大體に於てこれを併合するやうな形勢にあるが、獨逸との間に微妙な關係が生じ、目下豫測し難い形勢にある。

獨逸のチェッコ併合事情

ズデーテン地方が獨逸に接收せられてからチェッコスロバキアは四離滅裂となつた。獨逸人が獨逸に歸ると共にハンガリー人はハンガリーに歸り、ポーランド人はポーランドに歸つた。そこで民族自決といふ二十年前の聲が今更のやうに蒸返され、チェッコ國內は騒然たる收態となつた。残されたチェッコスロバキア國內にはチェ

員會委員及び訓練總監となり、昭和七年蔣の共産軍討伐に際し右翼軍總指揮となり、翌八年福建獨立を策して破れた。廣東派の首領で蔣と餘りよくない。本年五十四歳。

李守信 蒙古人で軍事に卓越し、徳王を輔けて蒙古聯盟自治政府の副主席たり。常に蒙古軍を率ゐて傳作義軍や共産軍を破り、大いに勳功あり。性温厚篤實、軍規を厳正にし、恩威並び行ひ、信望大いに高し。
李宗仁 廣西省の産。廣西陸軍學堂出身。陸榮廷麾下

ツコ人、スロバキア人、ルテニア人がある。みな同じスラヴ民族ではあるが、各々言語も風俗も異にしてをり、チエツコ人が最も多く、その上ブラグを中心政治的、經濟的中心地を占めてゐる關係上、常にチエツコ人が牛耳り續けて來た。スロバキア人はそれを日頃から面白く思つてゐなかつたので、ズデーテン問題でガタ／＼してゐる間にスロバキア地方の自治を要求した。そこで止むなく政府はそれを容れ、國內はチエツコ、スロバキア、ルテニアの三つに分れ、各々自治政府を樹てるに至つた。それが昭和十三年十月のことである。スロバキアではジョセフ・チソーが首相となり、獨逸の後援の下に完全な自治を要求し出した。スロバキア人はズデーテン問題に對しても寧ろこれを喜んだ。自分の國土を割くことを喜ぶなどは妙な話だが、これみなチエツコ人への感情からである。(ズデーテン地方はチエツコ人の居るボヘミヤ地方ばかりだからでもある)チエツコ人は建國に際し、ボヘミヤ、モラビア地方だけでは獨立し得ないので、同じスラヴ族たるスロバキア人を誘ひ、「完全な自治と自由」を附與するといふ好餌を以て共同の國家を組織したが、建國

となつたが、その失脚後孫文の下に投じ、蔣介石の北伐軍に加はり、國民革命軍第三路軍總指揮第七軍長となり長江に進出し、武漢、南京分裂の際南京派に與したが、武漢政府が共産黨を退けてからは武漢派に接近し蔣介石を下野せしめ、國民革命軍總指揮となり、武漢南京合併後は蔣と提携し後湖南派の程潛と結び武漢政治分會主席となつた。昭和四年李濟琛と共に大廣西主義を唱へ、李濟琛が捕へらるゝや廣東に歸つて兩廣の實權を握り、兩湖に軍を進めて蔣と一戦しようとし

以來少しも約束を實行しないばかりか、スロバキア地方の學校教師も役人も、殆んどチエツコ人を任命し、只管スロバキア地方のチエツコ化をはかつた。これを怒つたスロバーク人は、スロバキア人民黨を組織して二十年來惡戦苦闘して來た。その首領チソー及びシドル等は豫てから獨逸の助力を得て此の運動を續けて來たのでズデーテン問題では寧ろ喜んだといふ奇現象を呈したのである。そしてそれを機會に自治權を要求し、遂にチソー内閣を組織し、スロバキア地方にゐたチエツコ人の大學教授、小學校教員、地方官吏等約一萬人を悉く退去せしめ、かうして血で血を洗ふ争ひが續けられた。堪りかねたチエツコ政府のハーハ大統領は、昭和十四年三月九日、遂にチソー首相を罷免して御用政治家シヴァクを首相とした。チソーは直ちに獨逸に走り、ヒットラーに援助を乞ふた。チエツコは驚いてシドルを首相としたが、チソーは直ちに歸り、自ら大統領兼首相となり、シドルを副總理兼内相となし、スロバキア地方の獨立を宣言した。これが三月十四日のことである。するとチエツコ大統領ハーハは直ちに獨逸に行き、ヒットラーの前に、チエツコの

たが、陳濟棠の廣東クーデターで失脚して廣西に逃れ、爾來廣西にあつて張發奎と結び、閻錫山、馮玉祥等の反蔣運動に呼應して軍を長沙に進めたが、廣東軍に後途を斷たれて失敗し再び廣西に入つた。昭和六年廣東派獨立後はこれと合し、三度反蔣の軍を進めたが、廣東南京妥協後は國民黨中央監察委員會委員となり、白崇禧と共に廣西省の統治に力を注ぎ、昭和十一年廣西綏靖主任に任ぜられたが、終始反蔣運動を改めなかつた。併し大の抗日家で、支那事變には蔣と妥協し、白

併合を乞ふた。これは實に意外なことであるやうではあるが、ズデーテン地方を接収せられた上にスロバキアに獨立せられては、到底チエッコだけでは獨立して行くことは出来ない、とすれば今後獨逸の攻勢に悩まされて生きるよりは、寧ろその懷中に飛込んだ方が樂だといふので、昔の歴史を思ひ出しながら獨逸に併合を乞ふた。昔の歴史といふのは、ボヘミヤは千年以前から長く獨逸人の支配下にあつたこともあり、プラーグに獨逸皇帝が都したこともあつたからである。かくしてチエッコ人の住むボヘミヤとモラビヤの地方は獨逸の一州として併合されてしまひ、僅かにチエッコ人の特殊の地位を認められるに過ぎないやうになつた。

かうなるとスロバキアは果してどうなるか？ 目下のところ彼は獨立を宣言し、獨逸の保護國たることを發表したが、それは名儀上のことであつて、事實は獨逸の一州と化したも同様である。

残る所はルテナヤ地方である。

ルテナヤも歐洲大戰直後、自分等だけで獨立國家を建てようとしたが、經濟的に

崇禧と共に廣西軍を率ゐて徐州を指揮して敗れた。本年五十歳。

劉峙 江西省の人。保定軍官學校卒業後蔣介石麾下となり、革命軍第一軍團總指揮として北伐に従ひ、その度數回反蔣軍を討ち、功により昭和五年河北省政府主席、開封行營主任となつたが、後、豫皖綏靖主任となる。本年四十八。蔣介石直系の將領。

林森 福建省閩侯縣の人。米國より孫文の革命運動を助け、その度も種々功あり國民黨の元老として國民黨

その力がなく迷つてゐる所をチエッコの甘言に吊られてこれに加入してしまつた。元來がウクライナ人で、常に完全な自治を願ひ、ズデーテン問題の時、スロバキアと共に自治政府を建てることは出來た。ところが五十萬人の住民のうち一割二三分まではハンガリー人であるから、ハンガリーはルテナヤに關心を持たざるを得ず、常に國境問題でルテナヤと争つて來た。ルテナヤ人も怒つてハンガリー人を壓迫し不法壓迫三十餘件に及んだ所へチエッコの獨逸併合が起つたので、ハンガリーは逸早く軍隊をルテナヤに進め、三月十七日には遂に全ルテナヤを席捲してしまひ、ルテナヤをハンガリーに併合しようとの意志を示した。これは目下の所まだ實現してゐないが、獨逸は友邦ハンガリーのためにこれを認めるらしい形勢にある。だが獨逸としては、ルテナヤとポーランドの東ガリシヤ地方をウクライナ獨立問題から除くとなると、甚だ不徹底を缺く點があるので、今後これをどうして行くか、甚だ興味ある問題である。ポーランドは早くも英國と結んでウクライナ及びダンチヒ問題を牽制し、歐洲の天地は却つて風雲急となつた。

政府主席に擧げられ、實際の表面には立たないが、國民政府の大統領格に据えられてゐる。本年七十七。

世界人名辭典

【ア】

アインシュタイン(一八七九)獨逸。相對性原理で有名な物理學者。ユダヤ人の故に獨逸を追はれて渡米、現在プリンストン大學教授
アウリツチ(一八八三) 駐日伊太利大使。
秋田清(明治一四) 德島縣

メーメル地方の獨逸歸屬問題

メーメル地方とはリトアニア國の獨逸國境近くにある地方の名で、住民の大半は獨逸人である。抑もリトアニアは世界大戰後の民族自決主義によつて生れた新興國で、その大部分は嘗てはロシア領であつたものの中から、リトアニア人の最も多く住む土地を獨立させたのであるが、それだけでは海岸も少く、些か心細いといふので、聯合國側に泣きついて舊獨逸領のメーメル地方を併呑した。當時はそれでよかつたが、實はこれこそリトアニアの頭痛の種子であつた。何故ならリトアニアよりも優秀な獨逸人が何時までも少數民族としての悲哀を隠忍してゐるわけがない。何時かは母國に還りたいといふ熱烈な願望に燃えてゐる。おまけに獨逸自身もこの屈辱に堪えるものではない。ヒットラーが政權を握るに及び必ずやメーメル地方を取返すだらうとは各國の豫想した所である。リトアニアもこれを懼れ、屢々メーメル地方に戒嚴令を布いてメーメル獨逸人の騷擾を壓へて來た。所がヒットラーの大

參議、衆議院議員。
アサーニヤ(一八八〇) スペイン人民戰線軍大統領
安達謙藏(元治元) 熊本縣國民同盟總裁。元遞信大臣内務大臣。
安部磯雄(慶應元) 福岡市社會大衆黨々首。衆議院議員、東京市會議員。
安保滋種(明治三) 東京。海軍大將、男爵、參議。元海軍大臣。
鮎川義介(明治一三) 山口縣。日本産業社長、滿洲重工業總裁。
荒井賢太郎(文久三) 新潟

獨逸建設は着々歩を進め、オーストリアの併合に續いてチエツコのズデーテン地方接收へと進展した。メーメルの獨逸人は機到れりと猛運動を開始した。恰もよしメリメル地方議會の選挙が行はれた。獨逸人は壓倒的勝利を期していきり立ち、世界の視聽は此處に集まつた。リトアニアは驚いて再び六ヶ月間の戒嚴令を布いた。選挙は壓倒的に獨逸人が勝つたが、なほ全議席を奪ふには至らなかつた。これを見てヒットラーは深重な態度を持ち、メーメルの即時接收を斷念した。けれどもその後チエツコを合併して勢力隆々たるに及びメーメルの獨逸人は黙つてゐなくなつた。そこでリトアニアは到底このまゝで治まるものでないことを悟り、大正十四年三月遂に自發的にメーメルを放棄し、獨逸へかへしたのである。

波蘭と獨逸は果して仲がよいか

ヒットラーが政權を握るや不思議にも獨逸はポーランドと不可侵條約を締結して固く握手した。これは實に奇異の觀を與へる。何故なら兩國は大戰後長い間睨み合

縣。樞密院副議長。元農商務大臣。
 荒木貞夫(明治一〇) 東京府。文部大臣、陸軍大將、男爵。
 有馬頼寧(明治一七) 東京市。前農林大臣、伯爵、貴族院議員。
 有田八郎(明治一七) 新潟外務大臣。
 安藤利吉(明治一七) 宮城縣。陸軍中將、南支方面軍最高指揮官。前教育總監部本部長。

【イ】

イーデン(一八九七) 英國

前外務大臣。
 池田成彬(慶應三) 米澤市前大藏大臣。三井系財界の重鎮たり。元日本銀行總裁。
 石渡莊太郎(明治二七) 東京。大藏大臣。
 石井菊次郎(慶應二) 千葉縣。樞密顧問官、子爵。外交界の長老。
 石原莞爾(明治二二) 山形縣。陸軍少將。
 板垣征四郎(明治一八) 岩手縣。陸軍大臣、陸軍中將元關東軍參謀長。
 井上幾太郎(明治五) 山口縣。陸軍大將、在郷軍人會

つて来た仲であり、ヒットラーこそ其の急先鋒でなければならぬからである。問題の中心は所謂ポーランド廻廊にある。ポーランド廻廊とは、ポーランドが大戦後民族自決主義によつて獨立する時、ポーランド人居住の地だけでは海岸が一糧もなく各國の中へ閉籠められてしまふから、何とかして海への出口を欲しいといふ切なる希望の下に、無理矢理に獨逸の國土の眞中を横斷して海への廊下を作つてしまつた。そのために獨逸は東プロシヤ地方を本國から切離され、東プロシヤは島流しに會つた。従つて獨逸本國と東プロシヤとは、船によつて海上を遠廻りして連絡するか、でなければポーランドの廻廊を横切つて、僅かの間で面倒な國境警備役人の調べを二度も受けながら連絡しなくてはならない。然もその廻廊地方の住民は大半獨逸人であつてみれば、獨逸が面白くなく思ひ、これを取返したいと思ふのも無理はない。そこで今迄は常に睨み合つてゐたポーランドは此處に確固たる地盤を植ゑてしまはうとし、萬一人民投票などによつて廻廊地方の歸屬を決定しなければならなくなつた時の用意にもと、早くから獨逸人を壓迫して成るべく他へ分散するやうに仕向け

他方ポーランド人をドシ／＼此の地方に移住させたので、今日ではポーランド人の方が多くなり、チエツコのズデーテンヤリトニアのメーメル地方のやうに獨逸人絶對多數といふことがなくなつた。ヒットラーが慎重な態度に出た理由の一つは此處にある。猶もう一つの理由は、ヒットラーは赤露を憎むの餘り、赤露とは宿命的な仇敵であるポーランド人と協力し、ポーランドを防共の第一線に立てようとした事である。即ち小異を捨て、大同に即いたのである。併し獨逸にしてみれば、自分の鼻先を、否、胸中を横斷してゐる廻廊が氣になることは今もなほ同様であるし、ポーランドにしてみれば、一方にその脅威が消えないばかりか、最近新しく起つたウクライナ問題はポーランドに取つて甚だ面白くない。ポーランドは先にズデーテン問題に關聯してチエツコからテツシエン地方を接收した。これは正に獨逸のお蔭である。だがウクライナが若し獨立することになると、ポーランドが建國の際、折角穀倉として聯合國から預けて貰つた東部地方——それは全國土の三分の一に相當する——を返さなければならなくなる。これは辛い。然もその徴候は既に現はれ、

長。
殷汝耕(一八八九) 浙江省平陽縣。元冀東自治政府首席。通州事件の責を負つて引退。

【ウ】

ヴァルガス(一八八三) プラジル大統領。

ヴァルガ(一八七九) ハンガリー。經濟學者。「世界經濟年報」の編者として知らる。

ウイルヘルム二世(一八五九) 前獨逸皇帝。

ウインザー公(一八九四)

ウクライナ人は騷擾を起してゐる。その背後に獨逸があることは明かだ。若し獨逸がその目的を達してウクライナを獨立せしめ、これを勢力下に置くとしたならば、ポーランドも亦獨逸の一屬國と化せざるを得なくなる。それでは建國の意義が失はれる。チエツコの二の舞はしたくない。そこで彼は早速ロシアと條約を結び、ウクライナ問題では共同戰線を張らうと申合せた。獨逸はちよつと困つた。ポーランドにござねられてはウクライナへの道が遠くなる。折角チエツコを併合した意義が半減されてしまふ。そこで獨逸はポーランド領ウクライナは除外するといつて、ロシアとの結び目をゆるめにかゝつた。若しそれが事實ならポーランドは何も不俱戴天の仇ロシアと握手する必要はない。だが若しウクライナが獨立したら、ポーランド領のウクライナ人が果して黙つてゐるかどうか、此處にポーランドの不安があり、獨逸に對して釋然たり得ない所である。何故なら、元來ウクライナ獨立運動といふものはポーランドのウクラナ人が最も強く唱へてゐることだからである。そこへ獨逸は廻廊を横斷して東プロシアへ通ずる自動車路をつけさせると要求し、合せてダン

前英國皇帝。ジョージ五世の第一皇子。

上田宗重(明治一七) 東京海軍中將、前海軍艦政本部長。

植田謙吉(明治八) 大阪府陸軍大將、關東軍司令官。

ウエルズ(一八六六) 英國作家、批評家。「世界文化史大系」其他の著がある。

ヴォロシロフ(一八八一) 蘇聯。國防人民委員、赤軍總帥。

宇垣一成(明治元) 岡山縣陸軍大將。前外務大臣。陸軍大臣たること二回、前朝

チヒ港を取返したい意向を示したので、ポーランドはあわて、英國と空軍軍事同盟を結び、歐洲の天地は却つて混沌として來た。

ウクライナ問題とは何か

ウクライナ問題を一言にして云へば、ウクライナ人の獨立問題である。ウクライナとは歐洲ロシアの南方に位する大きなウクライナ地方のことであり、ウクライナ共和國の面積だけでも約十七萬一千方哩あつて我が全土から朝鮮をとつた位に相當する。こゝには約三千三百萬人のウクライナ人を抱擁してゐるが、歐洲大戰前のウクライナはなほこれより廣く、目下その一部がポーランド、ルーマニア、ルテニヤ等の一部に分割所屬してをり、それ等に住むウクライナ人だけでも、ポーランドの東ガリシヤ地方に七百五十萬、チエツコのルテニア地方に五十萬、ルーマニアのベッサラビア地方に百萬人をり、合計四千二百萬人のウクライナ人が一つになつて獨立を希望してゐるのである。彼等の獨立運動は昨今に初まつたのではなく、既に遠

鮮總督。

于學忠(一八八九) 山東省蓬萊縣。東北派、元吳佩孚系。甘肅省政府首席。

内ヶ崎作三郎(明治一〇〇) 宮城縣。前文部政務次官。

梅津美治郎(明治一五) 大分縣。陸軍中將、前陸軍次官。

于右任(一八七八) 陝西省三原縣。國民黨の元老。

【エ】

エジヨフ(一八九五) 蘇聯内務人民委員にしてゲ・ペ・ウの巨頭。

く帝政時代に初まり、當時から獨逸やオーストリアの援助を得て目的を貫徹しようとしてゐた。歐洲大戦勃發するや彼等の運動は俄然活氣を呈し、獨逸またこれを援助して東部戦線の後方攪亂に利用しようとし、ウクライナ人の捕虜などを放つて煽動した。そこで一九一七年四月(この年二月にはロシアに革命起り、帝政覆る)には早くもキエフに中央會議が組織され、獨立を宣言したほどであつた。けれども十一月にレーニンが共産革命に成功するや直ちにウクライナの共産黨に別の政權を組織せしめ、キエフ政權と争はしめ、赤軍をしてキエフを攻撃せしめたので、遂に壊滅し、ウクライナの獨立は成就しなかつたばかりか、ヴェルサイユ條約によつてその一部分づゝは、前記のやうに三ヶ國に分割されてしまつたのである。併しウクライナ人の獨立の希望は到底壊滅はせず、ソ聯は産業五ヶ年計畫を樹て、ウクライナの農村をも集團農業にしようとしたのを機として漸く再び擡頭し來り、獨逸が大獨逸主義を唱へて、他國に少數民族として苦しむ獨逸民族を包括しようとし、先づオーストリアの合併に成功し、續いてズデーテン地方を接收するに及び、民族自決

エツケナー(一八六八) 獨逸。ツエツペリン飛行船製造會社長。世界一周飛行を敢行して我國にも飛來した。
江藤源九郎(明治一二) 奈良縣。陸軍少將、衆議院議員、日本革新黨總務委員長。
エリオ(一八七二) 佛蘭西の政治家。首相たること二回。
閻錫山(一八八三) 山西省五臺縣。山西派の首領。

【オ】

王克敏(一八七三) 浙江省杭縣。中華民國臨時政府委

の國際的古證文に活を入れて獨立運動を進めて來た。その背後に獨逸が立つてゐることは云ふまでもなく、彼等また獨逸の力を借りずには、何事もなし得ないことを知つてゐる。そこで世界の惱みは、ウクライナが獨立に成功するか否かといふことよりも、それが成功して獨逸の力が東方に延びることである。ヒットラーは自著我が闘争の中に獨逸の將來はウクライナに延びることだと明言してゐる。昔の獨逸民族の東漸主義はパレスティンから印度に出る道であつたが、今はウクライナへと方向が變へられた。然もこの事は歐洲諸國に複雑な影響を與へる。第一にルーマニヤはベッサラビア地方をウクライナに割かねばならぬ苦痛がある。第二はポーランドも同様の苦痛を持つことである。ハンガリーもルテナヤがウクライナに附いてしまつては面白くない。殊に最も困るのはソ聯で、ウクライナはソ聯の米倉だとも云はれるほど農産物が多く、小麦粉、野菜、果實等の産額はソ聯の總産額の約三割に當り、甜菜種に至つては約七割に當る。然もなほ石炭や鉄鐵もソ聯全産額の七割は此處で産し、マンガンの産も少くない。これを取られてはソ聯も半身もがれたも

員會委員長。嘗て中國銀行總裁たり。
大角岑生(明治九) 愛知縣海軍大將、男爵、軍事參議官。海軍大臣たること二回。
王正廷(一八八一) 浙江省奉化縣。蔣介石系、駐米大使。
大谷尊由(明治一九) 京都市。北支開發會社總裁、貴族院議員。元拓務大臣。
王寵惠(一八八一) 廣東省東莞縣。國民政府隨一の法律家、歐米派の巨頭。
汪兆銘(一八八五) 廣東省番禺縣。國民黨廣東派の領

同然である。「若しウクライナの小麦倉への道さへ通じてみたら決して負けなかつたらう」とは歐洲大戰當時の獨逸に向けられた有名な觀察であるが、ヒットラーもこれを肯定する。そして彼はウクライナに眼を馳せる。主張は斷じて行ふヒットラーだからウクライナへの獨逸の進軍は不斷に續けられるだらう。彼は先づズデーテン地方を接收し、半歳ならずしてチエツコを併合し、スロバキアを保護國とした。獨逸の手は正にウクライナに達した。進軍の道は開けた。その時ポーランドは急にソ聯と手をつなぎ、一方ハンガリーと協同してルテナヤに共同國境を作つた。この事は獨逸のウクライナ進軍を僅かに阻止した。ハンガリーもポーランドも獨逸の友邦である。これを怒らせる事は信義にもとる。そこで獨逸はウクライナ獨逸はソ聯領ウクライナのみ限り、ポーランドの東ガリシヤや、ハンガリーのルテナヤや、ルーマニアのベッサラビヤ地方を除外すると約束したやうである。だが獨立を最も希つてゐるウクライナ人はそれ等の除外された地方の者に多く、ソ聯領ウクライナ人は左程に獨立を希望してゐないといふ點に根本的な矛盾があり、更に東ガリシヤや

袖にして國民政府副總理たりしが昭和十三年末に重慶を脱出、和平勸告の聲明を發して蔣政權と絶縁。
大橋新太郎(文久三) 新潟縣。貴族院議員。實業界の重鎮。
及川古志郎(明治一六) 岩手縣。海軍中將、支那方面艦隊司令長官。元第三艦隊司令長官、海軍航空本部長。
小山松壽(明治九) 長野縣衆議院議長。
オレルスキ 蘇聯。駐支蘇聯大使。但し本名は何といふのか、どんな素性の人か一切不詳。

ルテナヤを隔てては、ウクライナは飛石となるので、獨立しても果して獨逸の思ふやうになるかどうか判らない。こゝに獨逸の悩みがあると共に、ウクライナ獨立の曉には自國領内のウクライナ人が黙つてゐまいといふ所にポーランド等の悩みがあつて、表面親密を装ふ中にも釋然たり得ない點がある。だがヒットラーは主張は斷じて行ふ人である。その手段を一步誤れば第二次歐洲大戰にならうと英米佛が心配してゐるのも決して理由のないことではない。

チュニス問題は何故起つたか

昭和十三年十一月三十日、伊太利のチアノ外相が下院で外交演説をした。言たまたま伊太利民族の發展に觸るゝや、議席からはチュニス！ ニース！ コルシカ！ デブチ！ 等といふ叫びが起り、議場騒然たる中に全議員は立上つて一齊に國歌を唱和した。要するにこれ等の土地を奪還せよと叫ぶのである。この出來事は佛伊兩國内に大センセーションを捲起した。フランスが騒ぐのは、それがみな佛領ばかり

【カ】

カ ー (一八八六) 英國駐
支大使。
カイヨ (一八六三) 佛蘭
西の政治家、急進社會黨の
名譽總裁。
何應欽 (一八八九) 貴州省
興義縣。蔣介石系、知日派
の重鎮。
各務謙吉 (明治元) 東京。
貴族院議員。日本郵船社長
郭泰祺 (一八八九) 湖北省
廣濟縣。汪兆銘系、駐英大
支。
風見章 (明治一九) 茨城縣

だからであり、伊太利國民が騒ぐのは、それ等の土地にゐる伊太利人を救ひ或は伊太利の權利下に收めたい切なる希望を表明したものである。

チユニスはアフリカ北岸の、伊太利に最も近い所であり、ローマ帝國の昔から因縁淺からず、紀元前には伊太利の屬領だつたが、その後アラビア人に征服され、長く所屬が決定せぬにゐた所、一五七五年にトルコ領となつた。併し當時から伊太利人は多く此處に住み、産業に、交通に、多くの資本を投じて政治的にさへ事實上は指導的位置にあつた。所がその後伊太利の國力が衰微し、海外に手を伸ばしてゐる餘裕がなくなつた時、恰もアルゼリヤとアラビア人とが紛争を起したので、フランスは好機乗ずべしと出兵して逸早くチユニスを占領し、一八八一年遂に此の地をフランスの保護領としてしまつた。けれども住民としての伊太利人の持つ隠然たる勢力は容易に抜くべくもないので、フランスは伊太利人に大壓迫を加へ、フランス國民となるやう種々な強制を行つた。即ち労働者には労働賃銀を支拂ふ時、フランスに歸化すればよし、若し承知しなければ支拂ひを停止したり、少ししか支拂はなかつたり、備ふ時には飽くまで伊太利人たうとする者には低賃銀しか出さなかつたり、學校では絶対にフランス語を用ひ、伊太利語の學校を許可せず、裁判でも、フランス人なら無罪の事も伊太利人なるが故に重い罪に問はれたりした。故にチユニスの伊太利人は止むなくフランスに歸化した者が多く、現にチユニスの人口二十二萬人中の十二萬人は伊太利人であり、フランス人は七萬五千人であるが、その中の四萬人までは強制的に歸化させられた伊太利人であり、残りの一萬五千人は伊太利人の血を受けたマルタ人である。従つてチユニスの伊太利人は常に被壓迫民族の悲哀に泣き、チユニスの伊太利歸屬を要望してゐたが、獨逸が大ゲルマン國建設に向つて邁進するのを見て羨望に堪へず、母國內の同志と相呼應してチユニスを還せと叫び續け、時々騒擾を起してゐるのである。併し伊太利政府は今日の所まだチユニスに關してはコルシカ、スエズ運河等の問題の様に正式にその要求をしたことはなく、却つてこれをデブチ問題に利用しようとしてゐるやうであるが、何時の日にかは正面の問題となるだらう。

前内閣書記官長、衆議院議員。
香月清司 (明治一四) 佐賀縣。陸軍中將、元支那駐屯軍司令官。
加藤隆義 (明治一六) 東京市。海軍中將、子爵、吳鎮守府司令長官。
賀屋典宣 (明治二三) 山口縣。元大藏大臣。貴族院議員
カラハン (一八八九) 蘇聯屈指の極東通として著名な外交家。既に亡し。
カリニン (一八七五) 蘇聯最高會議幹部會議長。
賀龍 (一八七五) 湖南省桑

つたり、備ふ時には飽くまで伊太利人たうとする者には低賃銀しか出さなかつたり、學校では絶対にフランス語を用ひ、伊太利語の學校を許可せず、裁判でも、フランス人なら無罪の事も伊太利人なるが故に重い罪に問はれたりした。故にチユニスの伊太利人は止むなくフランスに歸化した者が多く、現にチユニスの人口二十二萬人中の十二萬人は伊太利人であり、フランス人は七萬五千人であるが、その中の四萬人までは強制的に歸化させられた伊太利人であり、残りの一萬五千人は伊太利人の血を受けたマルタ人である。従つてチユニスの伊太利人は常に被壓迫民族の悲哀に泣き、チユニスの伊太利歸屬を要望してゐたが、獨逸が大ゲルマン國建設に向つて邁進するのを見て羨望に堪へず、母國內の同志と相呼應してチユニスを還せと叫び續け、時々騒擾を起してゐるのである。併し伊太利政府は今日の所まだチユニスに關してはコルシカ、スエズ運河等の問題の様に正式にその要求をしたことはなく、却つてこれをデブチ問題に利用しようとしてゐるやうであるが、何時の日にかは正面の問題となるだらう。

植縣。容共抗日派。
 川越茂(明治一四) 宮崎縣
 前駐支大使。
 韓雲階(一八九三) 關東州
 金州。滿洲國經濟部大臣。
 顧惠慶(一八七七) 江蘇省
 上海縣。直隸系。國際聯盟
 の支那全權たり。
 ガンヂ(一八六九) 印度獨
 立運動の元老。無抵抗戰術
 による反英運動の頭目たり

【キ】

熙合(一八八四) 滿洲正
 藍旗人。滿洲國宮内大臣。
 木戸幸一(明治二二) 東京

コルシカ島問題とは何か

コルシカ島は明かにフランス領であり、ナポレオンの出生地として名高い。併し
 此處は伊太利の長靴の先シリ島の近くにあつて、フランスよりも伊太利の方へ
 一層近く、昔は伊太利領であつたし、住民も人種學的には伊太利系に屬し、伊太利
 語を話してゐる。たゞそれだけの事では伊太利がコルシカを還せと叫ぶ理由にはな
 らないが、土地と人種が近く、おまけに地中海の制覇を指す伊太利にとつては、
 是非とも欲しい所である。その程度であるから勿論伊太利政府はコルシカのこの字
 も口にしてはゐない。

デブチは何故問題になつてゐるか

デブチはアフリカの東岸、紅海に臨んだ佛領ソマリランドにある附近唯一の港
 であり、勿論佛領であるが、こゝからエチオピアの首都アヂスアベバまで鐵道が出

市。内務大臣。前厚生大臣
 文部大臣、侯爵。木戸孝允
 の曾孫。
 許崇智(一八八三) 廣東省
 番禺縣。國府有數の戰術家
 監察院副院長。
 居正(一八八二) 湖北省
 蕪水縣。西山派の領袖、國
 民政府司法院長。
 許世英(一八七四) 安徽省
 建德縣。前駐日大使。

【ク】

串田萬藏(慶應三) 東京。
 前三菱銀行會長。
 クーパー(一八九〇) 英國

てゐるといふ事が問題である。エチオピア廣しと雖も此處より他に鐵道はなく、ア
 ジスアベバに行く唯一の道で、その入口である。エチオピアは伊太利領になつてし
 まひ、こゝへ行くには伊太利は、東からなら自領のソマリランドから、西北から
 なら、やはり自領のエリトリアから入れないことはない。だが道は峻しく、鐵道は
 ない。だからどうしてもデブチから入るのであるが、その唯一の入口をフランスに
 壓へられてゐると思ふやうにならない。そこで伊太利は敢へてデブチまで寄せと
 はいはないが、せめて鐵道だけでも手に入れて自由に使ひたいといふので、その點
 は政府も本腰になつて要求してゐる。フランスは勿論承知する筈がない。併し伊太
 利の要求の切なるものがあるので、英國は何とかして佛伊間を緩和しようと骨を折
 つてゐる。伊太利はまたこれに關聯してスエズ運河の自由航行を要求したり、スエ
 ズ運河會社の有力株主に割込ませると要求したりしてゐる。これ等の要求は、地中
 海の制海權、チュニス、コルシカ、ニース等の問題と複雑にからみ合ひ、歐洲の外
 交界に微妙な動きを見せてゐる。

海相。

グルー(一八八〇) 駐日米國大使。

クレイギー(一八八三) 駐日英國大使。

【ケ】

ゲーリング(一八九三) 獨逸航空相、陸軍大將元帥。

ケノン(一八七八) フイリツピンの政治家、初代大統領。

ゲツベルス(一八九七) 獨逸。ヒットラー政府の宣傳相。

ケマル・アタチュルク(一

スペイン内亂の經過

スペインは、元は王政を施してゐたが、一九三一年(昭和六年)の革命以來共和國となり、社會主義者、共產主義者、無政府主義者、組合主義者等、所謂人民戦線によつて共和政治を行つてゐたが、國民の大部分は傳統的に信仰心が厚く、熱心な信者は常に共和制に反對し、王政復歸を希望してゐた所、共和政府が寺院を壊ち、傳道を壓迫し初めたのに堪へかね、幾度となく反抗の民衆運動を起し、その都度益々壓迫の手を強められて來たが、一九三六年(昭和十一年)七月モロッコに駐屯してゐたフランコ將軍は遂に蹶起して共和政府覆滅の軍を起した。軍隊は大部分王政派であるので、國內でも忽ちこれに應じて起つ者が多く、遂にスペイン國內は人民戦線派と全體主義派とに二分せられ、同胞相食み、血で血を洗ふ凄慘な戦鬪が開始された。フランコ軍は忽ちジブラルタル海峡を渡つて本國に上陸し、首府マドリツド目がけて北上し、一方これに應ずる者は北方から南下して共和政府を挟み討ちに

八八一)トルコの政治家、初代大統領。死亡。

ケレンスキー(一八八一)

白系露人。二月革命によりケレンスキー臨時政權を樹立したが、後國外に亡命して反ボルシェビキ運動を續く。

ケラー(一八八〇) 盲啞の米國婦人教育家。先年來朝した。 阮振鐸 駐日滿洲國大使。

【コ】

項英(一八九四) 湖北省黃梅縣。中國共產黨の中心

した。政府軍は若干の軍隊もあつたが、正規軍の半分以上に反旗を翻へされたので、各労働團體を動員して義勇兵で應戦し、一方救ひをフランスやソ聯に求めた。そこでフランスは秘かに武器彈藥等を援助し、ソ聯は多くの義勇兵を送つて積極的な援助を與へた。これを見たフランコ將軍は、イタリアとドイツに救援を求めたので、ソ聯への對抗上、兩國は義勇兵を送つてフランコ軍を援けた。かうなると英國も黙つてはゐず、人民戦線派に味方して物心兩方の援助を與へると共に、獨伊に對して義勇兵を撤收することを屢々申入れ、國際聯盟やフランスも躍起になつて不干渉方針を採らうとしたが、獨伊ともソ聯兵のゐる限りは申入れに應じられぬと撥ねかへし、伊太利は殊に強硬な態度をとつてゐる。その間にもフランコ軍は一旦首府マドリッドに進入したが、市街戦激烈を極め、なほ完全に陥れることが出來ず、赤色政府をヴァレンシヤにまで追ふたことは追ふたが、マドリッドの大半は以然として人民戦線派の勢力下にある。併しその後フランコ軍は一步一步と地歩を固めて行き、フランスとの國境線に沿つて西に進み、フランスの援助線を斷切ると共に軍をバル

人物。

孔祥熙(一八八七) 山西省

太谷縣。蔣介石派。蔣政權の重鎮にして行政院長兼財政部長。

郷誠之助(慶應元) 東京。參議、貴族院議員、男爵、財界の長老。

顧維鈞(一八八七) 江蘇省

嘉定縣。歐米派の巨頭、駐佛大使。

小磯國昭(明治一三) 山形縣。陸軍大將、前朝鮮軍司令官。拓務大臣。

胡適(一八九一) 安徽省

績溪縣。文學界の第一人者

セロナとヴァレンシヤの中間に進めてその連絡を断ち、昭和十三年夏には遂に地中海に出てバルセロナを孤立に陥れ、更にこれをデリクと攻め立て、昭和十四年一月下旬遂にこれを攻略してしまつた。斯くて人民戦線派はヴァレンシヤとマドリツドを繋ぐ僅かの地方を保つのみとなり、最早命數も盡きはてんとし、英佛ソ等が如何に援助しても再び起つ能はざる状態となつたので、マドリド市長は單獨降伏し、大統領はフランスに逃げ、今はもうフランコ軍の勝利は確定的となり、全スペインを統一するのも間もない事となつた。一方フランコ將軍は、昭和十二年八月に北方ブルゴスに新政府を樹立し、自ら首相となり、着々占領地の統治を進めて行つたので、伊太利、獨逸等まづこの政府を正式承認し、次いで、ローマ法王廳、サルヴァドル、アルバニア、ガテマラ、ハンガリア等も承認した。我が國も亦これに承認を與へ、滿洲國も承認した。斯くして同胞相食む凄慘なる戦争は、大體に於て終熄を告げた。けれども足掛四年間に百萬の人を動かして相戦ひ、容易に決する所がなかつたのは、その背後に在る者の勢力が伯仲してゐるからである。即ちフランコ軍の

吳鐵城(一八八五) 廣東省

中山縣。國民黨右翼派。上海特別市々長たり、上海事件發生當初日本側との交渉に當る。廣東省政府首席。

兒玉謙次(明治四) 東京。中支那振興總裁。

伍堂卓雄(明治一〇) 石川縣。日本商工會議所會頭。海軍造兵中將、貴族院議員

元商工大臣。

近衛文麿(明治二四) 東京

樞密院議長、無任所大臣、前内閣總理大臣、公爵。藤原鎌足の後裔にて五攝家の筆頭の家柄に生る。大正八年平和會議西園寺全權の隨

方へは、伊太利が約四萬の義勇軍を、獨逸が機械化兵團や飛行隊約四・五千人を送り、人民戦線側へは英佛義勇軍が四・五萬人あり、ソ聯また、最近では大半撤收したが、一時は數萬の兵を送る有様で、表面はスペインの内亂でありながら、その實は歐洲に於ける人民戦線と全體主義群の角逐場と化した。昭和十四年三月遂に首都を占領し、人民戦線派はあへなくフランコ將軍の前に降伏した。

パレスチナは何故問題になつてゐるか

パレスチナは英國の委任統治地であり、此處にはエルサレム、ベツレヘム、ナザレ等のキリストの三聖地があるばかりか、エルサレムはユダヤ人に取つても忘れることの出来ない古代からの聖地であり、パレスチナはその昔ユダヤ國の榮えた故郷である。そこで永遠のさすらひ人となつて歐米各國に流れ、至る所に嫌はれ者となつて幾多の迫害を受けてゐるユダヤ人に、國土を與へよう、祖國に歸らせようといふ「シオン運動」が十九世紀中葉から起され、各國の猶太人は續々とパレスチナに

員たり。
小林一三(明治六) 山梨縣東京電燈社長。寶塚少女歌劇の創始者。
小林躋造(明治一〇) 廣島縣。海軍大將、臺灣總督。聯合艦隊司令長官、軍事參議官たり。
コライン(一八六九) オランダ首相。

【サ】

西園寺公望(嘉永二) 東京公爵、元老。藤原の流れ久しき祖先傳來の宰相の家柄内閣大臣數度、總理大臣再度。又政友會總裁たり。現存唯一の元老。
蔡元培(一八六七) 浙江省紹興縣。國民黨の元老。
蔡廷楷(一八八六) 廣東省羅定縣。陳銘樞系。上海事變に日本軍と戦ひ大敗す。
サイモン(一八七三) 英國の政治家、藏相。
櫻内幸雄(明治一三) 島根縣。現農林大臣。
サロー(一八七二) 佛蘭西の政治家。急進社會黨。大臣、首相たること數度。
サンガー(一八八三) 米國産兒制限運動の首唱者。

歸つた。そのためにパレスチナの猶太人の數は續々殖え、今では四十萬を數へるに至つた。此の地は以前も今もアラビア人が多く、現に八十七萬人を數へ、他に歐米各國人十萬といふ人口の割合である。アラビア人は初めは猶太人が歸つて來て金をばら撒くの喜んでゐたが、現在のやうに人口が殖えると、元來優秀な民族である猶太人に到底敵すべくもなく、經濟的にも政治的にも文化的にも猶太人に實權を握られ、支配されるやうになつてしまつた。アラビア人と猶太人とは宗教上、人種上、歴史的な仇敵であるから、この事實をアラビア人が喜ぶ筈がない。そこでアラビア人はその數と、持前の勇猛を振つて猶太人の會社や商店を襲撃し、猶太人をパレスチナから追出さうとした。英國では統治上これを黙つてゐられないばかりか、シオン運動には最初から少なからぬ援助を與へて來た關係上、今更猶太人をパレスチナから追出すわけに行かない。かといつて英國の支配下にあるエジプトからアラビア、イラク等にかけて住んでゐる多くのアラビア人を怒らせる譯にも行かず、従つて徹底的武力彈壓も出來ず、かといつて勇猛なアラビア人相手では武力以外に鎮壓の道なく、英國は目下困り抜いてゐる、といふのがパレスチナ問題である。

國際關係と各種條約

ヴェルサイユ條約の内容

一九一九年六月二十八日パリーのヴェルサイユ宮殿で調印せられた世界大戰の講和條約を普通にヴェルサイユ條約といひ、パリ講和條約、平和條約といはれるものと同一である。その内容は甚だ廣汎であるが、根幹は米大統領ウィルソンの示した十四ヶ條であり、國際聯盟の組織と、民族自決による新興國家(ユーゴスラビヤ、チエツコスロバキア、ポーランド、リトアニア、ラトビヤ、エストニア、フィンランド)の創設、ドイツの殖民地を奪つて各國委任統治地の設定、アルサス、ローレン地方の佛國移讓、一千三百二十億マルクの賠償金賦課、獨軍の大縮少等を定めた。これはドイツの手足をもぎ取つて再び立つ能はざらしめたもので、如何に

【シ】

ジイド(一八六九) 佛蘭西の小説家、評論家、詩人。象徴主義運動の巨頭。

鹽澤幸一(明治一六) 長野縣。海軍中將、前佐世保鎮守府司令長官。支那事變には南支那方面海軍最高指揮官たり。

鹽野季彦(明治一三) 長野縣。司法大臣。

重光葵(明治二〇) 大分縣駐英大使。

施肇基(一八七七) 浙江省杭縣。顧維鈞、郭泰祺と共に

戰敗國に對するものではないへ實に苛酷極まるものであつた。然もそれを民族自決などの美名の下に行つた所に大きな欺瞞があり、今日に禍根を残す原因となつたのである。トルコを本來の東洋に押込めたのはまだよい。オーストリア領のスロベニヤ地方をユーゴへ、アルサス・ローレン地方を佛國へ返したのは止むを得ないとしても、チエツコ及びスロバーク人を獨立させるために豐穰なハンガリアの農地や、鐵、石炭の産地たるドイツのズデーテン地方を割いて與へたりした事、及びポーランド獨立のためにドイツ國の眞只中を横斷して無理矢理に海岸を與へたり、戰敗國でもないロシアの各地方を割いてポーランド、ラトビヤ、エストニア、リトアニア、フィンランド等を獨立させたのは相當に無理な弱い者いぢめであつた。そのためオーストリアは財政的に到底獨立不可能となり、ドイツは天文學的數字の賠償金を課せられて、千年稼いでも到底返し切れない状態となつた。然も西獨工業の中心地たるザール地方は佛國監理の下に移され、海軍は殆んど奪はれ、陸軍は十萬を越える能はず、空軍は皆無といふ屈辱を與へられた。ドイツが何時まで此の屈辱を忍ばうぞ。無名の兵士ヒットラーが十年ならずにして全國民の絶大な支持を得たのも第一にヴェルサイユ條約の即時破棄を絶叫したからである。そして一度政權を握るや、先づ軍備を擴張し、空軍を建設し、西部に進軍してザール地方を奪還し、賠償金を蹴飛ばし、オーストリアを併せ、ズデーテン、チエツコ、メートル地方を奪ひ返した。一方國際聯盟は佛國が小協商國を牛耳つて後生大事に育て、來たが、日本の脱退と、エチオピア問題、スペイン問題解決の不手際と、ナチスドイツを牽制し得ない無力とで、今では有名無實のものとなし去り、さしに光輝燦然たりしヴェルサイユ條約も今や滿身創痕、有つて無きもの同様となり終つた。

九ヶ國條約とは何か

一九二二年二月六日米國首府ワシントン(華府)に於て調印せられた條約のこと
で、その調印國が日・英・米・佛・伊・支・オランダ・ベルギー・ポルトガルの九ヶ國であつたので、これを九ヶ國條約と呼ばれてゐる。その後デンマーク・スペイン

に歐米派外交官の三羽鳥。

嶋田鑿太郎(明治一六) 東京。海軍中將、軍令部次長

島田俊雄(明治一〇) 島根縣。政友會代行委員、元農林大臣。

謝介石(一八七八) 臺灣新竹市。滿洲國房産理事長。

シヤハト(一八七七) 獨逸國立銀行總裁。前經濟相。

周恩來(一八九六) 湖南省共產黨の大立物。中國共產黨中央執行委員、軍事人民委員。

周作民(一八八二) 江蘇省淮安縣。北支金融界の重鎮

たり。
 朱紹良(一八九〇) 福建省廈門。蔣介石系將領。
 朱德(一八八四) 雲南省中國共產黨並に共產軍の領袖として重きをなす。
 蔣介石(一八八八) 浙江省奉化縣。國民政府軍事委員長、行政院長、中央常務委員會主席。嘗て日本に來朝して高田騎兵聯隊附たり。西安事件以來抗日に狂奔し支那事變により國民政府をして一地方政權に墮せしむ。
 蔣作賓(一八八二) 湖北省應城縣。國民政府內政部長元駐日公使たり。

ソ・スエーデン・ノルウェーも参加し、又他の國も参加し、今日ではソ聯と獨逸を徐く世界主要國の大部分が参加してゐる。これは米國の主唱の下に海軍々縮會議と極東問題とを同時に協議したのであるが、海軍々縮會議の方は、日・英・米・佛・伊の五ヶ國のみで議し、この時五・五・三の比率を我國に強要した有名なもので、普通にワシントン會議とか、華府條約とかいへば此の海軍々縮條約の方をいふ。九ヶ國條約は支那の哀訴により支那を中心とし、その獨立を確保すると同時に機會均等、門戶開放を確約したものである。これはドイツ租借地の青島を我軍が占領し、大戰中に支那との間に所謂二十一ヶ條條約を締結し、膠州地方を租借すると同時に幾つかの約束をした。當時日本は大戦中に經濟的大發展を遂げ、國威の隆々たるものがあつたので、各國、殊に英米はこれを牽制しようとし、支那を煽動して此の條約締結の運びになつたのである。その時我が國は二十一ヶ條の條約を破棄し、青島を支那に返し、各國の機會均等を認め、その上日英同盟まで放棄せしめられるといふ慘々な目に合つたのである。併し今や世界、殊に極東の狀態は大變化した。古き

シヨ(一八五六) 英國の作家、批評家。一九二五年、イェル文學賞受領。
 ジョージ六世(一八九五) 英國皇帝。ジョージ五世の第二皇子。
 商震(一八八五) 河北省保定縣。山西派傍系、河南省政府主席。
 ショータン(一八八五) 佛蘭西の政治家。副首相。首相たること二回。
 蔣鼎文(一八九四) 浙江省蔣介石直系、福建綏靖主任
 ジョンソン(一八八七) 米國の外交官。駐支大使。

九ヶ國條約の革袋の中へは東亞大聯盟の新しい酒は入らなくなつた。我國が九ヶ國條約破棄を各國に通告しようとしてゐるのも當然である。

不戰條約はどんなものか

不戰條約は、ブリアン・ケロッグ協定ともいはれ、當時の佛米兩外相が主唱者となつて各國に呼びかけ、一九二八年(昭和三年)八月二十七日パリに於て主要國十五ヶ國によつて調印せられたもので、その後各國が参加して六十餘ヶ國、世界全部が加はつてゐる。その内容は、締盟國の國際紛争の解決は絶対に戰爭に訴ふべからず、國策遂行の手段としての戰爭を否定し、一切の紛争は性質の如何に拘らず平和的手段によつて解決すべし、といふのであるが、その條文は極めて抽象的な無力なものである上に、暗に自衛手段としての戰爭は認め、何處までが侵略で、何處までが自衛なのか其の限界が不明瞭であり、且つ平和的手段とはどんな手段とも判然しない。例へば經濟封鎖は一見平和的手段のやうであるが、武力の背景なくして

シンプソン(一八九五) 前
英國皇帝夫人。

【ス】

末次信正(明治一三) 山口
縣。海軍大將、參議。
杉村陽太郎(明治一七) 東
京市。前駐佛大使。
杉山元(明治一三) 小倉市
陸軍大將、前陸軍大臣、北
支那方面軍最高指揮官。
スタハーノフ(一九三五)
蘇聯炭礦労働者で採炭の合
理化を提唱して自ら採炭量
の新記録を作り、スタハー
ノフ運動の起原をなす。

經濟封鎖をすることは出来ないやうに、此の條約は全く名のみ美しく空疎なものである。だからエチオピア戦争も、スペイン戦争も、滿洲事變も支那事變も、一度は此の條約を持出したが、宛に蚊がとまつたほどの効力もなかつた。

門戶開放・機會均等主義

これは一九〇〇年に米國の國務長官ジョン・ヘーが支那の義和團事件に關して列國に送つた通牒の中に初めて主張したもので、支那に永久的安全と平和を招來し、支那の領土的及び行政的實體を維持し、國際上及び條約上與へられた各國の權利を保護し、支那帝國全土に於ける貿易上の平等の原則を防護するために、支那全土の門戶を開放し、各國が自由に利益を分け取りする機會を均等に持たうではないかといふので、各國に取つては誠に有難いことであるばかりでなく、殊に當時殆んど支那に權益らしいものを持たなかつた米國にとつては有利至極なものである。君が香港を返るなら僕も廣州灣を貰はう、お前が遼東半島を租借するなら自分も威海衛

スターリン(一八七九) 蘇
聯邦共產黨中央委員會書記
長。靴屋の子より身を起し
て蘇聯の獨裁官となる。
スタンドレー(一八七二)
米國。海軍大將、軍令部長
スタンレー(一八七二) 英
國自治領相。
スワンソン(一八六二) 米
國の政治家、海軍大臣。

【セ】

石友三(一八九二) 吉林省
農安縣。元馮玉祥の驍將。
錢大鈞(一八九三) 江蘇省
崑山縣。蔣介石直系、上海

を借りようといふわけで、支那分け取りの機會を均等ならしめるもので、支那こそいゝ面の皮だといはねばならぬ。そして米國は常にこれを傳家の寶刀のやうに振翳す。九ヶ國條約にも、滿洲事變にも支那事變にも、いつもこれを持出して抗議し、常に日本の大陸進出を阻止しようとしてゐる。

國際聯盟の組織

國際聯盟はヴェルサイユ條約の劈頭第一編に規定せられ、世界各國が一つの聯盟を作り、今後世界から一切の戦争を絶滅し、若し紛争が起つた場合には國際聯盟によつて解決方法を講じ、決して武力に訴へないでおかうといふのが、その最大の根幹をなすものである。これに關聯して民族自決、軍備縮少、労働、衛生、經濟、文化等の問題も國際的に協調し解決して行かうとする、國際聯盟は、一九一九年六月ヴェルサイユ條約の調印と共に創設せられ、初めは聯合軍三十三ヶ國によつて組織されたが、一九二六年にはドイツを初め同盟國側も一齊に参加し、發起國二十九、

市長たり。

【ソ】

宋慶齡(一八九〇) 江蘇省上海縣。孫文未亡人にして宋子文、宋美齡の姉。國民黨極左派の領袖。

臧式毅(一八八四) 奉天省瀋陽縣。滿洲國參議府議長

宋子文(一八九〇) 江蘇省上海縣。蔣介石直系。國民黨中央執行委員、中國銀行董事長。

宋哲元(一八八五) 山東省樂陵縣。第二十九軍長。冀察政權の領袖たり。

勸誘國十三、申込國十四、合計五十六ヶ國がこれに加入し、世界の大部分が加はつて國際聯盟創設の意義を全からしめたかの觀がある。所が最初にして最も熱心だつた主唱國米國が初めから加はらず、ソ聯、ブラジル、エヂプト、トルコ、コスタリカ、エクアドル、アフガン、ヘヂヤース等も加はらなかつた。他はよいとして、米國とソ聯の加はらぬ事は國際聯盟の意義を弱めるものであつたが、その後滿洲事變で日本が脱退し、續いてドイツも脱退し、イタリーも脱退するといひ出し、その他弱小國ではあるが相次いで脱退するものが續出し、ソ聯は參加したが却つて國際聯盟は無力なものとなつてしまつた。何故なら、國際聯盟に米國の如き有力國が參加してゐない事、それ自身に武力を持たないから、弱小國の紛争は解決し得るが、強大國に對して睨みがきかない事、政治及び外交は意氣で動くものであるから、一々各國を招請して小田原評議をしてゐたのでは事件に追いつけない事、國際聯盟といつても結局は二三有力國に牛耳られ、その利害を第一とせられ、如何なる正論も弱小國を以てしては通らないこと等のために、大きな事件に遭遇する度に、その弱體ぶ

宋美齡(一九〇一) 江蘇省上海縣。蔣介石夫人、宋子文の妹。

孫科(一八八七) 廣東省中山縣。孫文の長子。國民政府立法院長、親蘇派の中心人物。

孫其昌(一八八一) 奉天省遼陽縣。滿洲國民生部大臣

【タ】

我が海軍が五萬噸級の大戦艦を建造してゐるだらうといふ虚報を信じた英米は、昭和十三年二月、我が政府に問合せの文書を寄せ、若し事實ならば英米佛等は自衛上エスカレーター條項を援用して、自分等も五萬噸級の大戦艦を造らねばならぬと主張した。エスカレーター條項とは昭和十一年のロンドン海軍々縮條約文中の第三部第二十一條に規定されたもので、若し締約國が締約國以外の國の建艦により脅威を感じる場合には、それに對抗して、締約國もまた同様の建艦が出来るといふのである。即ちエスカレーター(動く階段)のやうに、他が上昇すれば自分もそれに從つて上昇するといふのである。そのうちの締約國とは英米佛三國である。ロン

エスカレーター條項とは何か

瀧正雄(明治一七) 愛知縣前企畫院總裁。
 多田駿(明治一五) 宮城縣陸軍中將、前參謀次長、元支那駐屯軍司令官。
 田邊治通(明治一一) 山梨縣。遞信大臣。
 タゴール(一八六一) インド詩人、一九一三年ノーベル文學賞受領。
 ダラディエ(一八八四) 佛蘭西の政治家、急進社會黨首相兼國防相。

【チ】

チアノ(一九〇三) 伊太利

外相、伯爵、ムツソリーニ首相の女婿。
 チエンバンレン(一八六九) 英國の政治家、首相。
 張學良(一八九八) 奉天省海城縣。張作霖の長子。抗日の常習犯。
 張繼(一八八一) 河北省滄縣。元西山派。國民政府立法院長たり。
 張景惠(一八七一) 奉天省臺安縣。滿洲國國務總理兼建國大學總長。
 張治中(一八九一) 安徽省蔣介石直系の將領。
 張人傑(一八七三) 浙江省

ドン會議には我國も伊太利も參加したが、英米等が飽くまで舊態以然たる五五三の比率を我に押付けようとするので、我國は所謂不脅威・不侵略の自主的軍備を主張して譲らず、遂に會議を脱退し、續いてワシントン及び第一次ロンドン等の軍縮條約から離脱してしまつた。伊太利は第二次ロンドン會議の最後まで參加してゐたが、調印に先んじ、エチオピア問題の感情から調印を拒絶したので、後は英米佛三國が勝手な條約を作つて調印した。従つて締約國以外の國といへば、日本、伊太利二國であり、併せて海軍の擴張に努力しつゝある獨逸を暗示したものである。此の 에스カレーター條項の援用と云ふのは、我國が彼等の問合せに對して彼等の満足する解答をしない事を豫め承知の上で、日本が満足な解答をしないのは五萬噸級の大戰艦を造つてゐる證據であるとし、こゝに口實を得て大艦の建造を行ひ、責任を我に押しつけようとしたものである。

米國の中立法とは何か

米國は昔からモンロー主義を國是とするだけに、中立法の歴史は古く、一七九三年、英佛戰爭の時既にこれを制定した。其他これは有名無實となつてゐたが、一九三五年(昭和十年)八月三十日、伊太利がエチオピアを攻略した時に不干渉の態度を持つて新しく中立法を制定し、翌年二月これを修正し、更に一九三七年五月に増補修正した。その内容は、大統領が或る國と或る國とが戰爭をしてゐると認定して公布した場合には、米國は兩交戰國に對して一切の兵器・彈藥・軍用器材等の輸出を禁止する。それは直接輸送と間接輸送たるを問はない。但し原料品(棉花・石油・銅等)までには及ばないが、更に特別布告をした場合にはそれ等をも禁止される。猶この中立法が發動すれば、當然交戰國との金融上の取引も禁じられ、米國の港を供給根據地とすることも禁じられ、米國民が交戰國の船で旅行・運送すること、交戰國の船舶が米國の諸港に出入することも制限される。これは直接には米國がこれ等の通商をすることによつて戰爭の中へ卷込まれる危険を防ぐためであり、間接には戰爭を防止抑壓するためである。所で大統領が如何なるものを戰爭と認め

吳興縣。國民黨の長老、政
府委員。

趙戴文(一八六七) 山西省
五臺縣。閻錫山の顧問、山
西省政府主席。

張發奎(一八九五) 廣東省
始興縣。汪兆銘系の勇將。

陳果夫(一八九二) 浙江省
吳興縣。蔣介石直系、蔣介
石の腹心として重きをなす

陳儀(一八八二) 浙江省
紹興縣。蔣介石系。福建省
政府主席。

沈鴻烈(一八八一) 湖北省
天門縣。東北海軍の首腦に
して青島市長たり。

るかど問題の重點であり、エチオピアの事變は戦争と認めしたが、支那事變はまだ戦
争とは認めず、今日も猶中立法の發動を見ない。米國が我國に對し武器その他輸
出を手びかへながら、支那へは巨額の金を貸したり物を賣つたりしてゐるのは、中
立法によらず、政府の手心によるものである。

アグレマンとはどんなものか

外國に大使や公使を派遣するに先立ち、その姓名を明示して相手國の承諾を得る
ことをアグレマンを得るといふ。誰を派遣しようとするか當方の自由であるべき筈ではあ
るが、外交上の一儀禮として、文明國間ではお互ひにアグレマンを得てから使臣
を派遣する習慣になつてゐる。併しそれは殆んど儀禮化し、他國の派遣する大公使
にアグレマンを與へないことは殆んどないが、抗日國民政府は先に我が小幡公使に
アグレマンを與へなかつたこともあり、近くは獨逸が支那の大使に、伊太利がフラ
ンスの大使に與へなかつたし、フランスは最近我が谷大使にアグレマンを與へなかつた。

陳濟棠(一八九一) 廣東省
防城縣。廣東實力派の首領
たり。

陳紹寬(一八八八) 福建省
閩侯縣。蔣介石系、海軍の
第一人者。

陳誠(一八九六) 浙江省
蔣介石直系、軍政部長。

陳調元(一八八五) 河北省
安新縣。蔣介石系、軍事參
議院長。

陳獨秀(一八七九) 安徽省
懷壽縣。中國共產黨首領。

陳銘樞(一八九一) 廣東省
合浦縣。廣東右翼派。

陳友仁(一八七八) 廣東省

つたので我國は代理大使で済ませ、正大使を送らぬ事とした。かうして各國は緊迫
した外交關係に嫌がらせの手段として、こんな手を使ふやうになつた。

大使と公使とどう違ふか

大使は公使より上位のやうに思はれるが、決してさうではない。昔は大使は親任
官、公使は勅任官であり、大使は全權を委ねられ、公使は一々本國政府に請訓し
なければならなかつたし、相手國にあつても、大使は一國の元首と膝を交へて談じ
ることが出来、公使は外務大臣以上と話が出来なかつたが、今日ではそれ等の區別
は全くなくなり、たゞ儀式的な格式や待遇が若干違ふだけである。併しながら大使
を交換してゐる國は必ず大國であり、外交的に重要な地位にあるから、従つて事實
上では上位の人が大使となつてゐる。併し前の支那のやうに重要な國に派遣されて
ゐる人は、公使でも相當上位の人が赴任する。その國に大使を派遣するか公使を送
るか、相手國との相互關係にあり、一方だけが大使を送るといふことはない。

國民黨極左派。
陳立夫(一八九九) 浙江省
吳興縣。蔣介石直系、中央
黨部組織部長。

【ツ】

津田信吾(明治一四) 愛知
縣。鐘ヶ淵紡績社長。

【テ】

丁鑑修(一八七六) 奉天省
蓋平縣。滿洲電業社長。
程潛(一八八一) 湖南省
醴陵縣。元武漢廣西派、參
謀總長。
デイルクセン(一八八二)

ユダヤ人問題を巡る米獨の動き

獨逸の總統ヒットラーがユダヤ人嫌ひで、今日まで種々の方法でユダヤ人排斥を
行つたことは衆知のことである。併しユダヤ人は猶多く獨逸内に止まつてゐる。所
が昭和十三年十一月七日、パリーの駐獨大使館内に於て白晝ライト書記官がポーラ
ンド系のユダヤ人グリムスタンに狙撃された。茲に於て獨逸人の激昂は極度に達し、
全獨逸に亘つてユダヤ人へ報復の迫害が行はれ、ユダヤ人の教會や商店は見る／＼
破壊され、僅か一日にして約十億マルクの損害を與へたと云はれる。これを聞いて
大憤慨したのは米國である。元來米國民は、かういふ話を聞くと何の批判もなく大
憤慨する安價な人道主義者であるが、然も米國にはユダヤ人が世界中で最も多く住
み、米國の産業界金融界の實權はユダヤ人の手にあり、米國の財務長官モーゲンソ
ー、大審院判事ブランドス、紐育知事リーマン、紐育市長ラガーデア、財界のバー
ナード・バラック、オットカ・ガーンを初め、映畫界、デパート界、劇團、新聞界

駐英獨逸大使、前駐日大使
寺内壽一(明治一二) 山口
縣。陸軍大將、軍事參議官
伯爵、前陸軍大臣、前北支
方面軍最高指揮官。

【ト】

東郷茂徳(明治一五) 鹿兒
島市。駐蘇大使。
董康(一八六七) 江蘇省
常州。中華民國臨時政府司
法委員會委員長。
湯爾和(一八七七) 浙江省
杭州。中華民國臨時政府議
政委員會委員長。
唐紹儀(一八六〇) 廣東省

を支配してゐるものはみなユダヤ人である。といふことは、ユダヤ人が米國の政治
をも動かす得る實權を握つてゐるといふことになる。そこで米國政府は早速獨逸に
抗議したばかりか、ルーズヴェルト大統領は、軍部の反對を押切つてフランスに百
臺の飛行機を賣り、米國の國境はライン河にまで伸びてゐると云つたと云はない
とかで獨逸は極度に激昂し、米國が獨逸に於けるユダヤ人問題の詳細な報告を得る
ためと稱して駐獨大使ウイルソンを本國に召還すると、獨逸も亦駐米デーイクオフ
大使に歸國を命じた。この間英國は、矢張り國內に多くのユダヤ人を有し、ロスチ
ヤイルド家を初め財界の實權をユダヤ人に握られてをり、上海の英國財閥サッス
ン一家はユダヤ人であり、現陸相ホーアベリシア氏もさうである等の事から自然ユ
ダヤ人問題に冷淡ではあり得ず、米國同様ドイツに抗議し、今や英米歩調を合せて
獨逸を攻撃してゐるが、獨逸はビクともせず、少しもユダヤ人排斥の手を緩めない
のみか、伊太利にまでユダヤ人排斥をさせ、ベルリン・ローマ樞軸の固い所を見せ
て對抗してゐる。

中山縣。國民黨の元老。

ドーズ(一八六五) 米國の政治家、有名なドーズ案の作製者。

唐生智(一八八五) 湖南省

東安縣。汪兆銘系、國府軍事參議院長たり。

徳王(一九〇二) 蒙古聯盟自治政府主席。本名は徳穆楚棟魯普、徳王は通稱。

杜月笙(一八八七) 江蘇省

上海縣。所謂流動資本家本家の總帥として知らる。

トラウトマン(一八七七)

獨逸の外交官。前駐支大使

トロツキー(一八七九) ロ

ユダヤ禍は實際にあるか

西洋では八釜しくユダヤ禍を叫ぶ。ヒットラーは殊にこれをナチス黨政策の重要な項目とし、政權を握るや否や直ちにユダヤ人を排斥し、官吏・教員等國家の官公職から全てのユダヤ人を追出し、ユダヤ人とドイツ人との結婚を禁じ、ユダヤ人を國內に一人も残すまいとさへし、そのために人道上の大問題だといつて米國と感情を衝突させて顧みないでゐる。何がヒットラーをして此のやうにユダヤ人を毛嫌ひさせてゐるのか？ ユダヤ人は元來偉大な人種であつた。その昔はバビロンの文明を築き、ダビテ、モーゼを初め救世主キリストを生み、近代に於てもベーターベン、メンデルスゾーン、ハイネ、ストリンドベルヒ其他多くの藝術家や、アインシュタイン、マルクス等の學者や、ロスチャイルド等の大財閥を出してゐる。然も古來ギリシヤ人、ローマ人を初め、幾多の優秀民族が今日跡型もなく滅び去つてゐるのに、さまよへるイスラエル人たるユダヤ人のみが、文字通り祖國を失つて世界各地に流

シヤ革命の元勳、反スターリン派の巨頭。

【ナ】

永井柳太郎(明治一四) 石

川縣。前遞信大臣、衆議院議員。

中島知久平(明治一七) 群

馬縣。元鐵道大臣、衆議院議員。政友會の重鎮。中島

飛行機會社長。

永野修身(明治一三) 高知

縣。海軍大將、聯合艦隊司令長官、前海軍大臣。

中村孝太郎(明治一四) 石

川縣。陸軍中將。前東京警

浪し間斷なき迫害を受けながら猶且一千七百萬の人口を存續してゐることは如何に彼等が根強い優秀な民族であるかを證據立てるものである。けれども由來西洋人は宗教的偏見の強い人種であつて、ユダヤ人の一部が救主キリストを磔刑に處したといふだけで、そして彼等が頑としてキリスト教を信ぜずユダヤ教を信仰してゐるといふだけの事で、千數百年間言語に絶した迫害を加へて來た。或る時は大虐殺され、或る時は追放され、或る時は市民權を奪はれ、ユダヤ人であるが故に如何に功名を立て、も力があつても酬みられる所が少なかつた。だから彼等の中にも不俱戴天の怨恨を懷いて迫害者に仇をした者もあつたが、併しそれは個人的或は局部的なものであつて、猶太人全體が結束して陰謀を企てゝあるわけではない。けれども宗教的偏見の強い白人達は、全ての罪惡をユダヤ人に結びつけ、これを蛇蝎のやうに嫌ふ感情は到底我々の想像も及ばぬほどである。故に識者の中には、人道から厄介者を片附ける意味からとて、ユダヤ人に國土を與へよといふ議が起り、ユダヤ人を故國シオンの地パレスティンに返さうといふ所謂シオン運動が起され、ユダヤ

備司令官。
ナジャール(一八八三) 駐
支佛國大使。

【三】

西尾壽造(明治一四) 鳥取
縣。陸軍中將。前近衛師團
長。

【ネ】

ネール(一八八九) 印度の
政治家。ガンヂに代つて印
度獨立運動の總帥。
根津嘉一郎(萬延元) 山梨
縣。貴族院議員。實業界の
重鎮。

人また續々と歸つたが、併しパレスタインは紀元前にバビロンの文明を築いた時代のやうな豊穰溫和な土地ではなかつたから、彼等自身失望して再び漂泊の旅に上つた。ソ聯政府もまた彼等のために黒龍江沿岸地方を與へようとしたがモノにならずシオン運動は殆んど立消えとなつてゐる。ヒットラーがユダヤ人を嫌ふのは、白人通有の傳統的な感情も手傳つてゐるようが、彼は彼の最も嫌ふ共產主義がユダヤ思想から出たものであるとの見界に據る。共產黨の父マルクス、ソ聯の大立物トロッキ、ジノヴィエフ及びドイツ共產黨の大闘士リープクネヒト等は純乎たるユダヤ人であつた、だからヒットラーは共產黨を目してゲルマンの傳統を滅ぼす大陰謀團とし、凡ゆる非國家的思想の源泉はユダヤ人にあるとしてゐる。成る程ユダヤ人にはその一面がある。物慾のためには國家の不利をも顧みないといふ國際的大財閥は大抵ユダヤ人であり、彼等は意識的にはそんな思想を持たないにせよ、祖國を持たず漂泊へる民である彼等の血の中には、愛國心が薄く、國家を無視する思想、國際的な思想が多分にあるのだらう。國粹主義のヒットラーはそれを嫌ふのである。故

【二】

ノイラート(一八七三) 獨
逸の外交官、男爵、前外相
野村吉三郎(明治一〇) 和
歌山縣。海軍大將、學習院
長。上海事變に第三艦隊司
令長官たり。

【ハ】

バード(一八八八) 米國探
検家、海軍少將。
パーキンス(一八八二) 米
國労働相。
ハイレ・セラシエ(一八八
一) 前エチオピア皇帝。

黄禍論の源は誰か

に彼は名譽あるアインシュタインやフロイドまでも國外に追ひ、經濟的な大苦痛を忍んでまでもユダヤ財閥と手を切つた。白人の云ふユダヤ禍といふやうな世界覆滅の具體的な大陰謀が彼等の中に企てられてゐる事は遽かに信じられないが、ヒットラーの考へるやうな目に見えない消極的な悪影響は必ずしも否定出来ない。寔にユダヤ人とは永遠に十字架を負ふて漂泊ふ氣の毒な民族である。

黄禍論とは、白人種が東洋民族を怖れ排斥しようとする説であつて、ユダヤ禍論ほどに根強くはないが、白人間には相當に信じられてゐる論であり持たれてゐる感情である。これを初めて唱へたのはドイツのカイゼル・ウィルヘルム二世であつた。彼は極東の一小島國日本が大ロシアを敗つた時、黄禍來の漫畫を書かせ、自らこれに註釋文句をつけた。これは一片の戯れのやうではあるが、卓越した彼の外交眼を以てすれば名もない日本が恐しかつたに相違ない。爾來白人間には黄禍の觀念が漸

白崇禧(一八九三) 廣西省桂林縣。廣西派の領袖。戦術家を以て聞ゆ。
 長谷川清(明治一六) 福井縣。海軍中將。前支那方面艦隊司令長官。
 畑俊六(明治一二) 福島縣陸軍大將。前中支方面軍最高指揮官、前教育總監。
 鳩山一郎(明治一六) 東京市。政友會代行委員。元文部大臣。
 八田嘉明(明治一二) 東京商工大臣。
 馬場鉄一(明治一二) 東京貴族院議員。元大藏大臣、

次濃厚になつた。彼等の血には、八百年の昔蒙古王デングスカンに世界の大半を蹂躪された苦い思ひ出が傳はつてゐる。その眠れる血を呼び醒めたのが日本人の隆々たる聲價である。白人達は東洋人を頭から輕蔑してゐる。にも拘らず日本人だけは戦争に於ても知識に於ても勞働力に於ても白人に勝つ。これにうながされて東洋民族は漸次自覺して來た。そこで白人達の輕蔑は忽ち畏怖と變つた。米國やオーストラリヤが我が移民を拒絶したりしたのも畢竟は此處に原因する。

防共協定はどんな内容を持つか

昭和十一年十一月二十五日、我國と獨逸との間に防共協定が締結せられ、翌年伊太利も参加し、續いてスペインのフランコ政權も加はり、昭和十四年一月にはハンガリーが参加し、滿洲國も來り投じ、ポーランド及びユーゴスラビヤまでが参加の意向を持つてゐる。初め日獨防共協定が締結された時、各國は何か特別な深い條約——例へば攻守同盟或はソ聯に對して積極的攻勢に出る秘密條約がありはしな

内務大臣。
 林銑十郎(明治九) 石川縣陸軍大將。元内閣總理大臣陸軍大臣。
 ハリファックス卿(一八八一) 英國外相。
 ハル(一八七二) 米國の政治家、法律家。國務長官

【七】

いかと疑はれてゐたが、帝國はそんなものでないことを天下に示し、志を同じうする國は誰でも何時でも参加し得ると聲明した。即ちソ聯内に本部を置き、スターリンに指導されてゐる共産黨が國際的に強大な組織を持ち、世界の赤化工作に努めてゐる事實に鑑み、共産黨の魔手から逃れるため、情報を交換したり、防共手段を考究したり、聯絡を密にしたりして防共の共同戦線を張るだけのものである。従つて特定の國家に對して領土的排他的な意味は全然なく、攻守同盟の如き内容もない。獨逸や伊太利は共産黨のために一時祖國を身賣しようとした。ナチスやファシストはこれを憂へて敢然蹶起し、遂に祖國を奪ひ返した辛い經驗を持ち、我國もまた共產主義は國體と全く相容れないこと、然も支那の赤化によつて物心共に脅威を受けてゐることに鑑み、同憂相寄つたまでである。併し此の防共協定は日獨伊三國國民の繋がりや豫期以上に密にし、單なる事務的防共工作に止めておかず、緊密な精神的結びつきにまで昂揚した。近時三國が國際的に、政治的に、經濟的に、將又文化的にまで緊密に協力しつゝあるのは、決して防共協定の規約にあるのではなく、そ

ピットマン(一八七二) 米國上院外交委員長。

ヒットラー(一八八九) オーストリア。獨逸の終身總統。勞働者より身を起して今日の地位を築く。

ヒューズ(一八六二) 米國の法律家。大審院長。
 馮玉祥(一八八〇) 安徽省巢縣。西北軍の首領、親蘇派の巨頭。
 平生鈞三郎(慶應二) 岐阜縣。貴族院議員、日本製鐵會長。元文部大臣。
 平沼騏一郎(慶應三) 岡山縣。男爵、内閣總理大臣。
 廣瀬久忠(明治二二) 山梨縣。厚生大臣。
 廣田弘毅(明治一一) 福岡縣。元内閣總理大臣、外務大臣。

歐洲各國事情

ナチス黨の歴史

ナチス(Nazis)とは國家社會主義労働黨(National Sozialistische Arbeiter Partei)の略稱で、ドイツ民族の傳統と文化を尊重し、共產主義を排撃し、全體主義によつてドイツ民族の大同團結による大ドイツ國を建設しようとする政黨である。ナチス黨は現ドイツ總統兼首相であるアドルフ・ヒットラーが、一九二〇年、南獨逸のミュンヘンに於て僅か五人の同志と共に創始したものである。ヒットラーは名もな一兵士であり、世界大戰にはオーストリアの一地方から起つて獨逸軍に投じ從軍奮戦したのであつたが、その烈々たる愛國の情は、休戦後ドイツが共產黨に牛耳られて社會革命を起し、見る／＼社會主義者に政權を奪はれ、敗戦の痛苦の上に更に

フーヴァー(一八七四) 米國の政治家、前大統領。
 フォード(一八六三) 米國の自動車王。
 深井英五(明治四) 群馬縣貴族院議員。
 藤田尚徳(明治一三) 東京海軍大將、軍事參議官。
 藤原銀次郎(明治二) 長野縣。貴族院議員、前王子製紙社長。實業界の元老。
 船田中(明治二八) 栃木縣前法制局長官。
 ブラット(一八六九) 米國

【フ】

共產黨の暴舉を加へて誇り高きゲルマン帝國が一朝にして滅び去らうとする形勢を痛憤し、五人の同志と此の黨を起し、共產黨の撲滅、ユダヤ人の排斥、ヴェルサイユ條約の破棄、軍備平等權の要求、賠償金の全廢、失地の奪還、ドイツ民族の統一、婦人労働の廢止、そして第三帝國の建設を叫んで起つた。それ等は當時のごとく無謀に近い叫びではあつたが、また一方、敗戦の屈辱にあへくドイツ國民の心底からなる要求であつた。故にヒットラーの情熱と熱辯とは忽ち多くの共鳴者を獲得し、彼が當局の忌諱に觸れて投獄されてもナチス黨は却つて膨脹し、數度の總選舉に驚異的躍進を遂げ、一九三三年には黨首ヒットラーは遂に首相の印綬を帯びるに至り、翌年には大統領となつた。彼は大統領にして首相を兼ね、政治と兵馬の兩權を握り、先づ共產黨を撲滅し、ユダヤ人を國外に追ひ、軍備の平等權を主張し、續いてヴェルサイユ條約破棄を強行し、賠償金を蹴飛ばした。それは狂人にも近いほどの無謀を敢へてしたのであつたが、ヒットラーの背後にあるナチス黨の強大な勢力は、國論を統一して貧乏ゆるぎもさせなかつたので、流石の列強も嘴を入れる餘地がな

海軍提督。

フランコ(一八九三) スペイン。人民戦線派に抗して反政府の戦端を開きフランコ政權を樹立す。

ブリュニング(一八八五) 元獨逸首相。

ブリュツヘル(一八八九) 蘇聯。前極東赤軍司令官。

古莊幹郎(明治一五) 熊本縣。陸軍中將。前南支方面軍最高指揮官、臺灣軍司令官。

ブルム(一八七二) 佛蘭西の政治家、元首相、社會黨首領。

かつた。斯くてヒットラーは一九三八年には彼の大理想たるオーストリアをも併合し、チエツコやメーメル地方をも奪還して大ゲルマン帝國の建設を八九分通り完成した。ナチスが叫ぶ第三帝國とは即ち大ゲルマン帝國の建設にほかならない。今やドイツはナチス黨一色に塗り潰され、嘗てはヒットラーに不服を抱いた者もヒットラーによつてのみドイツが更生し得ることを認めて絶大の信頼を送つてゐる。

ナチス黨の政綱

ナチスは一九二〇年二月二十四日、ナチス、即ち國粹社會主義獨逸労働黨を初めて結成した時、次のやうな二十五ヶ條の政綱を定めた。これは今日に至るまでナチス不磨の大典とされ、延いては新獨逸不滅の國策としてゐる。今その中の主なるものを擧げると次のやうである。

- 第一條 我等は民族自決權に基き總ての獨逸人の大獨逸への合同を要求す。
- 第二條 我等は他の總ての國民に對する獨逸國民の平等權を主張し、ヴェルサイ

フロイド(一八五六) 舊オーストリアの心理學者。精神分析學の權威。

フンク(一八九〇) 獨逸經濟相。

【へ】

ベネシユ(一八八四) チエツコスロヴァキヤの大統領

ヘス(一八九四) 獨逸無任所相。ナチス副黨首。

ベツク(一八九四) ポーランド外相。

ヘンライン(一八九八) チエツコのズデーテン・ドイツ黨首領。

ユ、サンゼルマン 兩講和條約の廢棄を要求す。

- 第三條 我等は獨逸國民を支へ、又その過剩人口を收容すべき植民地を要求す。
- 第四條 獨逸國民は獨逸人(獨逸の血統を有し宗教の如何を問はず)たるを要す。從つて猶太人は獨逸國民たるを得ず。

- 第六條 獨逸國民に非ざれば國家の指導立法(即ち官吏)に參與するを得ず。
- 第九條 國民の權利義務は平等たるべし。

- 第十一條 我等は不勞所得と金貸業者とを排斥す。
- 第十二條 我等は戰時利得の沒收を要求す。

- 第十三條 我等は社會化された各企業の國有を要求す。
- 第十四條 我等は大工場に對する利益の分配を要求す。

- 第十五條 我等は養老年金制の完成を要求す。
- 第十六條 我等は中産階級の獨立維持を要求す。

- 第二十三條 我等は政治家の墮落と新聞の腐敗とに對し立法的鬭争を要求す。

【ホ】

ホア＝ベリシヤ(一八九八) 英國陸相。
 ホールドウイン(一八六七) 英國政界の元老。三度首相たり。
 堀田正昭(明治一六) 東京市。前駐伊大使。
 ホツザ(一八七八) チエツコ首相。

【マ】

前田米蔵(明治一五) 和歌山縣。參議、政友會代行委員。元商工大臣、鐵道大臣。

町田忠治(文久三) 秋田縣參議、民政黨總裁。元農林大臣、商工大臣。
 松井石根(明治一一) 愛知縣。陸軍大將。前中支方面軍最高指揮官。
 松岡洋右(明治一三) 山口縣。參議、元滿鐵總裁。
 松平恒雄(明治一〇) 福島縣。宮内大臣。元駐英米大使。
 松平賴壽(明治七) 東京市貴族院議長、伯爵。

【シ】

南次郎(明治七) 大分縣。

第二十四條 我等は獨逸民族の道徳を誹毀せざる限り總ての宗教に對する自由を要求す。我黨は基督教主義を支持して猶太人の唯物主義を排斥す。我等は利己を排して一般の福祉を重んず。獨逸國民の復活は唯此一途にかゝる。
 第二十五條 以上我等の要求を實現する爲に中央集權の實を擧げ、政治的議會は聯邦議會のみとし、各邦には階級的職業的議會を設け、中央政府の制定せる法律を實施せしむ。
 黨の諸領袖は必要あれば生命を投出して以上擧げ來つた諸條を固守せんとするものである。

ワイマール憲法とは何か

獨逸のヒットラーが政權をとつてからワイマール憲法を否定したといふ。ワイマール憲法とは、世界大戦後獨逸が帝制を廢して共和制を布いた時に制定した新憲法で、當時首都ベルリンが騒がしかつたために國會をベルリンに召集することが出來

ず、一九一九年七月チューリンゲン州の首府であるワイマール市に國會を召集し、此處で制定したので、世にこれをワイマール憲法と云つてゐる。全文百八十一條から成り、非常に立派な出來榮だといはれてゐる。けれども人民戦線派の手に成つたものだけに、反對思想を抱くナチスが其の儘受入れる筈はなく、一九三三年三月から一ヶ月ほどの間に三回に亘つて國監法を發布し、ワイマール憲法を全く否定しなかつたが根本的な大修正を施し、今日ではワイマール憲法は全く有名無實な條文となつてしまつてゐる。

獨逸の突撃隊と親衛隊

獨逸にある突撃隊及び親衛隊は軍隊ではなく、謂はゞ警官のやうな役目をするもので、交通の整理、集合場その他の警備、犯罪の防止などを行ひ、我が青年團や在郷軍人が行ふやうな仕事を、もう少し積極的に行ふものである。大正十年(一九二一年)ヒットラーによつてナチスが初めて創立せられた時、共産黨その他の社會主

陸軍大將、朝鮮總督。元陸軍大臣、
ミルラン(一八五九) 佛蘭西の政治家。元首相。

【ム】

ムツソリーニ(一八八三) 伊太利首相。世界大戰後共產主義反對のファツシスト黨を結成して次第に勢力を得、名實共に伊太利の獨裁者たり。
村田省藏(明治一一) 東京大阪商船社長。

【モ】

義團體が旺んに活躍してゐた頃の事として、演說會などを催すと忽ち共產黨員に蹂躪されてしまつた。そこでヒットラーはこれ等に對抗するため、腕節の強い青年を集めて護衛と警備に當らせたが、これが突撃隊の濫觴である。大正十一年冬ミュンヘンでナチスの第一回大會が開かれた時、突撃隊員はジャケツにハーゲンクロイツの腕章を巻いて現れたが、その後鳶色のワイシャツを制服とし、鳶シャツ隊の異名をとるやうになつた。ナチスが強大になると同時に突撃隊も強大となり、相當の武器も持ち、軍隊同様の規律と訓練を持つやうになつたので、時には軍隊から毛嫌ひされ、軍隊と衝突しかけたこともあつたが、ヒットラー政權確立と共に突撃隊の組織を改め、素質を向上させ、今日のやうに公共的なものとしてしまつた。突撃隊は祖國及びヒットラーに絶対の服従を誓ひ、生死を共にしようといふ熱烈な同志愛に燃えてをり、ヒットラー・ユーゲントの理想はよき突撃隊員となるにあるとまで云はれてゐる。目下の隊員數は六十萬人と號されてゐる。
親衛隊は、突撃隊員の中から最も信用あり、祖國愛の強い者を選んで組織し、ヒ

毛澤東(一八九二) 湖南省湘潭。中國共產黨の中心人物。
百武源吾(明治一五) 佐賀市。海軍大將、横須賀鎮守府司令長官。
百武三郎(明治五) 佐賀縣海軍大將、侍從長。
モロトフ(一八九〇) 蘇聯邦人民委員會議々長。

【ヤ】

八角三郎(明治一三) 岩手縣。海軍中將、拓務政務次官。
山本五十六(明治一七) 新

ットラー及びナチス幹部の護衛や集合場の整理警戒に當つてゐる。親衛隊は黒の制服を着け、頭蓋骨と大腿骨とを組合せた決死の意味の徽章をつけてをり、その數二十萬人と云はれる。

ヒットラー・ユーゲント

ヒットラー・ユーゲントとは、ヒットラー青少年團と譯すべき詞で、大別して男女に分れ、男の方は更にヒットラー・ユーゲントとユング・フォルクとに分れてゐる。狭い意味のヒットラー・ユーゲントは十四歳から十八歳迄の青年を團員とし、大きな意味のヒットラー・ユーゲントの中樞をなしてをり、ユング・フォルクは十歳から十四歳までの少年である。女の方も二大別され、プント・ドイツチエル・メーデルは、十四歳から二十一歳迄の女、それ以下十歳までの女はユング・メーデルと云ふ。女の方が男より三年も長いのは、國民の母としての訓練を施さうためである點に深い意味がある。現在の總團員數は七百萬人であり、組織は先づ十五人を一單

海軍中將、海軍次官
ヤング(一八七四) 米國實
業家、ヤング案の作成者。

【ユ】

結城豊太郎(明治一〇) 山
形縣。日本銀行總裁、貴族
院議員。元大藏大臣。
湯淺倉平(明治七) 山口縣
内大臣。元宮内大臣。
ユレーネフ(一八八九) 元
駐日蘇聯大使。

【ヨ】

楊 杰(一八八九) 雲南省
大理縣。中國有数の戦略家

楊虎城(一八八三) 陝西省
蒲城縣。于右任系。張學良
と共に西安事件を起す。
余漢謀(一八九一) 廣東省
高要縣。廣東省綏靖主任、
第四督軍總司令たり。
吉田茂(明治一一) 東京市
前駐英大使。
吉野信次(明治二一) 宮城
縣。元商工大臣。
米内光政(明治一三) 岩手
縣。海軍大將、海軍大臣。
元聯合艦隊司令長官。

【ラ】

ライオンズ(一八七九) 濠

位とし、これ等が集つて又一單位を作り、それが集つて更に大きい單位を作り、か
くて三十七萬五千人を最高組織とし、これを指導廳で統一してゐるのである。ヒッ
トラ・ユージェンとは、昭和十一年十二月に法律が發布されて組織されたものであ
るが、何もヒットラーを崇拜するとか、ヒットラーのために働くとかいふ意味のも
のではなく、新しい獨逸の次の時代を形づくるべき強力な國民を養成するために
組織されたものであつて、獨逸民族の青少年は全部これに参加し、學校教育と相俟
つて徹底的にナチス魂を植ゑつけ、心身を鍛練して將來の國民としての實力を涵
養するものである。毎水曜日にはハイム・アーベントと云つて親しみ深い會合を催
し、修養となるべき有益な事をし、その他天幕生活や國內旅行や農村派遣や運動會
等をする。運動會では個人競技よりも集團スポーツに重點をおき、グライダー、自
動車操縦などをして國防に資する等、組織後日なほ淺いが活潑な活動をしてゐる。

獨逸の經濟四ヶ年計畫

獨逸は歐洲大戰後、天文學的數字の賠償金をかけられ、その返済のために喘いで
ゐた。若しこれを正直に支拂つてゐたら、獨逸は今後何十年間血みどろに稼いでも
樂になるといふ日は來ない筈である。そこで政府は何回となくその減額を要求し、
何度となく破産状態に陥つてヒンデンブルグ將軍をして世界にSOSを發せしめた
のである。その結果、若干の減額は許され、支拂方法も緩和されたが、大體そんな
ものを一文たりとも支拂ふ必要はない、蹴飛ばしてしまへといふのがヒットラーの
主張で、昭和八年ヒットラーが政權を握るや、實質的に殆んどこれを蹴飛ばしてし
まつた。併しそれまで續いてゐた貧乏世帯のために失業者は國內に溢れ、産業もま
た甚だ振はなかつた。そこでヒットラーは政權を握るや直ちに經濟四ヶ年計畫を樹
て、失業者の救済と農業の保護に邁進の努力を集中した結果、昭和七年には六百五
十萬人と稱された失業者も百萬人以内に減り、道路の建設、土木、建築、軍需工業
等の長足の發展を見、一方農業に於ては農地世襲法を實施し、各種の農業團體を統
一して全國食糧團に改組し、農業統制を實施したので、農村も漸く希望の光を見

洲首相。

ラヴアル(一八八三) 佛蘭

西の政治家。元首相。

ラツセル(一八七二) 英國

の哲學者、文明批評家。

【リ】

リー(一八七五) 米國海

軍提督。

リース=ロス(一八八七)

英國の財政専門家。

李濟環(一八八六) 廣西省

廣西派廣東派の首領たり。

李守信(一八九二) 卓索圖

盟東土默特旗人。徳王の下

に内蒙自治運動を起し、支

那事變に際し察哈爾省獨立

宣言に參劃す。

李紹庚(一八九五) 奉天。

滿洲國交通部大臣。

李宗仁(一八九〇) 廣西省

桂林縣。廣西派の首領。

リツトル(一八八二) 英國

海軍中將、東洋艦隊司令長

官。

リットン卿(一八七六) 英

國貴族。所謂リットン報告

の起草者として知らる。

リツペントロツフ(一八九

三) 獨逸の政治家。外相。

リトヴィノフ(一八七六)

蘇聯外務人民委員。

るに至つた。これが第一次經濟四ヶ年計畫である。茲に於てヒットラーは昭和十二年更に第二次經濟四ヶ年計畫を樹て、先の事業に更に確實な成果をあげると共に歐洲大戰で舐めた苦惱を全く解消してしまはうといふ新獨逸の經濟建設に邁進した。即ち獨逸が戰敗の苦杯を舐めたのは食糧と石油が缺乏したからである。もう少し物資があつたなら最後の勝利の榮冠は必ず獨逸の上に輝いたらうとは誰しもの認めるところである。そこで全ての物資の自給自足を目ざして出發した。獨逸は元來比較的資源の乏しい國である。だから少いものは多産方法を、無いものは代用品をといふので、世界に誇る科學知識を總動員し、あらゆる難關を克服して絶對に自給自足の國たらしめようと張切つてゐる。昭和十三年九月は先づその第一年に當るが、僅か一ヶ年の間に穀類と馬鈴薯の自給方針を完成し、石炭の液化また百萬噸に達し、三ヶ年後にはほぼ自給自足し得る自信を得、獨逸工業の最大弱點たる鐵に對しても、レン式貧鐵處理法を案出して、今一步で目的を達し得るやうになり、國內皆無のゴム、樹脂類のブーナ式人造ゴムを發明して人工生産にも成功し、また資源のない鉛、

亜鉛、銅、錫、アルミ原料、ニッケル、マンガンの代用品製作に國民全體の智囊を總動員してゐる。ステープル・ファイバーの製造も盛んで、今日では織物原料を殆んど輸入しなくなり、人絹、人造ガラスも大いに造り、樹から砂糖をとることさへ研究してゐる。粘り強く、科學の發達した獨逸のことだから、必ずその目的を達するだらう。

ファシスト黨の歴史

ファシスト黨はイタリーの現首相ベニト・ムッソリーニが一九一九年三月に創立した政黨であつて、社會主義、民主主義、國際主義と對立し、イタリーの傳統を守る國粹主義を唱へ、政治的獨裁を標榜するものである。ムッソリーニは初めは組合主義を唱へて社會運動を試みてゐたが、世界大戰起るや一兵卒として從軍した。併し祖國が社會黨の非戰論によつて四離滅裂となつたのを嘆き、折柄熱血詩人ダヌンチオが國粹主義を唱へて社會黨に抗したのに刺戟され、銃を捨て、故國に歸り、日

梁鴻志(一八八二) 中華民
國維新政府行政院長。
劉峙(一八九一) 江西省
蔣介石直系の將領。
劉湘(一八八九) 四川省
邑大縣。四川省政府主席。
李烈鈞(一八八二) 江西省
武寧縣。國民黨の元老。
林森(一八六二) 福建省
閩侯縣。國民黨の元老。國
民政府主席。
リンドバーク(一九〇二)
米國飛行家。

【ル】

ルースヴェルト(一八八二)

米國大統領。

ルブラン(一八七一) 佛蘭
西大統領。

【レ】

レマルク(一八九八) 獨逸
の作家。「西部戦線異状な
し」によつて一躍有名とな
る。

【ロ】

ロイド・ジョージ(一八六
三) 英國の政治家。元首相
自由黨々首。
ロマン・ローラン(一八六
六) 佛蘭西の作家。「ジャ

刊新聞「イタリー國民」を創刊して激烈な國粹主義を唱導し、社會黨と猛烈な抗争を開始した。時恰も休戦となり、歸還した兵士達は社會黨に屬する勞働者達によつて、命を賭けた自分達の名譽さへ蹂躪されたのを怒り、悉くムツソリーニの麾下に參じ、社會黨の脱黨者、學生、知識階級等は續々これに集つた。そして一九一九年には遂にファシスト黨の創立大會を開いた。ファッシュとは「束」を意味する詞である。彼等は別に體系づけられた思想を持つてはゐらず「無思想の思想」を標榜したが、サンジカリズム的な思想を持ち、國粹主義を唱へ、古のローマ大帝國の再現を夢みるとはいへ、國家社會主義的色彩を示した。故に國民はファシストの論說に動かされながらも些か入黨を躊躇したが、ファシスト黨は社會黨との果敢な闘争を各地に展開し、實力を以て彼等を屈服し、一九二二年遂に内閣を組織するまでに至つた。その大命の下つた日ムツソリーニは黨の制服たる黒シャツを着け、黒シャツ黨員を率ゐてローマに進軍し、皇帝に謁して大命を拜した。ムツソリーニの得意や思ふべし。その後彼は幾多の難艱に會したが、力と斷とを以てこれを處理し、治政大いに

揚つたので、國民は漸くファシズムを理解し、これに入黨する者は日と共に激増し遂に今日の如くイタリーは朝野を擧げて黒一色に彩られるやうになつた。ムツソリーニは云ふ——社會は個人の爲に存するに非ず、個人こそ社會の爲に存すべきである。併し社會一般の最大の利益を收めるためには生産と分配は各個人の企業に一任するのを得策とする。而して社會問題は階級闘争の排除のみで終らず全階級を打つて一丸とした全體の公平なる利益と發展を期するにあるとし、大ローマ帝國建設の熱意に燃えるファシスト黨の獨裁を主張し、遂に今日の隆昌をかちえたのである。

伊太利のバリラ運動とは

伊太利にバリラ運動といふものが活潑に實施されてゐる。これは獨逸のヒットラー・ユーゲントと同様な青少年運動である。即ちファシスト精神による國家觀念、宗教觀念の養成と國民の體位向上とを目的とするもので、六歳以上十八歳までの青少年少女を年齢に従つて幾つかに分類してゐる。少年の方では、六歳から十四歳まで

ン・クリストフ」の作者として知らる。
呂榮雲(一八九〇)撫順縣。滿洲國産業部大臣。
ロツクフェラー(一九三九)米國資本家。世界第一の富豪にして石油王たり。

日本の人口

帝國總人口

(昭和十年國勢調査)

帝 國	九七、六九七、五五五
内 地	六九、二五四、一四八
朝鮮	三、八九九、〇三八
臺灣	五、二二三、四三六

を牝狼組、バリラ少年團、バリラ銃隊の三つに分け、十五歳から十八歳までを前衛銃隊、前衛機銃隊の二つに分けてゐる。少女も名こそ違へば同様に分けてある。彼等は學校以外の指導者の指導を受けて心身の向上と訓練をし、毎年十月三十日に催されるファシスト黨ローマ進軍記念日には首相ムツソリニの前で盛大なリットリオ賞牌競技會を開き、又國庫の補助を得て國內の名所舊蹟を見學旅行し、バリラ俱樂部を設けて一定期間内キャンプ生活をしたり、夜學校や圖書館、博物館等で勉強したり、更にバリラ團自身の持つ職業研究所や實業研究所に入つて職業教育を施される。彼等は折襟の黒シヤツに短いズボンをはき、灰綠色の靴下、白の肩飾といふスマートな制服をつけ、颯爽と歩く。その數四百萬人、彼等は年齢を越えるとならばファシスト青年團に入り、非常に嚴格な訓練を経た上でファシスト黨豫備軍に編入される。彼等少年はこれを最高の名譽としてゐる。一體バリラとは殉國の一少年の名である。彼は百九十年前、ゼノアがオーストリア軍に攻撃された時、身を犠牲にしてゼノアを救つた。ファシスト少年少女は彼等の先輩バリラの名譽を記念するた

樺 太 三三一、九四三

關東州及滿鐵附屬地 一、六六六、七三六

南洋委任統治區域 一〇三、五七七

これ等兩地域の人口を全版圖の人口に加ふる時は九千九百四十五萬六千八百十八人となる。

内地本籍人口

(各年末現在)

昭和元年	六三、〇六九、四八六
同二年	六四、〇〇一、〇六一
同三年	六四、九八六、〇七六
同四年	六五、八八七、七三九
同五年	六六、八八八、五二二
同六年	六七、八三三、九〇一

め、この運動に彼の名を冠したのである。

ソ聯の肅清工作

ソ聯は共産黨書記長スターリンの獨裁化にある。従つてスターリンの政策や意志に反く者は全て存在を許されない。スターリンは革命前からの共産黨員ではあつた。けれども革命當時には餘り重要な位置にゐなかつたが、その後漸次擡頭し、革命の父レーニンの死後は共産黨の實權を握つてしまつた。その時先づ槍玉にあげたのは革命の元勳でレーニンと並び稱されたトロツキーである。續いてトロツキー派の者を反革命主義者だと云つて片端から捕縛した。實際はトロツキー派こそ急進的な革命主義者であるが、漸進主義のスターリンの意に反く者は、その主義の如何に拘らず十把一トからげに反革命分子とされた。昭和二年ジノヴィエフ、カーメネフ等の大先輩を失脚せしめたのもこれである。續いて昭和五年には右派の領袖リュコフや有名な評論家ブハリン等の先輩をも失脚せしめ、昭和九年にはこれらの者がスター

同	七年	六、九三三、三三三
同	八年	六、九四一、三三七
同	九年	七〇、八四三、〇〇三
同	十年	七二、九六八、四一六
同	十一年	七三、九三四、六五〇
推計人口	昭和十二年	七二、二五二、八〇〇
全國		二五、一〇九、四〇〇
市部		四六、一四三、四〇〇
郡部		三、一七四、八〇〇
北海道		一、〇〇三、四〇〇
青森		一、〇七五、四〇〇
岩手		一、二七三、一〇〇
宮城		一、〇五八、六〇〇
秋田		一、三三二、一〇〇
山形		一、六二二、一〇〇
福島		

リンの暗殺を企てたとの理由で悉く死刑或は長期の懲役に處した。續いてソコリニコフ、ラデツク、ピヤタコフ等のスターリン暗殺並行本部事件といふものがあり、前同様の過酷な處刑をしたが、これ等の陰謀が果して事實あつたかどうかは甚だ疑はしいとさへ云はれてゐる。これらは悉くゲ・ペ・ウの長官ヤゴータの手で處理されたが、次いでそのヤゴータ自身まで銃殺されるといふ大事件が持上り、昭和十二年には國防次官トハチエフスキー元帥を始め大將級の武官八人が銃殺され、中には噂を聞いて自殺した大將もあつた。次に殘忍飽くなきスターリンの眼は外交官にまで及び、我國とも馴染深いカラハン、ユレーネフ等まで檢舉され、カラハン外八名は銃殺され、外務人民委員長リトヴィノフの身邊さへ危いと云はれ、最近では極東軍の總帥だつたブリユツヘル元帥も本國に召還されたまゝ杏として行衛が判らず、赤軍建設の親ウオロシロフ元帥の身邊も危いとの噂が立てられてゐる。かくて此處數年間に三百萬人の共產黨員の二割は處刑せられ、革命當時に活躍した人物は悉く一掃せられ、猶毎年一萬人以上の人間が反革命の名の下に處斷されつゝあ

茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀

一、五七四、七〇〇
一、二二七、二〇〇
一、二六五、九〇〇
一、五五七、八〇〇
一、五七六、一〇〇
六、七六九、八〇〇
一、九三二、七〇〇
二、〇二一、八〇〇
八〇七、二〇〇
七七三、二〇〇
六五八、五〇〇
六五三、三〇〇
一、七二二、七〇〇
一、二四五、五〇〇
一、九九九、〇〇〇
一、九八五、五〇〇
一、二八一、七〇〇
七一九、七〇〇

るといふ。これに對しソ聯當局は、黨員及び官僚の宿弊を打破し、官吏の無責任や怠慢を糾弾し、異端者を一掃して國內を結束せしめるために止むを得ぬ犠牲であると説明する。或はさうであらう。併しそれにしてはその處斷が餘りに過酷にすぎると思へる點、及びソ聯の裁判が甚だ信用のおけぬものである點等に鑑み、何處となく公明を缺く所が多い。スターリンの魔手を逃れて外國に走つた者の言は必ずしも全幅的に信ずるわけに行かぬが、かゝる過酷な肅清工作は決してスターリン及びソ聯の信用を國際的に増すものではなく、或は國內的にも根強い反感を抱かせせぬか、スターリン政權斷末魔の惡あがきではないかと疑懼せしめるものである。

ゲ・ペ・ウとは何か

ゲ・ペ・ウとはソヴェート聯邦の國家政治保安部の略稱であつて、日本でいへば警察の高等係と憲兵とを一緒にしたものに生殺與奪の權力をも與へたやうな秘密警察である。一九一七年十一月レーニンがボルシエビキ革命を起した時チエカ(全

京大兵奈和鳥島岡廣山徳香愛高福佐長熊
 都阪庫良山取根島山口島川媛岡賀崎本

一、七六四、八〇〇
 四、六二二、二〇〇
 三、〇三六、五〇〇
 六三〇、六〇〇
 八七八、〇〇〇
 四九一、〇〇〇
 七五〇、三〇〇
 一、三五三、九〇〇
 一、八五一、八五〇
 一、二二三、四〇〇
 七三三、八〇〇
 七五五、二〇〇
 一、一七四、四〇〇
 七二三、七〇〇
 二、八五〇、九〇〇
 六八三、九〇〇
 一、三三三、三〇〇
 一、四〇〇、八〇〇

國非常委員會の略稱)を組織して反革命分子を大弾壓した。チエカは反對派を捕へてロクに調べもせず忽ち死刑、流刑、投獄等に斷罪し、法律的には無罪の者でも個人的にチエカに睨まれれば一瞬にして行衛不明になり、國民の恐怖と怨嗟の的となつた。そこで政府は此の悪名を緩和するためにゲ・ベ・ウと看板を塗りかへたが、内容は少しも變る事なく、反ソ、反共產主義、反革命の分子を取締つてゐるが、その實一切の反スターリン分子を取締るのであつて、スターリンの信任厚きエジヨフを長官とし、最近の恐怖政治に殘忍な毒手を振つてゐることは衆知の通りである。然も彼には五萬の專屬軍隊が配屬し、百二十萬の共產黨員は全てこれゲ・ベ・ウの無任所探偵であり、相變らず恐怖の的となつてゐる。

赤軍の三等大將とは何の位の階級か

ソ聯の赤軍政治部三等大將リュシコフがソ滿國境を越えて脱走して來た。一體赤軍政治部三等大將とはどんな階級かといふと、赤軍と普通に呼ばれるものの中には、

大宮大東東
 分崎京阪京
 鹿兒島
 沖繩

市の推計人口

(昭和十二年)

(單位千人)

九四九、九〇〇
 八五一、〇〇〇
 一、六〇五、九〇〇
 五九八、七〇〇
 六、三三六、七
 三、二二三、〇
 一、一八六、九
 一、一三二、九
 九六四、〇
 七五九、〇
 三三六、六
 三〇八、二
 二四八、四
 三三九、六

普通の陸・海・空軍と、政治部と、内務人民委員部隊との三つがある。普通の軍隊は戦闘を事とする普通の兵隊であり、内務人民委員部隊は所謂ゲ・ベ・ウ部隊で、各軍隊の中に分駐してをり、兵隊にして我が憲兵隊を兼ねたやうな、内外に眼を光らせてゐる怖い部隊である。政治部といふのは、兵隊に政治教育を施すもので、主として將校達ばかりである。普通の軍隊には、中尉から初まつて大將まで、そしてその大將が一等二等三等と三階級あり、政治部も同様であるが、下は大尉までである。従つて階級としては普通の軍隊同様、師團長の上に位する司令官級であるが、軍略・戦術等は餘り知らず、専ら政治方面の研究と指導を行つてゐる。

ソ聯の第三次五ヶ年計畫

ソ聯では昭和三年に第一次五ヶ年計畫を樹て、續いて昭和八年に第二次五ヶ年計畫を樹てたが、昭和十二年を以てこれが完了したので、昭和十三年には第三次の五ヶ年計畫を樹て、その資金として五十億ルーブルの國債を發行するとか、したとか

仙長函静札横熊金佐鹿和川岡濱小堺下豊
臺崎館岡幌賀本澤保島山崎山松樽關橋

三三九・四
二四・六
二二・七
二二・六
二〇五・九
二〇三・八
一九八・三
一九〇・〇
一九〇・〇
一八八・一
一八七・八
一八六・四
一七三・四
一五八・三
一五七・二
一五〇・〇
一四九・七
一四一・六

傳へられてゐる。一體ソ聯は帝政時代から革命の當初にかけて農産物及び工業原料の供給國であつて、國內工業は實に貧弱なものであつた。併し國土は廣く、資源に恵まれ、何一つとしてないものはなく、然も豊富だから、これを活用して工業國たらしめようとしたのは至極當然のことである。「追ひつき、そして追ひ越せ」これが第一次五ヶ年計畫以來のモットーである。即ち先進の諸外國に追ひつき、そして追ひ越すべく、尨大な計畫を樹て、獨裁國特有の無理を押し切つて目的に邁進した。第一次計畫の目標は重工業の確立と富農の收奪であり、第二次計畫の目標は輕工業の躍進と農業の集團化であつた。これ等は農業に於ては所期の成績を擧げ得なかつたが、重工業の方面では大體成功した模様で、工業の躍進の目覺ましきは驚嘆すべきである。これは勿論國防と切離して考へられぬものであり、重工業の發達は直ちに國防の強化を物語つてゐる。かくして今日ではソ聯は一切外國の御厄介にならぬ獨立した工業國となり、歐洲の先進諸國を追ひ越して米國に肉迫して居り、第三次計畫によつて米國をも追越せと絶叫してゐる。誠に恐るべきものである。併し以上はソ聯

尼小新岐門徳布大甲姫高青西福久旭桐富
崎倉湯阜司島施田府路知森宮井米川生山

一四〇・二
三三九・二
三三九・一
三三三・四
三二七・二
二二六・〇
二〇九・六
一〇八・二
一〇五・四
一〇五・一
九八・一
九七・三
九七・二
九五・六
九三・六
九三・三
九二・四

政府の發表した統計による所であつて、事實が果してこゝまで行つてゐるかどうか甚だ疑はしい。といふのは、ソ聯政府の言動は徹頭徹尾宣傳と煽動であつて科學的な正確さを缺き、民間や他國人の自由な研究を許さない關係上、嘘ではないまでも、隠された反面を知ることが出来ない。例へば以上のやうな躍進と努力にも拘らず國內の物資缺乏は甚しく、殊に食料品に於て酷い。農業方面では概して五ヶ年計畫も所期の成績をあげてはゐないが、それにしても餘り酷どすぎる。そこでソ聯政府もこの點を緩和し、國民の生活を安定せしめるべく、第二次、殊に第三次に於て、消費方面の生産工業の發達に努力するやうであるが、何にしても酷い。然も質が非常に悪い。質の點に於ては全工業にも云へる事で、數量は成る程統計通りに出來たかも知れぬが、質が悪くは何にもならない。政府はこゝに氣づき、第三次計畫では特に質的向上を圖る模様である。猶一つ、峻極まる官吏の肅清工作は、反革命とか反スターリンとかいふ政治的意味の聲も多いが、職務怠慢でクビになつた者も非常に多かつた。この事は、それ自身計畫通りの成績を擧げ得なかつたことを

高唐枋敦酒福萩新石上川山徳彦三岡倉松
 田津木賀田山 宮卷田越口山根條谷敷阪

三六・七
 三六・六
 三六・一
 三六・一
 三六・〇
 三五・九
 三五・八
 三五・六
 三五・五
 三四・七
 三四・四
 三四・八
 三三・六
 三三・五
 三三・三
 三三・〇
 三二・八
 三二・四

既得權を擁護するため、強硬に交渉した結果、昭和十四年四月二日再び暫定協定をし、三百六十漁區を得、うち二百六十四區の五ヶ年安定を見た。

安定漁區とは何か

安定漁區とは、日ソ漁業條約上、北洋漁業の漁場中、我が國民の漁場として權利の安定してゐるものである。昭和七年當時には我が現有漁區は三百九十二。その中特別契約漁區四十四、五ヶ年期限借受漁區八、合計五十二は、邦人經營の罐詰工場等と併せて安定してゐたが、その他の三百四十漁區につき、廣田カラハン協定により二百八十漁區を長期借受契約し、前と合せて三百三十二漁區は全く我が權限下に安定してゐるものである。その他の漁區に就ては、ソ聯に於て毎年十二月に入札漁區を發表し、二月下旬浦鹽で競賣に附し、五月から出漁し、九月一杯に漁獲するのである。今北洋漁場の日ソ勢力の消長を見ると、漁區に於て次のやうな數字を示してゐる。

八幡濱 中山津 高龜山 丸龜山 平海 熱里 首里

人口の密度

(昭和十年國勢調査)

(一方料ニ付)

全 國 一八二 北海道 三五
 青 森 一〇〇 岩手 六九
 宮 城 一七〇 秋田 八九
 山 形 一三〇 福島 一五
 茨 城 一五〇 枋木 一八六
 茨 城 一五〇 枋木 一八六
 群 馬 一六六 埼玉 四〇二

昭和元年	昭和二年	昭和三年	昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年
日本側 二六八	日本側 二五五	日本側 二五五	日本側 三〇三	日本側 三二八	日本側 三〇九	日本側 三九二
ソ聯側 四七	ソ聯側 四一	ソ聯側 四二	ソ聯側 一六二	ソ聯側 二七二	ソ聯側 三〇一	ソ聯側 三〇一
昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	
日本側 三五七	日本側 三六六	日本側 三九五	日本側 三九九	日本側 三九一	日本側 三六六	
ソ聯側 三三三	ソ聯側 三六五	ソ聯側 四一四	ソ聯側 四一九	ソ聯側 四二四	ソ聯側 四〇九	

ルーブルの換算率は幾らか

ソ聯の貨幣ルーブルは、我が國に換算したら幾らになるか？これは毎年北洋漁業問題で我が漁業家及び政府を悩ましてゐる所である。他の國の貨幣であれば、法定平價が確立してをり、その上爲替取引があるので相場が判つてゐる。所がルー

千葉	三〇五	東京	二、九七〇
神奈川	七二二	新潟	一、五九〇
富山	一八八	石川	一、八三三
福井	一三三	山梨	一、四四五
長野	一三六	岐阜	一、二七〇
静岡	二五〇	愛知	一、五六三
三重	二〇四	滋賀	一、七六六
京都	三六八	大阪	一、三六九
兵庫	三五一	奈良	一、六八八
和歌山	一八三	鳥取	一、四二二
島根	二二三	岡山	一、八九九
広島	二四四	山口	一、九六六
徳島	一七六	香川	四〇三
愛媛	三〇六	高知	一、〇二二
福岡	五五八	佐賀	二、八〇〇
長崎	三二八	熊本	一、八六六
大分	一五五	宮崎	一、〇七〇
鹿児島	一七五	沖縄	二、四八八

ブルに限り爲替相場も法定平價もないのだから甚だ困る。革命前(一九一七年前)は一圓三錢二厘三毛餘であつたから、今もその割合で行かうとソ聯はいふ。けれど一ループルは滿洲國境では二錢乃至十錢の値打にしか通用してゐず、歐洲でも四五錢の値しかない。旅行者が萬一ソ聯へ行かうと思つたら佛蘭西の貨幣(フラン)を持つて行かなくては通用せず、汽車賃でも物の値段でもフランで幾らと定めてある。これもソ聯だけの一方的な取決めだから、それによつて相場を立てることは出来ない。そこで昭和六年に暫定的に定められた三十二錢五厘が今日もなほ漁區借區料だけには通用してゐる。

北樺太の權益問題

北樺太はソ聯の領土であるが、大正九年に惨虐な尼港事件があつたため、我軍はこれを保障占領し、大正十四年までその状態に置かれたが、その年の五月十五日、兩國協商により保障占領を解き、尼港事件の代償として「鑛山、森林」その他ノ天

全 國	出生	死亡
北海道	三〇・六一	一六・九五
青森縣	三三・八九	一六・三三
岩手縣	四二・七六	一九・〇三
宮城縣	三八・〇〇	二〇・一〇
秋田縣	三六・一九	一六・四三
山形縣	三七・四七	一八・七七
福島縣	三五・七一	一八・二七
茨城縣	三五・一一	一七・〇三
栃木縣	三五・九一	一七・三六
群馬縣	三五・七九	一六・六七
埼玉縣	三五・一八	一七・四二
千葉縣	三五・一八	一八・七〇

出生率死亡率 (昭和十二年) (人口千ニ付)

然資源ノ開發ニ關スル利權ヲ日本國ノ臣民、會社及組合ニ許與スル事となつた。そこで我國は北樺太石油及び北樺太鑛業の二會社を設立した。北樺太石油會社は資本金二千萬圓で、北樺太の東海岸オハ、カタングリ等の地方に油田を持ち、年額約二十萬圓の石油を採り、これを大部分我が海軍に供給することとした。又、北樺太鑛業會社は資本金一千萬圓で、西海岸のドウイエ、アグネオ等に炭田を持ち、年額約十八萬圓の石炭を採掘した。これは、なほこの他の天然資源開發と共に我國の持つ嚴たる權益であるが、ソ聯は一流の詭辯を弄したり不誠意な態度に出て只管我を壓迫しようとしてゐる。即ち條約上では、これ等の利權鑛區に一定の面積が與へられてゐるが、それに對し我國では幾つかの鑛區を合せての面積であると解してゐるのに對し、彼は一ヶ所にまとめた面積であると主張する。若し彼の主張に従へば鑛山でない土地を大半持たされる事になり、殊更條約文を曲解したものであることは明瞭である。又、これ等の開發事業に従事する労働者は、日本對ソ聯の割合が上級労働者に於て一對一、下級労働者に於て一對三と規定せられ、我方ではこれを各

東京府	二五・四三	一・二・九一
神奈川縣	二八・五三	一四・七四
新潟縣	三四・六九	一八・七三
富山縣	三三・三三	三三・九三
石川縣	二九・五七	三三・七〇
福井縣	三〇・九八	三三・六二
山梨縣	三三・四三	一五・九五
長野縣	三〇・七三	一六・一九
岐阜縣	三三・九四	一九・〇一
靜岡縣	三一・八八	一五・九二
愛知縣	三〇・四五	一六・四六
三重縣	三一・六三	一八・八九
滋賀縣	二九・四五	一八・六五
京都府	三四・七三	一五・二六
大阪府	二二・〇六	一四・二七
兵庫縣	二六・七一	一六・二八
奈良縣	二八・〇四	一七・九八
和歌山縣	二七・四九	一五・九一

地各事業の全體を通じての割合と解するのに對し、彼は一ヶ所づゝの割合であると主張し、カタングリ油田の我が労働者が多いと云つて追出した。然も彼は自分の主張を通して條約文通りに實行するかと云へば更に實行もせず、北樺太石油會社が、昭和十三年の夏にソ聯労働者を三千八百八十人要求したのに對し僅か九百五名しか引渡さず、それも七月早々に引渡すべきものを解雇期に近い九月中旬になつて漸く引渡したなどは故意に事業能力を低下せしめるものであり、その以前には石油の邦人労働者千八百名、口人二千二百名、石炭は邦人六百名、口人九百名であつたものを、彼が故意に人員を減ずるために我方も少くせざるを得なくなり、ために石油に於て、邦人は六百六十名、口人千五百名に減少し、ために採油額も二十萬噸から十四萬噸に減つてしまつた。然もソ聯はこれだけであきたらず、邦人がソ聯の事情に通じないのを利用し、些細なことにまで難癖をつけて邦人を捕縛したり追放したり入國査證を興へなかつたり、甚だしきに至つては食糧攻めの卑劣行爲すら敢てする。例へば邦人の食糧及び生活必需品は最小限度二百六十萬圓までは無關

鳥取縣	二九・九四	一八・二一
島根縣	三一・五八	一九・八九
岡山縣	二八・七七	一七・七六
廣島縣	二八・〇五	一六・五七
山口縣	二八・二一	一八・五四
徳島縣	三三・九九	一九・九一
香川縣	三三・〇〇	一七・四七
愛媛縣	三三・二一	一七・五五
高知縣	二七・八八	一八・〇八
福岡縣	三〇・〇七	一八・二一
佐賀縣	三四・〇一	一九・七七
長崎縣	三一・六五	一八・二七
熊本縣	三一・五一	一七・七九
大分縣	三三・四四	二〇・五五
宮崎縣	三四・二一	一六・三四
鹿兒島縣	三三・四一	一六・九八
沖繩縣	二六・三七	一五・八七

税で輸入配給出来る契約があるにも拘らず、ソ聯は百七十四萬圓しか許可せず、爲に一時配給不足を來たし、邦人の生活を脅かす大問題を惹起した事すらある、これ等は、北樺太に於ける我が會社の事業を不振ならしめて權益を放棄させようとすると共に邦人個々をして、斯る壓迫を受けるのは日本政府が日獨伊防共協定を結んだからであるとの觀念を起さしめ、以て反政府熱を昂めようといふ考へからで、北洋漁業の壓迫と軌を一にするものである。

ソ聯はどんな不法壓迫をしたか

ソ聯が我が國に對して加へた不法な壓迫は數限りなく、その重大なものは北洋漁業、北樺太石油等であるが、なほソ聯領内にある我が國民に對して、人道に許すべからざる非道の壓迫を加へてゐる。例へば在モスクワの我が大使館前にはゲ・ペ・ウの屯所を設けてゐる。この屯所は卑怯にも表面は商店のやうな看板を掲げてゐるが、中には、多くの私服を配置して出入者を嚴重監視し、我が大使館員が外出す

昭和三年	四・三八	一九・九一
同四年	三・〇〇	二〇・〇四
同五年	三・三五	一八・一七
同六年	三・一七	一八・九八
同七年	三・九二	一七・七三
同八年	三・五五	一七・七六
同九年	二・九七	一八・一一
同十年	三・六三	一六・七八
同十一年	二・九三	一七・五一
同十二年	三・六一	一六・九五

日本の土地

帝國の面積(方料)

總數	六七五、三六五・五八
内地	三八二、五五五・四二
本州	二二〇、五三三・三二

ると必ず尾行する。そして思ふやうに行動を妨げるばかりか、誰かと話でもすれば、その相手は必ず調べられる。従つてソ聯人は日本人に話しかけられる事を迷惑に思つて近寄らず、甚しきはホテルの給仕さへ寄りつかない。昭和十三年一月我が大使館の某官補は南露へ旅行したが、官憲の妨害で旅館を得ることも出来ず、甚しく健康を害して歸つて来た。十二年に中央亞細亞へ旅行した一書記生も同様の目に遭つた。なほ大使館使用の露人は或は拘禁され、或は行衛不明となり、或は連行されるので、他の者も氣味悪るが、つて暇をくれと申し出た。こんな有様だから、館員が病氣になつても来てくれる醫者がなかつた。同様な事が各地にある我が領事館に對しても行はれた。浦鹽では醫者が「後で調べられるのがイヤだから診察出来ない」と云つたので、ソ聯政府の外交代表に交渉して醫者を差向けて貰つた。常にこんな状態なので往々間に合はず、病勢を悪化せしめた。病氣で歸國しようとしたが、どうしても旅行券を與へなかつた。十二年十一月には、飲料水配給の支那人は壓迫に堪へかねて配給を拒絶したので、館員は飲料水に困つた。ハバロフスクの外交代表は半

四州國	一八、七七二・八三
九州	四二、〇七八・九九
北海道	八八、七七五・〇四
北支	二、三八六・二四
琉球	八五七・二四
佐渡	五九二・九三
淡路	三四八・〇三
隱岐	一〇三・九四
小笠	一三八・五五
壹岐	一〇三・九四
對馬	一〇三・九四
千島	一〇、二三・七七
朝鮮	二二〇、七六八・六五
臺灣	三五、八三四・三五
澎湖	一六・八六
樺太	三六、九〇・三〇
關東	三、四六二・四五
南洋	二、一四八・八〇
滿鐵附屬地	二九七・九二

年以上も病氣と稱して一切の交渉に應じなかつた。ブラゴエスチエンスクの官憲は我が領事館が日常の食料品を買出しに行くと、商店に先廻りして販賣を拒絶させた。牛乳配達人も配達を拒み、大工も旅舎の修理を拒はつた。ノヴォシビルスク及びオデッサの我が領事館に對し、ソ聯政府は、昭和十二年九月十五日以降職務執行を認めずと高飛車に通知し來り、同時に我が暗號電報の取扱ひを拒絶し、ガス・水道・電氣の供給すら遮断し、郵便物の配達を停止し、使用人を逮捕し、外國人の從者にハ出國査證さへ與へないといふ言語道斷な處置に出た。我が北洋漁業家がソ聯へ支拂はされる罰金は年々増加しつゝあるが、中には一言の叱責にさへ價せぬほどのこととにさへ一々莫大な罰金を課する。例へば赤インキで書くべき字を黒で書いたとか、風向が北北西であつたのを北西としか書いてないとか、風速、風向、氣壓等の書く順序が違つてゐたとか、字が不明瞭であるとか、罐が一つ道端に轉がつてゐたとかいふ事にさへ一々數百ルーブルの罰金を取るといふ有様で、これでも大使を交換し合つてゐる文明國かと疑はずにはゐられないほどである。

道府縣別面積 (方料)

總數	三八二、五四五・四三
北海道	八八、七七五・〇四
青森	一五、二三三・三一
岩手	一三、七八一・六一
福島	一三、六六六・一三
長野	一三、五七〇・〇五
新潟	二、六六三・八六
秋田	一〇、四九四・七〇
山形	九、六二〇・九二
鹿島	九、三三五・七六
廣島	九、一〇三・八一
兵衛	八、四三六・五三
靜岡	八、三三三・八五
宮崎	七、七六九・九一
鹿兒	七、三三八・八五

乾岔子島はソ満國境を流れる黒龍江中に浮かぶ小さな島で、黒河省の黒河及び環珽の東南方にある。附近は河幅が不規則な形をなし、ソ聯側の河岸は大體滑らかな線をなしてゐるが、滿洲國側には島多く、凹凸が甚しい。附近には名もない多くの三角洲があるが、西方には金阿穆河島がある。ソ満の國境線は、此の二大島を結ぶ線とソ聯側の岸とによつて大體平行した河幅を作る本流の中央にあるものとされて居り、従つて此の二つの島及び附近の小島はみな滿洲領であり、乾岔子島には航路標識のための點火塔があり、點火夫宿舎が島の北岸に建てられ、滿洲國から點火夫が派遣されてゐた。所が昭和十二年六月十九日、ソ聯の兵士は突如乾岔子島及び金阿穆河島に侵入し、滿洲國の職員たる點火夫を追つて宿舎に侵入し、同島にゐた滿洲國人の探金夫等をも追拂つてこれを占據し、黒龍江の本流を通航する滿洲國艦船の航行を阻止した。そこで我が重光大使は早速ソ聯側に嚴重抗議を申込んだ所、

乾岔子島事件とは何か

熊宮高岡島根木馬分城口重媛知葉岡山知城本
 歌
 梨都山岡葉知媛重口城分馬木根山知城本

七、四三七・七五
七、二七三・七五
七、一〇三・六二
七、〇四六・四八
六、六三四・六〇
六、四三六・五九
六、三三五・八七
六、三三三・八七
六、〇九〇・九九
六、〇八二・一一
五、七六五・二八
五、六六七・六
五、〇八一・一四
五、〇六二・〇九
四、九三九・七〇
四、七三三・四八
四、六二一・三〇
四、四六五・八七

彼は乾岔子島はソ聯領だと抗辯した。即ち黒龍江で境する國境線は、大體河の中央を境界とすることになつてゐるから、乾岔子島附近の河の中央を測定すれば乾岔子島の大半はソ聯領に屬すると云ふのである。併し元來河の中央といふのは、本流の中央であるべきものであり、乾岔子島附近のやうに三角洲が多く、支流が縦横に流れ、時には逆流してをり、河岸の不確實な所を測定の基點とすべきでなく、本流たる乾岔子及び金阿穆河島の北岸を基點とすべきである。故にこそ多くの艦船は常にその本流を航行し、航路標識もまた兩島の北岸に立ち並んでゐるのである。この事を説明して抗議をしたので、ソ聯外務人民委員リトヴィノフはこれを諒として、派遣軍を撤退して原狀に復する旨を承諾した。にも拘らず現地に於ては何等撤收の色なく、却つて兵力を集中して日滿側を威嚇する態度に出で、六月三十日には砲艦三隻を向けて乾岔子水道の南側に侵入し、突如日滿兵に發砲した。茲に於て日滿軍も止むなく應戦し、遂に砲艦一隻(二十四・五噸)を撃沈し、一隻に大損害を與へた。一方重光大使は違約を責めて嚴重抗議したので、ソ聯も遂に折れ、七月二日を以て

福井	四、二六四・四八
富山	四、二五七・四二
石川	四、一九二・四三
徳島	四、一四三・三三
長崎	四、〇七五・九八
滋賀	四、〇五〇・九三
埼玉	三、八〇二・六八
奈良	三、六八八・六〇
鳥取	三、四八九・四八
佐賀	二、四四九・〇三
沖繩	二、三六六・二四
神奈川	一、三五三・八一
東京	二、一四四・八〇
香川	一、八五八・七三
大阪	一、八三三・六三

島の面積

兩島から兵を撤退し、附近に集結中の軍用艦船を撤収せしめ、漸く落着した。

張鼓峰事件はどう解決したか

張鼓峰は豆満江の下流にある満洲國領の一丘陵であるが、昭和十三年七月十二日突然ソ聯兵が越境して山頂を占領し、陣地を構築した。故に我軍は直ちにこれを驅逐したが、間もなくソ聯軍は戦車數臺を伴ひ、砲兵の掩護射撃下に攻撃し來り、國境線から五百米も侵入して來た。故に我軍も兵力を増して對峙した。茲に於て我が政府はソ聯政府に至急撤兵を要求し、滿洲國も亦抗議したが、ソ聯は張鼓峰を飽くまでソ聯領だと主張し、却つて我に逆ねちを喰はせて來た。一方現地の我軍は、十八日軍使を以て撤兵を要求したが、軍使は容易に歸らず、二十六日漸く歸還したが何等の回答も持つて來なかつた。然も廿九日再び張鼓峰及び沙草峰に陣地を構築し初めたので、我軍は直ちに撃退した所、三十日夜半から彼は多くの戦車を加へて大舉來襲した。我軍は寡兵を以て大いに奮戦よくこれを撃退した。その時の敵の遺

名稱	所在地	面積(方籽)
本州	北海道	三三八、〇〇〇
九州	九州	七七、九〇〇
四國	四國	三五、六六〇
臺灣	臺灣	三五、五七〇
臺南	臺南	一七、七六
湄州	湄州	三、三三〇
濟州	濟州	二、〇四〇
國朝	國朝	一、八四〇
得撫	得撫	一、五二〇
沖繩	沖繩	一、四二〇
佐渡	佐渡	一、三二〇
奄美	奄美	八五七
淡路	淡路	七二八
天草	天草	五九〇
屋久	屋久	五七〇
種子	種子	五〇〇
種子	種子	四四七

棄死體七十、損傷約二百、戦車十一、山砲二、速射砲二を鹵獲し、我が方の損害また戦死者三十、負傷者六十七を出した。併しソ聯は性懲りもなく連日攻撃して來た。八月一日には八・九機編隊の飛行機を以て朝鮮に進入、鐵道爆撃をしたが、我が地上部隊のために五機撃墜され、戦車また二臺破壊された。その後飛行機を以て來襲すること連日に亘り、朝鮮の古城、甑山、慶興、洪儀等は頗々と爆撃された。併し我が軍は隠忍自重、専ら國境線を確保した。かくて停戦協定の出來た八月十日までの敵の死傷は千五百に達し、戦車破壊百、爆撃機戰鬥機の撃墜六を數へ、我軍の死傷また四百五十に達した。

抑もソ聯兵の越境は毎度のことであり、既に昭和十三年上半期だけでも四十五回に達したが、張鼓峰の場合に限り、ソ聯が斯くも積極的に出た理由は、その少し前に、極東軍のリュシコフ大將が此の附近を脱走して來たので、それへの吐いせと、大將脱走による内部の動搖を内外に對して胡魔化すためと、極東赤軍の威力を誇示するためであつた。而して張鼓峰を選んだのは、こゝが軍事的に有利な地だからで

下島(對馬)	四三五
溫爾古丹(千島)	四三三
巨濟島(朝鮮)	三八九
占守(千島)	三八九
ポナペ(南洋)	三七五
パラオ(同)	三七〇
新知(千島)	三七七
珍島(朝鮮)	三三四
福江(肥前)	三三六
南海島(朝鮮)	三〇〇
江華島(同)	二九一
西表(琉球)	二八七
色丹(千島)	二四九
德之島(大隅)	二四七
上島(對馬)	二四七
島後(隱岐)	二四六
天草上島(肥後)	二二二
石垣(琉球)	二二六

ある。即ち張鼓峰は標高僅か百四十九米の丘陵であるが、附近一帯が小松や灌木を持つだけの低地であり、所々に赤禿の丘陵はあるが皆數十米にすぎず、張鼓峰は群峰中の優であつて、頂上に立てば朝鮮・新京を結ぶ鐵道を六キロの近距離に見る事が出来、附近特長の濃霧さへ晴れば、十八軒を距つ羅津港までも一望の中に收める事が出来る。従つて彼此共に軍事上重要な地點であるが、我が軍も滿洲國も、昔から明確に自領であるので安心し切つてゐた所、ソ聯は自領だと強辯するのである。所が誠に皮肉な事には、ソ聯自ら作製する所の參謀本部地圖によれば、張鼓峰どころか、その東麓に横はる長池(ハーサン湖)の東方をすら尙遠く離れて國境線が描かれてゐる。又、琿春界約は明治十九年に露清間に結ばれた條約でありソ聯側にはその文獻無しといふが、支那側に残る文獻によれば、國境線は長池の西岸を通つて北上してをり、張鼓峰は明らかに支那領となつてゐる。なほ、この附近の住民の話によつても、曾てソ聯領だとの主張を聞いたことは一度もなく、厚顔のソ聯兵すら、それまで一度も張鼓峰に近づくのを見たこともない。にも拘らず今回

平戸(肥前)	一七二
小豆(讃岐)	一七〇
古(琉球)	一六四
大宮島(周防)	一五六
名稱所在地面積(方料)	
琵琶湖(滋賀)	六七四・八〇
八郎潟(秋田)	三三三・二九
霞ヶ浦(茨城)	一八九・二七
猿湖(北海道)	一五〇・五三
猪苗代湖(福島)	一〇四・八三
中海(鳥取、島根)	一〇二・六〇
宍道湖(島根)	八三・三三
屈斜路湖(北海道)	七九・八九
支笏湖(同)	七六・八

主なる湖沼

(▲印鹹湖)

突如としてこれを主張したのは、前述の理由に加ふるに、我軍が支那事變のために勢力を消耗してゐるので、機乗ずべしと考へたものであらう。所が我軍の痛い反撃を受け、野望は挫折したのである。八月十日重光大使とリトヴィノフ外務人民委員との間に取交はした停戦協定は、國境線確定の問題は後日に残しおき、八月十一日正午を以て一切の戦闘行為を停止し、十一日午前零時現在の兩軍の線を維持することとなつた。而して十一日兩軍代表は現地に出會して其の線を確認協定した。この時張鼓峰の頂上は我軍の線内にあつた。

ソ滿國境は何故この様に問題が多いか

國境線が確定してゐないからである。日本の國民には元來「國境」の觀念がない。何故なら四面還海の島國で、國境が餘りハッキリし過ぎてゐるので、古來國境線の問題を起した事が殆んどないからである。會々日露戦争後樺太に國境を持つた。所が此處は北緯五十度といふ直線國境であり、明確な標識を建て、ある上に、線

- 濱名湖▲(静岡) 七三・〇四
- 洞爺湖(北海道) 六九・六〇
- 小川原湖▲(青森) 六三・二六
- 十和田湖(青森、岩手) 五九・五六
- 能取湖▲(北海道) 五八・四九
- 風蓮湖▲(北海道) 五三・二三
- 北浦(茨城) 三九・八五
- 網走湖▲(北海道) 三六・〇四
- 厚岸鹹湖▲(同) 三二・九八
- 印旛沼(千葉) 二五・九二
- 田澤湖(秋田) 二五・六五
- 幽仙湖(千島) 二四・三五
- 河北潟▲(石川) 二三・一〇
- 十三湖▲(青森) 二〇・八二
- 摩周湖(北海道) 一九・七七
- 伊庭内湖(滋賀) 一五・四〇
- 武魯頓灣▲(千島) 一五・三三

に沿ふて何十米かは森林を伐採し、盲人にも判るほど國境線を明確にしてあるの
 で今更イザゴザの起る原因がない。所がソ満國境となると、その様に明確になつて
 る所は少なく、極端にいへば、僅かに建てられた國境標識の周圍何米かづゝだ
 けであつて、他は全く漠然たるものである。一六八九年帝政ロシアと清國との間に
 結ばれたネルチンスク條約を最初とし、一八五八年の璦琿條約、一八六〇年の北平
 條約及び一九二四年ソ聯との間に結ばれた奉露協定等、十有餘の條約や協定がある
 にも拘らず更に判然しないといふことは嘘のやうな眞實である。何故なら、一例を
 挙げれば、最も國境問題の頗發する東部の興凱湖西岸から豆滿江に至る約六百三十
 米の陸境にしてからが、一八六一年の興凱湖境界條約や一八八六年の璦琿條約によ
 つて國境線を確定し、文字界標九個、記號界標二十六個、合計三十五個を建て、は
 見たが、何しろ六百三十米の間に三十五個の石柱をポツン／＼と建てただけだから
 標識と標識との間は平均十八米(四里半)も距たり、その間に密林あり、山あり川
 ありだから何とも仕様がな。標識のある附近はよいが、數十米離れたらもう判

- 諏訪湖(長野) 一四・四五
- 頓別湖▲(北海道) 一四・〇四
- 阿寒湖(同) 一二・九三
- 洞沼▲(茨城) 一二・三〇
- 手賀沼(千葉) 一一・八八
- 中禪寺湖(栃木) 一一・二九
- 池田湖(鹿兒島) 一〇・九八
- 檜原湖(福島) 一〇・三七
- 久美濱湖▲(京都) 七・〇八
- 伊豆沼(岩手) 六・九四
- 蘆ノ湖(神奈川) 六・八九
- 山中湖(山梨) 六・四六
- 河口湖(同) 六・〇八
- 與謝ノ内海▲(京都) 五・一八
- 福島潟(越後) 五・一五
- 北海道大沼(北海道) 五・一二
- 蓬萊湖(千島) 五・〇七
- 俱多羅湖(北海道) 五・〇四

らない。然もこの標識たるや時々都合のいゝやうに双方で勝手に建てかへた形跡が
 あり、でないにしても永年の風雨に晒されて破損磨滅し、今日まで残るものは十本
 にしかすぎない。とすると標識と標識との間は平均六十三米(約十六里)づゝある
 わけで、これでハッキリしてゐると思つたら思ふ方が間違ひである。東部國境既に
 然りとすれば、北部や西部の判然しないのは當然である。従つた越境事件などと云
 つても、少々事ぐるらるゝで兎や角いふわけではない。明らかに滿洲國人のゐる土地
 へ踏込まれた場合を云ふのであるから、問題となつた場合には最早辯解の餘地のない
 いほどハッキリした越境だと思はねばならぬ。さういふハッキリした、従つて無法
 な越境事件が、昭和十年には、東部で八十八件、北部で二十二件、西部で八件、滿
 蒙國境で十八件、合計百三十六件あり、昭和十一年には、東部で百二十件、北部で
 四十九件、西部で十四件、滿蒙で二十件、合計二百三十三件に及んだ。そこでソ滿兩國
 では早くから國境線を確立すべく度々交渉したが、日滿側が部分々々を解決して懸
 て全體に及ばうではないかといふ現實的な主張をするのに對し、ソ聯側は全體を一

本栖湖(山梨)	四・七七
邑知湯(石川)	四・七七
野尻湖(長野)	四・二八
多來加湖(樺太)	一八〇・〇六
富内湖(同)	一六八・一八
遠淵湖(同)	四〇・四三
來知志湖(同)	四〇・七七
和愛湖(同)	三〇・一八
池邊讚大湖(同)	一一・三〇
廣浦(朝鮮)	一三・二八
腰橋湖(同)	八・二七
長淵湖(同)	七・四二
晚浦(同)	六・九一
小洞庭(同)	四・九四
高雄鹹湖(臺灣)	三・六六
日月湖(同)	四・四四

主なる河川

擧に解決しよう等と漠たる事を云つて交渉遷延策をとり、一步も進行しない現状である。

ソ満國境の赤軍兵力はどの位か

ソ聯は昭和二年に第一次産業五ヶ年計畫を樹てたが、これはその實軍備擴充五ヶ年計畫であり、歩兵は三割、騎兵は三倍、飛行機は四倍半、戦車は三十五倍にして世界第一の陸軍力を持つやうになつた。併し當時はまだ極東の軍備には殆んど關心を持たず、昭和六年の滿洲事變前には、歩兵四ヶ師團、騎兵二ヶ師團、兵力數萬に過ぎず、飛行機など寥々たるものであつたが、滿洲事變後は急激に増加し、現在では歩兵二十ヶ師團、騎兵四ヶ師團を基幹として總兵力三十數萬といはれ、ソ満國境線に沿つて兵營がベツタリ建てられ、如何に兵力の多いかは一見して判る。然も飛行機千五百、戦車また千五百基を整備し、チタとダウリヤを中心としてザバイカル地方を、ブラゴエシチエンスクとハバロクスクを中心として中部黒龍江地方を、ニ

〔内地〕	
名稱 流末地方 延長(米)	
石狩川(北海道)	六、九二六、九四五
利根川(茨城、千葉)	四、四〇三、八〇〇
淀川(大阪)	四、三三四、一八一
十勝川(北海道)	四、〇三三、〇〇〇
信濃川(新潟)	三、八五三、二〇〇
北上川(宮城)	三、七七八、八〇〇
天鹽川(北海道)	三、七五六、五五五
阿賀川(新潟)	二、七九九、六〇〇
阿武隈川(宮城)	二、五九〇、二五五
最上川(山形)	二、三六七、〇五四
江川(島根)	二、三三三、一六三
天龍川(静岡)	二、一八三、六七三
吉井川(岡山)	二、一八〇、九四五
筑後川(福岡、佐賀)	一、九二一、三六二

コリスクとウラジオスツクを中心として南沿海州地方を守り、なほ北樺太にも相當の兵を送つたほか、外蒙古と内蒙國境或は滿蒙の國境にも赤軍を入れて、滿洲包圍の態勢を整へてゐる。一方海軍は、ウラジオを根據地として陸路を頻りに潜水艦を送り、その數七十と號されてゐる。流石に海軍は我が海軍の前には眞正面から太刀打ち出來ぬことを悟つてか、潜水艦による奇襲戦法をとつてゐる。猶、ソ満國境には肉眼でも見える通り、全線に亘つて堅固なトーチカを數十米乃至數百米おきに三重、四重に配置し、その數無慮數千、これが地下で悉く連絡し、八頭の蛇のやうに、一つを潰しても他は平然としてゐるといふ恐るべきものである。併しソ聯極東軍の最も恐るべきは、浦鹽附近に超重爆撃機百機内外を常置し、スハと云へば一擧に日本海を飛び越えようと虎視眈々としてゐることである。ところで、赤軍は果して強いだらうか？ これは戦つてみなければわからない。張鼓峰事件のお手並では、あまり強さうにないが、あれは眞の戦争ではない。世界の見る所では、恐らく日露戦争の時よりは強いだらうといふことである。

揖斐川(三重)	一、四一九、三八一
吉野川(徳島)	一、三九七、六七三
那珂川(茨城)	一、三三三、一三六
矢作川(愛知)	一、三〇〇、二五五
米代川(秋田)	一、二六三、二七三
雄物川(同)	一、二四四、八二二
高梁川(岡山)	一、一八〇、四七三
遠賀川(福岡)	一、一五七、三四五
渡川(高知)	一、一三三、九八一
荒川(東京)	一、〇八八、四〇〇
由良川(京都)	一、〇六六、四〇〇
九頭龍川(福井)	一、〇四五、八五五
太田川(廣島)	九四三、六三六
大淀川(宮崎)	八五九、四一八
岩木川(青森)	八三六、〇七三
斐伊川(島根)	七九六、三六三
紀ノ川(和歌山)	七九六、一四五
球磨川(熊本)	七五五、七四五

國際報道網の色分け

世界の代表通信社の色分け

世界には多くの通信社があり、世界各国に普く通信網を張り巡らし、敏速正確にニュースを送るのを業としてゐる。所か今日では只敏速正確なニュースの通報だけではなく、所屬國の外交方針、國策に添つて活躍する傾向が濃くなり、ために色眼鏡をかけて觀た通信をするやうになつた。これは國際間の關係が微妙複雑になつたことと、通信による宣傳力の偉大さを政府によつて認識され、政府に利用されるやうになつたからである。従つて世界に名だたる大通信社は概ねその國を代表して活躍するやうになつた。

ロイテルは英國の代表的大通信社であると共に、歴史も古く、通信の正確さを以て世界に冠たるものである。これは嘗て英國が世界の海底電線の大半を獨占してゐ

馬淵川(青森)	六三三、二七三
綠川(熊本)	六二二、六三六
新宮川(和歌山)	五九二、〇三六
五箇濱川(宮崎)	五九〇、四〇〇
釧路川(北海道)	五七四、八〇〇
小矢部川(富山)	四六八、二一八
日高川(和歌山)	四三九、七〇九
大井川(静岡)	三八〇、〇七三
北川(福井)	二八五、七〇九

〔朝鮮〕

名稱	流域道名	長さ(料)
鴨綠江(咸鏡南、平安北)		七九〇
洛東江(江原、慶尙南北、全羅北)		五二五
豆滿江(咸鏡北)		五二一
漢江(江原、慶尙北、忠清北、京畿)		五二四

た頃から、政府がロイテルのために多大の便宜や特權を與へたので、その敏速と正確は他の追隨を許さなかつたのである。爲にロイテルの通信は英國朝野はもとより列國間にも絶大の信用を博してゐたが、歐洲大戰の際彼がその通信網を利用して政府のために一大宣傳機關と化して多大な殊勳を樹てゝからは政府とは全く切つても切れぬ關係となり、遂に通信社たるよりも宣傳機關と化し去つた。然も一方、ロイテルの壓迫に永く不満を抱いてゐた各國通信社が相次いでその拘束から逃れ、彼に劣らぬ勢力を持つやうになつてからは、ロイテルも昔日の倅なく、ニュースの信用も漸く低下するやうになつた。

タス通信社はソ聯の最高行政執行機關たる聯邦人民委員會議(内閣のこと)に直屬する中央情報機關である。従つてその通信が眞赤に染められてゐることは云ふまでもない。

AP通信社は(アツソシエテッド・プレス)UP通信社(ユニナイテッド・プレス)と共に米國の二大通信社である。APは米國內千三百餘の新聞社代表を組合員

大同江(平安南、黄海)	四三九
錦江(全羅北、忠清、慶尙北、京畿)	四〇一
臨津江(咸鏡南、江原、京畿)	三五四
蟾津江(全羅、慶尙南)	三二二
清川江(平安)	一九九
禮成江(黄河、京畿、江原)	一七四
端川南大川(咸鏡南)	一六二
大寧江(平安北)	一五〇
〔臺灣〕	
名稱 流域州名 長さ(料)	
濁水溪(臺中)	一六五
下淡水溪(高雄)	一五六
曾文溪(臺南、高雄)	一三三
淡水河(臺北、新竹)	一三〇
大甲溪(臺中)	一八

として組織せられてをり、國內通信は各新聞社に分擔させて蒐集し、外國通信は各地に支局や通信員を置き、通信網の延長二十五萬哩といはれる一大通信社であり、營利を目的とせず、政治的には中立を標榜してゐるが著しく政府の御用色が多いといはれてゐる。UPは株式組織の營利的な大通信社である。従つて一般的興味と迅速を旨とし、政治的にも中立ではあるが時に政府につき、時に政黨に附く。従つて又正確さに於てAPに一籌を輸してゐるのは止むを得ない。

アヴァスは佛國の最大通信社で資本金一億五百萬法と稱し、ロイテルと並稱される世界的大通信社である。政治的には中立を守り、正確を旨とし、宣傳的報道はせずと稱してゐるが、政府から毎年補助金を受けてゐる關係上、時に政府の意見に順應する傾向にあり、殊にその重役が猶太人である關係上、猶太人擁護の傾きがある。併し國內の主要新聞二百に通信を送り、四大新聞に廣告を提供してゐるので國內の信用は絶大である。

D・N・B通信社は獨逸を代表する。これはナチス政權が確立して政府内に宣傳

烏溪(臺中)	一一二
八獎溪(臺南)	一一
主なる高山	
〔内地〕	
名稱 所在地 高さ(米)	
富士山(静岡、山梨)	三、七七六
北岳(山梨)	三、一九二
間ノ岳(静岡、山梨)	三、一八九
鎗ヶ岳(岐阜、長野)	三、一八〇
赤石岳(長野、静岡)	三、一三〇
穂高岳(長野、岐阜)	三、一〇三
東俣山(長野、山梨、静岡)	三、〇九五
白根山(長野、静岡)	三、〇九三
荒川嶽(静岡)	三、〇八三
御嶽山(長野、岐阜)	三、〇六三
鹽見嶽(静岡、長野)	三、〇四七

省が出来るや、當然の結果として通信機關の統一が企てられ、従前のウォルフ社とテレグラフエユ社が合同されてDNBとなり、その株の半分(二百五十萬マーク)は政府が所有し、半分は私人が持つてゐる。その關係上DNBが政府の御用的役割を演ずるのは止むを得ぬことであるが、世界に張り廻らした通信網により、國內の大小二千八百の新聞社中千七百社に通信を送り、絶大の信用を得てゐる。

ステファニは伊太利の獨立運動家グリエルモ・ステファニの創立したもので、創立當時から伊太利の統一宣傳運動を趣旨としてゐたので、彼の死後ではあるが、フアシスト政權確立するやこれを拾上げ、資本金五百萬リラの株式會社とし、その株の大半をフアシストの機關紙たるポポロ・デイタリアに所有させ、以て外國の情報機關から獨立させた。従つてこれは完全なフアシストの機關通信社で、國內はもとより、海外にも多くの通信網を持つてゐるが、極東の通信は多くロイテルから買つてゐる。

同盟通信社は我國を代表する最大にして唯一の通信社である。以前には新聞聯合

- 仙丈岳(山梨、長野) 三、〇三三
- 北穂高岳(岐阜、長野) 三、〇三二
- 農鳥岳(静岡、山梨) 三、〇三六
- 乘鞍岳(岐阜、長野) 三、〇二六
- 聖岳(静岡、長野) 三、〇一
- 劍岳(富山) 二、九九八
- 立山(同) 二、九九三
- 駒ヶ嶽(山梨、長野) 二、九六六
- 摩利支天岳(岐阜、長野) 二、九五九
- 前茶白山(長野) 二、九四七
- 白馬岳(富山、長野) 二、九三三
- 寶剣嶽(長野) 二、九三三
- 薬師ヶ嶽(富山) 二、九三三
- 五郎嶽(富山、長野) 二、九二四
- 大天井嶽(長野) 二、九三三
- 前穂高嶽(岐阜、長野) 二、九三三

社と電報通信社とがあつたが、昭和十年に合同して社団法人とし、翌年一月一日から事業を開始したもので、国内の通信網はもとより、世界各国の主要地には支局や通信員を置き、その上各國の代表的通信社二十八社と特約してニュースの交換提供を行つてゐる。

世界の代表的新聞の色分け

世界の言論を支配し、其國の政府の方針や態度、輿論を反映するものは新聞である。我が新聞にもよく外國有名新聞の論評が紹介されるから、その新聞の政治的色彩を知つておくのは無駄でなからう。

タイムズと云へばロンドンで發行されてゐる英國隨一の大新聞である。發行部数は十萬だが、政界、財界、學界等の上層階級に讀者を持ち、報道の正確、論調の中庸、世界著名人の投書、上品等に於て世界に冠たり、英國内は勿論、その論説は世界の政治界、經濟界を動かしてゐる。但し政治的には保守黨の色彩を帯び、常に政

- 槍岳(長野、富山) 二、九〇三
- 赤岳(長野、山梨) 二、八九九
- 笠ヶ岳(岐阜) 二、八九七
- 廣河内岳(山梨、静岡) 二、八九七
- 鹿島鎗ヶ岳(富山、長野) 二、八九〇
- 別山(富山) 二、八八五
- 前嶽(長野) 二、八八三
- 淨土山(富山) 二、八七三
- 繼母岳(岐阜、長野) 二、八六八
- 蝙蝠岳(静岡) 二、八六五
- 赤牛岳(富山) 二、八六四
- 空木岳(長野) 二、八六四
- 蓮華岳(長野、岐阜) 二、八六〇
- 双六岳(長野、岐阜) 二、八六〇
- 繼子岳(岐阜、長野) 二、八五九

府の意向を反映し、従つて目下我國には餘り友誼的でない。

デーリー・テレグラフ・アンド・モーニング・ポストはタイムズに次ぐ英國で信用ある新聞で、昭和十二年に二つの新聞が併合されたもので、發行部數六十萬。實業界、中流階級を讀者とし、報道の正確、上品で記事の豊富なことを特長とする。反獨的であるが一方また反ソ的でもあり、我國には比較的友好的態度を持つてゐる。

デーリー・メールは發行部數最も多く、ロンドン版だけでも百八十萬と號され、英國第一の大家新聞である。社會記事を主とし、外交記事は少いが、政治的には保守黨系である。

デーリー・エクスプレスは地方版を合せて發行部數二百萬、デーリー・メールに次ぐ英國第二の大家新聞で、下層階級に讀者を持ち、親米的で、我國には餘りよくない。

ニュース・クロニクルは英國自由黨系に屬し、發行部數百三十萬、中流階級に支持され、急進的で國際聯盟主義である關係上我が國には甚だよろしくない。

- 三澤岳(長野) 二、八四六
- 三ツ岳(長野、富山) 二、八五五
- 南駒ヶ岳(長野) 二、八四二
- 鷲羽嶽(富山、岐阜、長野) 二、八四一
- 中ノ俣嶽(富山、岐阜) 二、八四〇
- 地藏嶽(山梨) 二、八四〇
- 三隅岳(長野、静岡) 二、八三〇
- 八ヶ嶽(長野) 二、八三〇
- 恵比須岳(岐阜、長野) 二、八三三
- 針木岳(富山、長野) 二、八二二
- 大澤岳(静岡、長野) 二、八一九
- 白河内岳(山梨) 二、八二二
- 抜戸岳(岐阜) 二、八二二
- 東天井嶽(長野) 二、八二二
- 阿彌陀嶽(長野、山梨) 二、八二一

デーリー・ヘラルドは英國の労働黨及び労働組合の機關紙で、發行部數百五十萬、論調も過激で、勿論我國に好意は持たない。

マンチエスター・ガーディアンは英國のマンチエスターで發行される自由黨系の新聞で、中央の大新聞に遜色なく政界、財界に重きをなしてゐるが、工業の中心地で發行される關係上我が國に對しては餘りよい感情を持つてゐない。

紐育タイムスは記事の豊富なこと米國第一で、國の内外を問はず細大洩らさず報道し、發行部數平日四十五萬、日曜七十萬、米國の代表的一流新聞である。政治的には中立であるが、どちらかといへば民主黨系で、従つて我國に餘りよくない方である。

紐育アメリカンはハースト系新聞で國家主義的色彩があり、我國には悪くはないが殊更よくもない。發行部數平日三十三萬、日曜百一萬。

紐育ヘラルド・トリビュンは共產黨系の新聞で、發行部數三十一萬、我國には餘り友誼的でない。

- 小河内山(長野、静岡) 二、八〇七
- 上河内岳(長野、静岡) 二、八〇二
- 蓮華岳(富山、長野) 二、七九九
- 朝與山(山梨) 二、七九九
- 鬼岳(長野、静岡) 二、七九九
- 鳳凰山(山梨) 二、九〇〇
- 高嶺(山梨) 二、七八九
- 権現嶽(長野、山梨) 二、七八六
- 旭岳(長野) 二、七八五
- 大蓮華山(新潟、富山、長野) 二、七八九
- 赤石岳(長野) 二、七八九
- 大籠岳(山梨、静岡) 二、七八七
- 横通岳(長野) 二、七八七
- 燕岳(同) 二、七八三
- 赤岩岳(同) 二、七八三

紐育デーリー・ニュースは發行部數百四十二萬、繪入の通俗的新聞で、大衆に迎合する。従つて目下我國に宜しくない。

ボルチモア・サンは米國の民主黨系ではあるが、時に政府を攻撃し、親英的で、自然我國には反對する。發行部數は僅か十四萬だが、外觀、内容、編輯とも非常に異色あり、政界、財界に重きをなしてゐる。

クリスチャン・サイエンス・モニターは、米國のポストンで發行され、發行部數は十一萬内外だが、社會記事は少く、優秀な在外通信員を多く持ち國際問題を重く取扱つてゐる。我國には時に論難の鋭鋒を向けるが、所論公平で、概して友誼的である。

シカゴ・デーリー・トリビュンは米國シカゴで七十八萬ほど發行され、共和黨系の新聞で、煽情的表題をつけるので有名である。アメリカのモンロー主義を標榜し、極東問題不干渉の態度を持してゐる。

シカゴ・デーリー・ニュースは米國中西部の知識階級を讀者とし、上品で、論調

- 觀音岳(山梨) 二、七六二
- 常念岳(長野) 二、七五七
- 四ツ岳(岐阜、長野) 二、七四四
- 小太郎岳(山梨) 二、七三五
- 木曾嶽(長野) 二、七三二
- 黒河内東俣嶽(山梨、静岡) 二、七二七
- 南眞砂岳(長野) 二、七二〇
- 白山(石川、岐阜) 二、七〇三
- 赤岳(長野) 二、六九九
- 北荒川岳(静岡、長野) 二、六九八
- 唐松岳(長野、富山) 二、六九六
- 赤澤岳(同) 二、六七八
- 祖父岳(同) 二、六七〇
- 赤澤山(長野) 二、六七〇
- 蝶ヶ岳(同) 二、六六四
- 北俣嶽(富山、岐阜) 二、六六一

も穩健を以て聞えてゐる。發行部數四十萬。
サンフランシスコ・エキザミナーはハースト系新聞で、北カリフォルニアに最大勢力を有し、米國第一主義である所から我國には終始甚だ宜しくない。
サンフランシスコ・クロニクルは純然たる共和黨系で、常にハースト系新聞と對抗し、自由主義、平和主義、國際主義を持ち、自由主義の建前から排日移民法には反對したが、嘗ては排日の火蓋を切つた歴史を持ち、國際主義の建前上我國には餘り宜しくない。

アクシオン・フランセーズは佛國王黨の機關紙で、舊貴族に讀者を持ち、我國には比較的好意を持つてゐる。發行部數八十萬。

エコード・パリは發行部數十五萬乃至二十萬で、國家主義的・反動的・カトリック的であるが、割合親日的である。

プチ・パリジャンは發行部數百八十萬と號し、記事の豊富を誇る大新聞で、政治的色彩は稱薄である。

- 木谷山(長野、静岡) 二、六五八
- 茶臼山(長野) 二、六五三
- 俄鬼岳(同) 二、六四七
- 根石岳(同) 二、六四五
- 霞澤嶽(同) 二、六四五
- 鳴澤岳(長野、富山) 二、六四一
- 唐澤岳(長野) 二、六三三
- 岩小屋澤岳(長野、富山) 二、六三〇
- 策ヶ岳(静岡、山梨) 二、六三九
- 鷲嶽(富山) 二、六三五
- 烏帽子岳(長野、富山) 二、六三一
- 仙人山(富山) 二、六二七
- 大瀧山(長野) 二、六二五
- 鷲山(富山) 二、六一四
- 越百山(長野) 二、六一三
- 雪倉嶽(富山、新潟) 二、六一一

ジュルナルは報道本位の新聞で、發行部數百萬。我國には友誼的。

ユマニテは佛國共產黨の機關紙で、宣傳・煽動を目的とし、親ソ的で、我國に對しては常に毒舌を振つてゐる。

マタンには二種あり、小さい方は政治専門の新聞で、言論界に重きをなしてゐるが、どちらも我國には非常に好意を寄せてゐる。

フェルキツシエル・ペオバハターはナチスの機關紙で、發行部數三十八萬。我國には全幅的好意を持つてゐる。

ドイツエ・アルゲマイネ・ツァイツングは古い新聞で、重工業系に屬する右翼紙であるが、發行部數六萬、餘り勢力も色彩もない。

ベルリナー・ベルゼン・ツァイツングも重工業系の右翼紙で、發行部數三萬だが、獨逸の指導階級に堅い讀者を持ち、記事の正確と反ソ的色彩のために却つてソ聯の記事の多いことで有名である。

ベルリナー・ロカール・アンツアイガーは發行部數十九萬、獨逸中産階級に讀者

- 鋸岳(長野、山梨) 二、六〇七
- 大日嶽(富山) 二、六〇六
- 茶白山(長野、静岡) 二、六〇〇
- 不動嶽(富山、長野) 二、五九五
- 金峰山(山梨、長野) 二、五九五
- 烏帽子岳(山梨) 二、五九三
- 國師岳(長野、山梨) 二、五九一
- 光岳(長野、静岡) 二、五九一
- 辻山(山梨) 二、五八五
- 千挺木山(山梨、静岡) 二、五八四
- 朝日岳(長野、山梨) 二、五八一
- 白根山(栃木、群馬) 二、五七八
- 長崩山(長野) 二、五七五
- 編笠山(長野、山梨) 二、五七四
- 大唐松山(山梨) 二、五五五
- 七倉山(長野) 二、五五一
- 保ノ筑(山梨) 二、五四五

を持ち、家庭紙として最も堅實な地盤を持つてゐる。
 ジョルナーレ・デイタリアはローマで発行されファシスト系新聞の重鎮で、部数二十五萬。その外交評論は多大の反響を持つ。

ポロ・デイタリアはムツソリーニが創刊したもので、ファシスト黨機關紙。發行部數二十五萬。これはミラノ發行のものだが、猶同名の新聞がローマでも發行され、前者の分身で、八萬位刷つてゐる。その他多くの新聞があるが、伊太利は新聞統制の最も行届いた所で、ムツソリーニ自身新聞記者出身である所から、記者養成を徹底させ、學校を設立し、記者の取締を嚴にし、檢閲も最も嚴重なので、政治的論調には大差ない。「伊太利の新聞記者は兵士と同様だ。新聞を陣地とし、ペンを武器と思ひ、ファシスト魂で第一線に活躍せよ」とのムツソリーニの言葉が、全てを語つてゐよう。

ソ聯の新聞には、共產黨機關紙プラウダを初め、政府の機關紙たるイズベスチア、農民啓發のための黨機關紙たるクリスチャンカヤ、ガゼータ等があるが、論調はみ

- 淺間山(群馬、長野) 二、五〇二
- 黒檜山(長野) 二、五〇〇
- 生木割(山梨、静岡) 二、五九九
- 蓼科山(長野) 二、五五〇
- 絹笠山(同) 二、五二八
- 牛首山(長野、富山) 二、五二八
- 仁田岳(静岡、長野) 二、五二四
- 荒倉山(山梨、長野) 二、五二七
- 小日影山(長野、静岡) 二、五〇五
- 美濃戸山(長野) 二、五〇〇
- 九郎岳(北海道) 二、五〇〇
- 〔朝鮮〕
- 白頭山(咸鏡南、北道) 二、七四四
- 冠帽山(咸鏡北道) 二、五四一
- 北水白山(同南道) 二、五三三
- 遮日峰(同南道) 二、五〇六

満洲國事情

満洲國の國家組織はどんなか

な同じで、共に共產黨中央委員會の文化宣傳部の指圖を受けてをり、全く官報化したものであるから、我國に對してどんな態度かは云ふまでもない。記事もまた正確さを信用するに足らず、社會記事の端々に至るまで宣傳煽動ならざるはない。

満洲國はもと中華民國の一部分であつたが、歴史的には全く別箇の國であり、民族をも異にしてゐるので、支那から獨立しようとの運動は當時から國民の間に續けられてゐたが、昭和六年滿洲事變が勃發し、張學良政權が没落するに及び、此の運動は急速に進展し、翌年三月一日遂に獨立を宣言し、首都を長春に遷して新京と改名し、年號を「大同」と定め、次いで前支那(清國)皇帝溥儀氏を奉戴して執政とし、民本政治により五族共和の王道樂土建設に邁進した。その後我が國との協

- 頭雲峰(同南道) 二、四八七
- 白山(同南道) 二、四七六
- 雪嶺(同北道) 二、四四二
- 南胞胎山(同南道) 二、四三五
- 蓮花山(同南道) 二、三三五
- 北水山(同南道) 二、三四七
- 兜峰(同北道) 二、三三四
- 檜床峰(同北道) 二、三三三
- 頭流山(同南、北道) 二、三〇九
- 〔臺灣〕
- 新高山(臺中、臺南、高雄) 三、九五〇
- 次高山(臺中、新竹) 三、九三一
- 新高東山(臺中) 三、八八四
- マボラス山(花蓮港、臺中) 三、八八三
- 南山(高雄) 三、八六九
- 新高北山(臺中) 三、八六六

力により施政宜しきを得て着々國礎を固めて來たが、昭和九年(大同三年)三月一日全國民の熱望により、溥儀執政を皇帝と仰ぐこととなり、國號を滿洲帝國と改め年號を「康徳」と改元し、憲法を改めて現在の國家組織を持つに至つた。溥儀執政を皇帝と仰ぐに至つたのは決して理由なきことではない。その太祖は愛親覺羅氏と稱し、純滿洲民族で、滿洲に起つて滿洲一圓を平定し、清國を建て、南下して支那本土に明軍と戦ひ、漸次これを討ち、西曆一六六二年遂に明を滅ぼして全支を掌握し、都を北京に定めて三百年の榮華を誇つたが、大正元年孫文等の第一革命により皇位を追はれ、時の宣統帝溥儀氏は年少にして恨みを呑んで天津に隱棲されたのであつた。故に今滿洲國が獨立するに際會し、祖先の故山滿洲に歸つて皇位を樹てらるゝも決して所以のないことではない。滿洲國は建國當初に「滿洲帝國組織法」を制定した。それは近き將來に於て發布さるべき欽定憲法までの臨時憲法であるが既に立憲君主政體であることを明示し、三權分立を明かにしてゐる。即ち皇帝統治の下に、立法院、法院、國務院がこれを代表し、國務院は政府であつて、國務總理

- 秀姑高山(花蓮港、臺中) 三、八三三
- 南湖大山(花蓮港、臺北) 三、七九七
- 中央尖山(花蓮港、臺北) 三、七七五
- 北合歡山(花蓮港、臺中) 五、六九七
- 合歡山東峰(同) 三、六九七
- 合歡山(同) 三、六九七
- 關山(臺東、高雄) 三、六六七
- 大水窟山(花蓮港、臺中) 三、六四五
- シポポス山(臺東) 三、六一〇
- 奇萊主山北峰(花蓮港、臺中) 三、六〇五
- 大雪山(臺中、新竹) 三、六〇〇
- 大霸尖山(臺北、新竹) 三、五七〇

の下に、總務廳、内務局、外務局、興安局、治安部、民生部、産業部、經濟部、交通部、司法部がある。このうち總務廳と外務局は國務總理の直宰であるが、他の局及び部には大臣を置いてそれ／＼行政に當らしめてゐる。立法院は我が帝國議會に相當し、法院は裁判所である。なほこの他に參議府があり、我が樞密院のやうな役目を持つてゐる。地方行政は全國を十六省と新京特別市とに分ち、省には省長を置き、省を幾つかの縣に分ち、縣の下に街村がある。これを我國に例へれば、省は縣、縣は郡、街村は市町村だが、興安地方には街村の代りに旗が置かれてゐる。

滿洲國軍はどれ程あるか

滿洲國軍は皇帝これを統率し、統轄機關としては治安部がこれに當る。治安部内は官房のほか、參謀司、警務司、軍政司の三つに分れ、軍隊と警察とを一つにしたやうなものであるが、陸軍の部隊としては、禁衛隊、靖安軍、國都警備軍、憲兵隊のほか、地方を七軍管區に分つて各軍管區を警備してゐる。即ち第一は奉天、第二

- 雲峰山(高雄) 三、五六九
- 新高西山(臺中) 三、五四五
- 奇萊主山(花蓮港、臺中) 三、五三六
- 西 山(臺中) 三、五三三

主なる火山

(標高千米以上)

- | 名稱 | 所在 | 高さ |
|-------------|-----|-------|
| 〔千島及北海道東部〕米 | | |
| 阿頼度富士(千島) | (同) | 二、三三九 |
| 千倉嶽 | (同) | 一、八二五 |
| 渡嶺岳 | (同) | 一、七三三 |
| 白煙山 | (同) | 一、三四五 |
| 三高山 | (同) | 一、一六〇 |
| 根茂山 | (同) | 一、〇一九 |
| 黒石山 | (同) | 一、三三一 |
| 春牟古丹嶽 | (同) | 一、二二二 |

は吉林、第三は齊々哈爾、第四は爾哈濱、第五は永徳、第六は牡丹江、第七は興安省である。更にその下に各省毎に警備司令部をおき、若干の旅を隸屬せしめてゐる。兵種は歩、騎、砲の三種であり、軍官學校、陸軍中央訓練所、附屬教導隊等があつて、我軍の持導の下に訓練せられてゐる。その陸軍總兵力約九萬。なほこのほかに滿洲國提轄隊、國境監視遊動警察隊、間島軍事特務員、滿洲國治安維持會等の準軍事團體がある。

海軍は誠に微々たるもので、その艦船も兵力もみな我が駐滿海軍部の指揮の下に置かれてをり、主として河川の防備に當つてゐる。

滿洲國の兵力はこのやうに貧弱なものではあるが、日滿議定書の規約により皇軍は多くこゝに駐屯し、眞の國防第一線には皇軍が當つてゐるから、國防の安全は泰山の如しといふことが出来る。最近では兩國軍の協力により、各地に潜伏蠢動してゐた共產匪や舊東北軍の遊撃隊、匪賊等建國當時三十萬を算したのも殆んど討伐し盡して一萬に減少し、然もそれ等は主とした思想匪であるから國民悉く堵に

安んじ、文字通り王道樂土と化してゐる。

滿洲國の人口と面積

滿洲國は建國當時には國內を、奉天、吉林、黒龍江、熱河、興安の五省に分けてゐたが、昭和八年(大同二年)十四省二特別市一北滿特別地區とし、昭和十二年(康德四年)左の如く十六省一特別市とした。同年に於ける人口及び各省面積は次の通りである。

省名	面積(方料)	戸數(千戸)	總數(千人)	邦人(千人)
奉天省	七五、五三三	一、五二〇	九、二九〇	一三六
吉林省	八九、九一〇	七六〇	五、一九九	七五
龍江省	六八、二九二	三七八	二、三二八	二
牡丹江省	五七、二五四	三七八	五、七四	
濱江省	一四、三三四	八四〇	五、〇五八	一四三

- 越湯磨嶽 (同) 一、一七一
- 芙蓉山 (同) 一、四八五
- 計吐夷岳 (同) 一、一七二
- 新知富士 (同) 一、三六〇
- 新知嶽 (同) 一、五三八
- 得撫富士 (同) 一、三三〇
- 大平山 (同) 一、〇四〇
- 地獄山 (同) 一、〇二三
- 白旗山 (同) 一、三二〇
- 神威山 (同) 一、三〇九
- 茂世路山 (同) 一、一九六
- 散粒登 (同) 一、五七九
- 卓冠山 (同) 一、六三一
- 阿登佐登 (同) 一、二三〇
- ルルイ岳 (同) 一、五〇六
- 茶々登嶽 (同) 一、八四五
- サマツケヌプリ(根室、北見) 一、二五四

硫黄山	(根室)	一、五五三
良牛山	(同)	一、六六一
海別岳	(同)	一、四一九
斜里岳	(同)	一、五四五
武佐嶽	(同)	一、〇〇六
標津嶽	(同)	一、〇六一
雄阿寒嶽	(釧路)	一、三七一
雌阿寒嶽	(同)	一、五〇三
キトウシ	(十勝)	一、三三二
ウペペサンケ	(十勝)	一、八七〇
西ヌブカウシ	(同)	一、二五六
東ヌブカウシ	(同)	一、二五三
大雪山	(石狩)	二、二九〇
十勝岳	(十勝)	二、〇七七
富良野岳	(石狩)	一、八八二
暑寒別岳	(同)	一、四九一
利尻山	(北見)	一、七一九

熱河省	九六、五八五	六五五	三、二二七	七
錦州省	三九、四六一	六七四	三、八四七	一五
安東省	二六、五八三	三九八	二、一八六	九〇
通化省	三一、六四七	一八〇	一、〇五〇	三三
三江省	一〇七、五四四	一一五	六四三	四九〇
閩島省	二九、三九五	一三	六一	二
黑河省	一〇九、八二三	五〇	二四六	三三
新京特別市	一九一	九八	四六九	〇・四
興安西省	八〇、四一〇	一三〇	七三五	五・六
同南省	七九、〇一一	一一	七六	二・二
同東省	一〇六、七七一	二	七六	四・八
同北省	一六〇、三九六	五、八三七	三五、三七七	一、〇三三
合計	一、三〇三、一四三	一八九	一、二四八	一七〇
關東州	三、四六二			

積丹岳	(後志)	一、二五五
阿女嶽	(同)	一、〇二四
余市岳	(後志、石狩)	一、四八八
天狗岳	(石狩)	一、一四五
雷電岳	(後志)	一、二二二
岩雄登	(後志、膽振)	一、一五四
ニセコナンヌプリ	(後志)	一、三〇九
後方羊蹄山	(膽振)	一、八九三
昆布岳	(同)	一、〇四五
登別岳	(同)	一、〇四〇
徳舜瞥山	(同)	一、三三二
惠庭岳	(同)	一、三三〇
風不死岳	(同)	一、一〇三
樽前山	(同)	一、〇三四
駒ヶ嶽	(渡島)	一、一四〇
横津岳	(同)	一、一五〇
八甲田山	(陸奥)	一、五八五

滿鐵附屬地

右のうち滿鐵附屬地は昭和十二年十二月一日よりこれを滿洲國に移讓したので、その部分の面積・戸數・人口等は、奉天省、吉林省、安東省等に分屬され、又昭和十四年四月十八日には東安省、北安省が新設されたので、牡丹江・三江・濱江・龍江等も若干づゝ變つたわけである。

日滿議定書とは何か

日滿議定書とは、昭和七年九月十五日、わが特命全權大使武藤信義大將と滿洲國國務總理鄭孝胥との間に締結調印された條約のことであつて、普通ならば修交條約とでも云ふべきものであるが、當時まだ滿洲は建國間もなく、世界各國ともその獨立を承認してゐなかつたので、條約の詞を避けて議定書としたものである。従つてその内容は普通の修交條約と同様で、滿洲國の獨立を承認すると同時にお互ひに大使を交換し、この日から正式の國交を開いた。然も唯の修交でなく、日滿一體不可

岩木山	(同)	一、六三五
岩手山	(陸中)	二、〇四一
七時雨山	(同)	一、〇六〇
駒ヶ嶽	(羽後)	一、六三七
森吉山	(同)	一、四五四
鳥海山	(同)	二、二三〇
燒石嶽	(陸中)	一、五四八
栗駒山(陸前、陸中)		一、六三八
月山(羽前)		一、九八〇
船形山(羽前、陸前)		一、五〇〇
藏王山(陸前、羽前、磐城)		一、七五九
吾妻山(岩代)		一、九七五
安達太郎山(同)		一、七〇〇
磐梯山(同)		一、八一九
猫魔嶽(同)		一、四〇四
博士山(同)		一、四八二
守門山(越後)		一、五三八

分を認め、固い約束をしたものであつて、又同盟條約と見ることも出来る。
 「日滿兩國間ノ善隣ノ關係ヲ永遠ニ鞏固ニシ互ヒニソノ領土權ヲ尊重シ東洋ノ平和ヲ確保センカ爲メ左ノ如ク協定セリ」
 議定書の冒頭にはかう書いてある。そして第一條に、從來日支間に締結した滿洲國內の權益はそのまゝ確認すると聲明し、第二に、

「日本國及滿洲國ハ締約國ノ一方ノ領土及治安ニ對スル一切ノ脅威ハ同時ニ締約國ノ他方ノ安寧及存立ニ對スル脅威タルノ事實ヲ確認シ兩國共同シテ國家ノ防衛ニ當ルヘキコトヲ約ス之カ爲メ所要ノ日本國軍ハ滿洲國內ニ駐屯スルモノトス」と明記して共同防衛の事を明かにしてある。

滿洲帝國協和會は何をする團體か

滿洲帝國協和會は、滿洲帝國に於ける民族協和によつて眞の王道樂土を建設するを理想とする團體であつて、單なる政黨や教化團體でなく、思想と教化と政治との

淺草岳(岩代、越後)		一、六八六
鎌房山(岩代)		一、五〇〇
那須嶽(下野)		一、九一七
高原山(同)		一、七九五
女峰山(同)		二、四六四
二荒山(同)		二、四八四
白根山(同)		二、五七八
燧嶽(岩代)		二、三二〇
武尊山(上野)		二、一五八
袈裟九山(上野、下野)		一、八七八
赤城山(上野)		一、八三八
子持山(同)		一、二九六
小野子山(同)		一、二〇八
榛名山(同)		一、四四八
淺間山(上野、信濃)		二、四三三
烏帽子岳(信濃)		二、〇六六
四阿山(上野、信濃)		二、三三三

三つの仕事を實踐組織する團體であり、國家機構の一部として定められてをり、滿洲國に於ては、思想、教化、政治に於てこれ以外の團體の組織を許さない。併しなから協和會は政府に配屬する機關でもなく、これと對立するものではないことは勿論、寧ろ政府の精神的母體となるべきものであり、政府の官吏は全て協和會員であり、政府に入つては建國の大精神を政治的に發動し、野に下つては民意を暢達し、政府の仕事を手助けするのである。その日常工作は、第一に精神工作、第二に厚生工作、第三に宣徳達情工作である。協和會の組織は分會を以て基本單位とする。分會は地域制を原則とするが、官廳、會社、工場、兵營等のやうに多くの人が一ヶ所に集まる所はこれを一地域と見做して分會を設ける。これ等を更に一段上の地域に分けて、市、旗、縣、省などの地區本部で統轄し、これが新京の中央本部で總轄される。關東州は滿洲國ではないが、特殊事情があるので大連に事務所があり、東京の事務所は、日本に於ける對滿認識の是正に努めてゐる。目下分會は二千九百餘ある。各分會は仕事を進めて行く上に於て、聯合協議會を持つてゐる。それは縣、省、全國の

- 白根山 (同) 二、一六三
- 飯繩山 (信濃) 一、九一七
- 黒姫山 (同) 二、〇五三
- 妙高山 (越後) 二、四四六
- 燒山 (同) 二、四〇〇
- 斑尾山 (信濃) 一、三八二
- 高井富士 (同) 一、三三三
- くも無山 (同) 一、六五〇
- 岩菅山 (同) 二、二九五
- 苗場山 (同) 二、一四五
- 飯土山 (越後) 一、二二二
- 〔本州中部及豆南諸島〕
- 白山(加賀、飛彈) 二、七〇二
- 大口嶽(飛彈、美濃、越前) 一、七〇九
- 立山 (越中) 三、〇一五
- 硫黄ヶ岳(信濃、飛彈) 二、四五八

三段階に分れ、市・旗等で解決されない事は縣聯合協議會にはかり、縣で未解決のことは省聯合協議會に諮るといふ風になつてゐる。この聯合協議會へ出席する代表は、選挙によらず、分會中の優秀な會員を代表とする。この協和會は滿洲國獨立以前から既に萌芽を見てをり、獨立間もない昭和七年七月に發會され、その後幾多の變遷を見たが、遂に基礎を確立した。今や會員百萬と號し、張國務總理大臣が會長となつてゐる。

滿洲國の財政

滿洲國の財政は建國以來非常に健全な歩みを續け、建國初期のこととして種々積極政策を要する點が多々あるが、對外信用を保持することを絶対に必要とする關係上、積極策は全て他日に譲り、着實をモットーとし、特別會計に於て稍積極性を現はしてゐる。(單位千圓)

昭和八	同九	同十	同十一	同十二	同十三
一般 一四九、一六九	一八八、七三五	三〇四、九九九	二九、四〇五	二八三、一四七	三〇四、五五五
特別 一〇六、九四六	一三六、四三四	一三二、五二八	二二一、五五三	四二、九五九	一、二七、八六〇

而して歳入の主たるものは、一般會計に於ては租税であり、赤字公債は康徳三年に於て一千萬圓、四年に二千七十萬圓、五年に四千萬圓を計上してゐるにすぎず、特別會計の方の國債と共に、康徳四年九月末現在の國債額三億一千七百七十五萬圓、借入金七千六百六十一萬圓であつた。その後康徳五年に特別會計で三億六千七百萬圓を計上してゐるが、國內の商況、貿易その他を含め、最近では損勘定なく大體トントンに行くまでに發展したと稱されてゐる。

滿洲國の國際收支勘定

滿洲國財政部及び滿鐵經濟調查會の共同調査によれば、滿洲國の國際收支は左のやうであつて、受取超過といふ結果を現してゐる。

- 乗鞍岳 (同) 三、〇二六
- 御嶽 (同) 三、〇六三
- 霧ヶ峯 (信濃) 一、九三五
- 蓼科山 (同) 一、九二五
- 八ヶ嶽(信濃、甲斐) 二、八九九
- 茅ヶ嶽 (甲斐) 一、七〇四
- 富士山(甲斐、駿河) 三、七七六
- 愛鷹山 (駿河) 一、五〇四
- 箱根山(相模、駿河、伊豆) 一、四三九
- 天城山 (伊豆) 一、四〇五
- 〔本州西南部〕
- 水山(但馬、播磨) 一、五二〇
- 大山(伯耆) 一、七二三
- 三瓶山(出雲、石見) 一、二二六
- 〔九州琉球臺灣〕
- 鶴見嶽(豊後) 一、三七五
- 由布嶽 (同) 一、五六四

花牟禮山	(同)	一、一七三
九重山	(同)	一、七六四
九住山	(同)	一、七八八
阿蘇山	(肥後)	一、五九二
温泉岳	(肥前)	一、三六〇
多良岳	(同)	一、〇七六
霧島山(日向、大隅)		一、七〇〇
櫻島	(薩摩)	一、〇六〇
口之永良部島(大隅)		一、〇四三
口之島	(大隅)	一、〇三三
中之島	(同)	一、〇三三
大屯山	(臺北)	一、〇四五
[朝鮮]		
漢拏山	(全南)	一、九五〇

大原野の面積

(平野)

名稱 所在 面積

種

別

昭和十年(千圓)

昭和十一年(千圓)

貿易勘定	輸	輸	輸
	入	入	出
	超過	超過	超過
貿易外收入	經常的受取	一六三、〇八一	二〇〇、五九四
	臨時的受取	四五九、七七九	五六二、三五二
合計		六二二、八六一	七六三、二五二
貿易外支拂	經常的支拂	一八三、八七三	二四八、四五六
	臨時的支拂	一五八、九五五	三四六、七三四
合計		三四二、八二七	五九五、一八〇
貿易外受取	超過	二八〇、〇三四	一六七、七五五
貿易外受取	超過	九六、九六二	七六、五三五

滿洲國の資源と産業

石狩(北海道)	ヘクタール	三五、三九八
藻琴(同)		三三、二四〇
上春別(同)		一九、九五〇
中標津(同)		一五、九一〇
牧ノ原(静岡)		一四、八七六
臺東原野(臺灣)		一三、三〇〇
弟子屈(北海道)		一三、一三〇
春別(同)		一二、六八九
幌延(同)		一一、〇〇〇
卯原内(同)		一一、九七四
勇拂(同)		一〇、九六七
三方ヶ原(静岡)		九、三三三
標津(北海道)		八、三二五
美留和(同)		八、〇五〇
西別(同)		七、九八〇
上西別(同)		七、一八三
西春別(同)		七、一八三

滿洲國は農業國である。曠漠たる平野にして農作に適するもの三千二百七十三萬五千ヘクタール。そのうち耕作されてゐる部分は約千四百九十六萬ヘクタールで、今後開墾可能な未耕地がまだ千七百七十七萬五千ヘクタールある。然も耕作法を改良し研究したならば、現在の耕地だけでも充分に收穫を増すばかりでなく、猶種々なものを産し得るだらう。これ等の事は我が移民の力に俟つ所大である。

種別	昭和九年	同十年	同十一年	作付面積
大豆	千噸	千噸	千噸	ヘクタール
其他豆類	三七七	三三六	三三八	三、四一五
高粱	三、四六九	四、一〇六	四、〇八八	二、九〇五
粟	二、一三八	二、九六七	三、〇九四	二、五〇二
玉蜀黍	一、五〇三	一、九〇二	二、一三一	一、二九四
小麦	六四三	一、〇三五	八八九	一、〇八五
水稻	二〇〇	二九六	四三〇	一七三

磐田原(静岡)	六、九四〇
上風蓮(北海道)	六、六四〇
富士裾野(静岡)	六、四二六
風蓮(北海道)	五、五二三
上標津(同)	五、二八三
統内(同)	五、〇〇〇
ヤウシユベツ(同)	四、一〇〇
瀧上(同)	四、六二八
大野原(静岡)	四、六二六
宇津々(北海道)	四、六〇二
メマンベツ(同)	四、五三八
跡佐登(同)	四、〇三〇
中原(長野)	三、〇二六
熊牛(北海道)	三、〇〇〇
大野岱(秋田)	三、〇〇〇
和訓邊(北海道)	二、八三一
オヌブナイ(同)	二、八〇〇
二又平(青森)	二、七五八

陸 稲

合 計 一三五 一四七 一三六 一四四

なほこの他に柞蠶・大麥・小豆・黍・蕎麥・燕麥・馬鈴薯・大麻・黄麻・煙草・胡麻・蓖麻・荏・甜菜・棉花・果樹等があり、中でも棉花は遼陽以南で大いに奨励せられ、將來は東洋一の産地たらうとしてゐる。

林業は大興安嶺、小興安嶺及び松花江流域を初め全國に亘り千古斧鉞を入れない所があり、森林總面積三千五百八十八萬ヘクタール、その蓄材量四百十七億五千九百萬立方メートルで、毎年約三百萬石を産し、うち百二十三萬石を輸出してゐる。

畜産業は、滿鐵調査部の推定によれば、昭和九年に於て、牛百十九萬頭、馬百七十三萬頭、騾馬百一萬頭、驢馬十八萬頭、羊十萬頭、豚百八十九萬頭で、いづれも昭和六年頃に比較して半減してゐる。

水産業は海が少いから大したことはないが、遼東半島南面は世界三大漁場に次ぐ優秀な所だといはれてゐるので、今後の發展を囑望されてゐる。現在は魚介類約一

鳥通(北海道)	二、七〇〇
平糸(北海道)	二、六六八
那須野原(栃木)	二、五四三
大原々野(臺灣)	二、二六〇
オシラネブ(同)	二、二三四
茶志骨(同)	二、一三三
サカール(同)	二、〇九一
湧別(北海道)	二、〇〇〇
川口(同)	二、〇〇〇
豐頃(同)	二、〇〇〇
十二ヶ村野(秋田)	二、〇〇〇
忠類(北海道)	一、九八一
上渚滑(同)	一、八一五
若柳村野(岩手)	一、八〇〇
ウブシ(北海道)	一、六〇〇
池上原野(臺灣)	一、五六五
寄勝カルスト(福岡)	一、五五三
大輪地原(栃木)	一、五三三

千萬貫、價格五百萬圓であり、鹽田七千町歩からの産額は、昭和九年に於て四十二萬七千九百疋であつたが、曾ては七十萬疋餘を産したこともあり、未開鹽田設置の曉は十億斤を産し得る見込である。

鑛産物は目下の所あまり種類が多くない。石炭・鐵・油母頁岩・砂金・マグネサイト・苦灰石・石灰石くらゐであるが、砂金のほかは何れも相當の埋藏量を持つてゐる。殊に石炭は撫順を初め、本溪湖・煙臺・新邱等があり、撫順・新邱の如きは世界屈指の産地であり、全滿總埋藏量は四十五億噸と稱されてゐる。鐵は餘り豊富ではなく、三十五%ほどの貧鐵ではあるが、本溪湖の昭和製鐵所では最近獨逸から貧鐵處理法の特許を買受け、これにより相當な成績を挙げつゝある。その埋藏量は六億噸である。油母頁岩は撫順等に無盡藏にあり、石炭の油化と共に將來有望視されてゐる。

工業方面では、大豆からの製油と、製粉、醸造が滿洲での三大工業と稱され、その他製鐵・製材・柞蠶・製糸・セメント・マッチ・製紙・製革・石鹼・硝子・煉瓦

千町無田(大分)	一、五三
内田谷地(青森)	一、五八
カス山(平)	一、五〇四
八色ヶ原(新潟)	一、五〇〇
根布砂原(石川)	一、二九六
別保(北海道)	一、二五〇
野邊山原(長野)	一、二四六
高良臺(福岡)	一、二〇〇
鹽野原(山形)	一、一四五
葉水野(岩手)	一、一四〇
鹽谷野(栃木)	一、一三三
崙背原々野(臺灣)	一、一〇〇
六道原(長野)	一、〇八九
問寒別(北海道)	一、〇〇〇
王城寺原(宮城)	一、〇〇〇

高原の面積

等の各種製造業があり、主として南部地方で行はれ、工場數七千八百七十、職工數十七萬一千人、生産額三億五千萬圓、資本金二億一千八百九十七萬圓で、まだ他に誇るに足らないが、最近産業五ヶ年計畫が樹てられ、支那事變のために資本的に最初の計畫通りに動かぬ事情もあるが、猶且つ各般に於て非常な躍進を示しつゝあり、一方滿洲重工業開發會社の活躍と相俟つて、前途の多幸を信じられてゐる。

滿洲國産業五ヶ年計畫とは何か

一朝有事の際に必要な資源の現地開發、國內の自給自足等、日本に不足する資源の供給と將來に於ける滿洲國産業開發の根基の確立を目指して、滿洲國及び關東軍、滿鐵等が總動員して立案したものであつて、昭和十二年から實行に移された。所がその年には支那事變が突發したために我が國の對滿投資及び資材供給が豫定の如く行かず、従つて事業も計畫通りに進まなかつた。そこで支那事變の發展性をも考慮に入れた上で更に新しく立案し、次のやうに決定した。

名稱	所在	面積
夕張(北海道)	ハクタール	八四、八九六
茶安別(同)		二〇、〇〇〇
太田兵村(同)		一五、〇〇〇
北方(大分)		七、六〇九
八ッ嶽平原(山梨)		六、一五六
定牛(北海道)		五、八五三
鶴見原(大分)		五、三三一
御牧原(長野)		四、六二七
都尾原(大分)		四、〇六五
地藏原(同)		三、九一七
日出生原(同)		三、七二一
内門(臺灣)		三、五三八
阿蘇野(大分)		三、四四六
久住野(同)		三、一九一
遠笠野(静岡)		三、〇七九
陸軍用地(北海道)		三、〇〇〇

一、鑛工業部門では、鐵・石炭・液體燃料に主力を置き、電氣・パルプ・自動車飛行機・鉛・鹽・曹達・アルミ等の各事業も夫々當初の計畫を増大し、新たに耕作機械・化學肥料を追加した。四年後の目標は、鉄鐵四百五十萬噸、鋼塊三百五十萬噸、鋼材二百萬噸、石炭八百萬噸、電力二百六十萬キロ、液體燃料二百萬噸、パルプ四十萬噸、鹽百萬噸、金四年を通じて三億圓。

二、農畜産部門では、同様に初めの計畫より増大し、民衆の安定、厚生經濟の擴充を主眼とする。但し大豆の大增産を圖る。第二年度の目標は、米四十萬噸、小麥百三十五萬噸、大麥十八萬噸、大豆四百五十萬噸、粟三百五十萬噸、高粱四百五十萬噸、玉蜀黍二百三十萬噸、甜菜二十一萬噸。

三、資金部門では總額約四十八億圓で、鑛工業に三十八億圓、農畜産に一億四千萬圓、交通通信に六億四千萬圓、移民に二億二千萬圓見當で、これだけは日本政府が調達援助をする。

この他、開拓部門、交通通信部門があり、銳意計畫に従つて進行してゐるが、第

彌陀ヶ原(富山)	三、〇〇〇
由井ヶ原(福島)	二、九四四
波野原(熊本)	二、九二三
田代牧場(群馬)	二、七〇〇
上ノ臺(大分)	二、六八〇
秋吉臺(山口)	二、五〇〇
大矢原(熊本)	二、四三〇
サロマベツ(北海道)	二、二四九
有峰高原(富山)	二、〇〇〇
湖口演習場(臺灣)	二、〇〇〇
鹿嶋越原(大分)	一、七九七
鉦塔野(同)	一、五九一
迎地原(青森)	一、五八二
白河布引原(福島)	一、四八〇
荒川平(青森)	一、四三八
關山演習地(新潟)	一、三四四
ムカ(北海道)	一、三六六
三瓶原(島根)	一、二六七

二年(昭和十三年)の實績は、支那事變による幾多の障礙により豫定通りに行かず、農畜産部門では殊に豫定を裏切つたが、その他は大體に於て豫定に近づき、中には豫定以上の好成績を挙げたものもあつた。

滿洲重工業開發會社の事業

滿洲の産業五ヶ年計畫が樹てられ、中でも最も立ちおくれにして然も最も緊急必要な重工業方面の發展を期するために、滿洲國政府にあつては、かねてから一大國策會社の設立が切望されてをり、昭和十二年十二月二十七日には滿洲重工業管理法まで公布施行せられ、その結果として生れたのが滿洲重工業開發會社である。これによれば、滿洲國に於ける鐵鋼業、輕金屬工業、自動車製造業、航空機製造業、石炭工業のほか、金・鉛・銅・亜鉛等の鑛業に投資し、滿洲國政府は資本金の半分をもち、總裁一人、副總裁一人、理事五人以上、監事三人を置き、利益配當金が拂込資本額に對し年五分に達するまでは、政府一、民間二の割合で配當し、七分五厘を

雄武(北海道)	一、三二七
淺間牧場(群馬)	一、一〇〇
鉦伏原(長野)	一、〇一四
眞狩(北海道)	一、〇〇〇

世界地理概要

世界の面積

(一九三五年頃調査)

世界總數	一三四、七〇〇、〇〇〇	方料
アジア洲	四二、九〇〇、〇〇〇	
ヨーロッパ洲	一〇、二〇〇、〇〇〇	
北アメリカ洲	二四、六〇〇、〇〇〇	
南アメリカ洲	一八、三〇〇、〇〇〇	
アフリカ洲	三〇、一〇〇、〇〇〇	
大洋洲	八、六〇〇、〇〇〇	

超過した場合には同率に配當をし、社債は拂込額の二倍まで發行し得る等の規定を設けられてゐる。その結果我が國では日本産業株式會社が資本金倍額増資を行ひ、滿洲重工業開發會社と改名し、日産社長鮎川義介が總裁に擧げられ、副總裁には馮涵清が就任し、本店を新京におき、支店を東京に持つこととした。その資本金は四億五千萬圓で、滿洲國政府と日産とが半分づゝ出資し、それまで滿鐵經營下にあつた昭和製鋼所、日滿マグネシウム、滿洲輕金屬製造、滿洲炭鑛、同和自動車工業、滿洲鑛業開發、滿洲銑鑛、南滿鑛業、大滿探金等の重工業會社を一擧に傘下に收めてしまつた。その後前商工大臣吉野信二が同會社の副總裁になり、独自の怪腕を振ひ、南滿洲鐵道株式會社と共に滿洲産業開發のため努力してゐる。

滿獨新貿易協定の内容

滿洲國と獨逸との間には、昭和十一年四月三十日調印の貿易協定がある。それによれば、滿洲國は大豆及び農産物を一億圓だけ獨逸に賣り、獨逸から二千五百萬圓

世界の人口

(一九三五年頃調査)

世界總數	二、二一、五〇〇、〇〇〇
アジア洲	一、二五、四〇〇、〇〇〇
ヨーロッパ洲	五三、三〇〇、〇〇〇
北アメリカ洲	一七、八〇〇、〇〇〇
南アメリカ洲	九、四〇〇、〇〇〇
カフリカ洲	一五、三〇〇、〇〇〇
大洋洲	一〇、四〇〇、〇〇〇

世界の島嶼

名稱	面積(方料)
グリーンランド	二、一七五、六〇〇
ニュー・ギニー	七七一、九〇〇
ボルネオ	七四五、九五〇
マダガスカル	六三四、四三三
スマトラ	四三三、八〇〇

大ブリテン	三三八、三〇〇
セレベス	一七九、四〇〇
ニューゼーランド南島	一五〇、五二五
ジャヴァ	一三六、一〇〇
キニューヴァ(西印度)	一四一、五〇〇
ニューゼーランド北島	一四一、二九五
ニューファウンドランド	一四〇、七〇〇
ルソン(フィリッピン)	一〇六、二〇〇
イスラランド	一〇三、八〇〇
ミンダナオ(フィリッピン)	九六、三〇〇
アイルランド	八二、一五〇
ハイチ(西印度)	七三、三〇〇

だけ機械類を買ふといふもので、有効期間は一年であつた。それを昭和十二年更に期間を三ヶ年延長したが、その後滿洲國は工業的發展の必要上、機械類を多く買はねばならなくなつたが、さうなると七千五百萬圓といふ受取勘定が少くなる。それでは困るからといふので昭和十三年九月十四日新しい貿易協定を成立させたのが新協定である。それによると滿洲國は二千五百萬圓以外に六千三百萬圓まで獨逸の機械を買ふことが出来る代りに、獨逸へも一億六千三百萬圓まで賣ることが出来る。即ち舊協定よりも餘計に買つた分だけ、その翌年には餘計に賣ることが出来る、いつも受取勘定を七千五百萬圓にしておかうといふもので、期限は昭和十五年までである。但しこれ以外に兩國とも一千万圓だけ他の品物を賣買することが出来る。

滿洲移民に政府はどんな補助をするか

滿洲建國以來、滿蒙開拓の國策移民計畫は早くも進められ、昭和七年九月には東宮大佐の努力により第一回には約五百人の武裝移民團を三江省に送り、翌年七月に

は第二回武裝移民團約五百人を三江省の奥地へ送つた。これ等の先驅者はよく各種の艱難と闘ひ、時には三千名の匪賊と七十五日も對陣してこれを撃破するなどといふ困苦を忍んで來た。これに感激した我が朝野では協力して第三次三百人、第四次五百人、第五次千人と毎年移民團を送り、昭和十二年には百萬戸移民二十年計畫を樹て、先づ最初の五年間に十萬戸を移民させることとし、第一年には千七百九十四戸、人口約一萬五百人を送つた。これが第六次移民團である。但しその中には第七次移民團の先遣隊約千五百人、第八次先遣隊約九百人も加はつてゐた。移民をする者には滿洲國政府に於ても各種の便宜を圖つてくれるが、我が政府としては、一戸當り約一千圓の補助をしてくれる。尤もこれは全部その人にくれるのではなく、戸別補助と公共施設補助とに分け、渡航の旅費、農具費、家屋建築費、家畜費、農産加工場、木工場、鍛工場等の戸別的な施設に對してはその費用を現金または物品で個人に渡されるが、組合事務所や診療所の建築費、醫療費等は公共機關に渡され、これ等合計が千圓である。併し政府はなほこのほかに、移住地へ農事指導員や警備

- 樺太 七五、三六〇
- タスマニア(濠洲) 六七、八九四
- セイロン(印度) 六五、六〇八
- スピッツベルゲン(歐洲) 六四、八九五
- ノヴァヤ・ゼムリヤ北島 五〇、一〇〇
- (同) 五〇、一〇〇
- ノヴァヤ・ゼムリヤ南島 四一、七〇〇
- (同) 四一、七〇〇
- 海南(中華民國) 三四、〇〇〇
- ニュー・ブリテン(大洋洲) 三三、七〇〇
- ヴァンクーヴァー(カナダ) 三三、一〇〇
- シシリー(地中海) 二五、七四〇
- サルヂニヤ(同) 二四、〇九〇
- ニュー・カレドニア 二六、一〇〇
- (大洋洲)

指導員を置いたり、醫者を置いたりしてくれ、その費用は別途で出される。なほ、農業を営むに資金が必要とあらば、滿洲拓殖公社が金融してくれる筈だし、分譲の土地は一戸當り耕地約十町、山林、放牧場若干となつてゐる。土地は多年放置されてゐたので非常に肥えた一千万町歩の可耕地が待つてをり、數年間は肥料なしで耕作出来、大概の内地の農作物は出来、寒さと淋しさに馴れさせれば滿洲は正に王道樂土であるといふことである。

茨城県内ヶ原にある滿蒙開拓青少年義勇軍訓練所は日本國民高等學校長加藤完治氏が主催指導するものであつて、全國から少年を募り、こゝで滿蒙への豫備知識と拓土としての實際的技術を授け、どしどし滿蒙へ送り出すことを目的としてをり、既に數千名の青少年義勇軍を送り、非常に好評を博してゐる。これはたゞ拓土の卵を養成するばかりでなく、日本精神によつて人間を鍛えることを第一の目的としてゐるもので、目下朝野から非常に注目されてゐる。拓土は少年時代から行くのが、土地に順應しうるやう身體を鍛えうる意味でも、必要なことであらう。

政治法律の常識

政治上の諸知識

大本營は何をする所か

大本營とは、戦争又は事變に際し、必要に応じて設置される大森の下に於ける軍事上の最高の統帥部である。これは明治二十六年五月大本營條例が公布せられ、二十七年六月參謀本部内に初めて設置されたが、日清戦争の宣戦布告と共に宮中に移され、その後廣島、京都と、大森のある所に移され、明治二十九年四月閉鎖されたが、日露戦争に際し、明治三十七年二月再び宮中に設置され、三十八年十二月に解かれ、今回また支那事變に際し、昭和十二年十一月二十日宮中に三度設置を見た。その間幾度か改正せられ、初めは幕僚長たる參謀總長だけが帷幄の機密に參與した

- スマバワ(東印度) 一三、二八〇
- ジャマイカ(西印度) 二、五三五
- スンバ(東印度) 二、〇八〇
- ヴァイチ・レヴ(大洋洲) 一〇、五〇〇
- ハワイ(同) 一〇、四〇〇
- サイプラス(地中海) 九、二八〇
- ポルト・リコ(西印度) 八、八九〇
- ブーゲンヴイル(大洋洲) 八、八〇〇
- コルシカ(地中海) 八、七三〇
- クリート(同) 八、六三〇
- アンチ・コスタ(カナダ) 八、一五〇
- セーランド(デンマルク) 七、五二六

世界の湖沼

(▲印は鹹湖)

名稱 (所在地)	面積 (千方料)
カスピ海▲(亞、歐)	四三八・〇
スベリオル(北米)	八三・三
ヴィクトリア(東阿)	六八・八
アラル▲(中亞)	六三・〇
ヒューロン(北米)	五九・五
ミシガン(同)	五七・八
バイカル(シベリヤ)	三三・〇
タンガンイカ(コンゴ)	三一・九
グレート・ベイヤ(カナダ)	三一・五
ニヤサ(東阿)	二〇・八
グレート・スレーブ	

が、後には海軍々令部長も参劃するやうになつた。大本營は、平時には陸海軍省及び参謀本部、海軍々令部長等に分掌せられてゐる統帥事項の處理を一元化し、これを迅速緊密にする純然たる統帥の府であつて、世人が往々に誤り考へるやうに統帥と國務とを兼ねたり混同したりするものではない。とはいへ近代戦は國家總力戦であるから、統帥と國務とは密接不可分のものとなつて來たので、大本營幕僚長が關係閣僚と屢々會同協議しなければならぬは云ふまでもなく、重要案件に關しては御前會議を行ふ場合もある。

企畫院はどんな仕事をするか

企畫院は昭和十二年十月二十五日、前からあつた企畫廳と資源局が合併されて新設せられた内閣直屬の官廳である。従つてその仕事は大體に於て前二者の仕事を繼承してゐる。抑も資源局は、近代戦が昔の戦争と異り國家總力戦である事を歐洲大戰によつてまざまざと教へられた列國が、次の世界大戰に備へるため、或は戦後

名稱 (所在地)	面積 (千方料)
エリー(北米)	二五・八
ウイニペツグ(カナダ)	二四・五
オンタリオ(北米)	一八・七
ラドガ(歐、露)	一八・一
バルハシ▲(中亞)	一七・五
チャード(スダン)	一六・〇
マラカイボー▲(ヴェネズエラ)	一三・六
オネガ(歐、露)	九・八
ニカラグワ(中米)	八・四
ルドルフ▲(東阿)	八・〇
アサバスカ(カナダ)	七・四
チチカカ(南米)	六・九
レインヂーカ(カナダ)	六・四
イシツク▲(中亞)	六・二
ヴェンネン(瑞典)	五・五
ウイニペゴシス(カナダ)	

の國力を復活させるための必要上、國家總動員といふ事に着眼し、各自その機關を設けた。我國でも同様にこれを痛感し、大正七年軍需工業動員法を公布し、その中央事務機關として軍需局を新設したが、その後統計局と合して國勢院となり、更に資源局と改組した。即ち資源局は國家の人的・物的の資源を調査し、統制運用の計畫を樹て、有事に備へると共に、資源の培養助長、國力の充實に關する諸般の施設を計畫する所であつた。一方、企畫廳は、行政機關たる十二省の事務や政策に綜合的觀察を下して内閣總理大臣の參考に供するために設けられたものである。各省の事務は素より相互密接に關聯してゐるものであつて、内務省は外務に没交渉であつてよいわけはなく、外務省また内政を度外視することは出来ない。併し各省が獨立に存在してゐると、自然自分の事務を第一と考へ易い結果として豫算の分捕戰とか他省との摩擦とか、兎角跛行的な結果を招き易い。そこでこれを綜合して大所高所から觀察し、緩急順序に應じ、國策の線に沿ひ相聯關せしめて行かねばならぬ。それが總理大臣の使命であるが、その使命を遺憾なく遂行せしめる補佐機關として

アルバート▲(東阿)	五・四
ペーブス(歐、露)	五・〇
メロー(コンゴ、リオデシヤ)	四・九
ウツド(カナダ)	四・七
ウルミヤ▲(小亞)	四・七
グレート・ソルト▲(北米)	四・七
ニビゴン(カナダ)	四・四
マニトバ(同)	四・四
クウクウ▲(西藏)	四・〇

主なる海洋

太平洋	一六、五七三
大西洋	八、一六六
印度洋	七、三四四
計	三二、〇八二

〔地中海—大陸間の海〕

北極海	一、四三五
オーストラシヤ海	八二三
アメリカ海(カリブ海及メキシコ湾)	四五六
地中海(ヨーロッパ)	二九七
アドソン湾	一三三
紅海	四六
バルト海	四一
ベルシヤ湾	三三
計	三、三三五
〔沿海〕	
ペーリング海	二二七
オホーツク海	一五一
東支那海	一三四

企畫廳が生れたのである。所が滿洲事變以來の我が國の進運は、企畫廳と資源局の仕事の二分を許さなくなり、總てを新東亞建設の大國策・大使命に沿つて行かねばならず、そのためには積極的に國家總動員を行はねばならなくなつた。そこで資源局と企畫廳の合併が行はれ、内閣の智慧袋・國策の立案所・國家總動員の總元締となつたのである。即ち企畫廳に與へられた權限は、

- 一、平時戰時ニ於ケル綜合國力ノ擴充運用ニ關シ自カラ案ヲ起草シテ之ヲ内閣總理大臣ニ上申スルコト
 - 二、各省大臣カラ右ニ關シ閣議ニ提出スル重要案件ノ大綱及其ノ豫算ノ統制ニ付テ審査シ意見ヲ内閣ニ上申スルコト
 - 三、國家總動員計畫ノ設定及遂行ニ關スル各廳事務ノ調整統一ヲ圖ルコト
- である。そのために企畫廳は、總裁、次長の下に官房・總務・内政・財務・産業・交通・經濟の六部を設け、勅任の部長六人及び調査官一人を置き、他に秘書官・書記官・調査官・事務官・理事官・技師・屬・技手等合計百六十名あり、中部長二名、

調査官十數名は陸海軍武官が任せられてゐる。併し最近又々企畫廳の權限を増大して、もつと強力なものにせよとの説が有力になつて來た。

興亞院はどんな組織か

興亞院は新東亞建設の重大使命を負ひて昭和十三年十二月十六日に新設せられた對支中央機關である。滿洲國の獨立によつて内閣内に對滿事務局が設置されたと同様に、支那事變の結果皇軍の占領地は日に日に擴大し、今や中央支那を地理的には半分を、經濟的・文化的には大半を占めるに至り、北京の中國臨時政府、南京の中國維新政府を初め、各地に自治會が生れ、從來の抗日容共政策を一擲して我國と緊密に提携して行かうとしてゐる。日滿支三國の強固な提携は我が國策であり、それは友邦としてのみならず、一心同體、不可分の國として共に俱に新東亞建設の大理想を實現して行かなければならぬ。そのためには從來のやうに外務省、陸軍省、海軍省などで別々に事務を分擔してゐるやうな事ではならぬ。純外交は外務省にま

日本海	二〇四
アンダマン海	七九
イギリス海	七五
カリフォルニア湾	三三
ローレンシア湾	三二
北海	二七
タスマン海	一八
計	八二

世界の高山

名稱(所在地) 高さ (米)

エヴェレスト(ヒマラヤ山脈)	八、八八二
ゴドウィン・オーステン(カラコルム山脈)	八、六二二
カンチエンジュンガ	

(ヒマラヤ)	八、六〇三
マカル(同)	八、四八九
ドーラギリ(同)	八、一六七
チヨ・ウヨウ(同)	八、一五三
ナンガ・バルバット(同)	八、一四四
ガシアープラム(カラコルム)	八、〇六八
ゴサイン・タン(ヒマラヤ)	八、〇一四
ヂャチユンカン(同)	七、八九七
ダスト・ギル(カラコルム)	七、八八五
マシアープラム(同)	七、八三二
ナンダ・デビ(ヒマラヤ)	七、八二七
ナンダ・コット(同)	七、八二七
[ヨーロッパ]	

かせ、純軍事は陸海軍省にまかせるとしても、なほ廣汎にして重要なる政治・經濟・文化の三方面は、綜合的に、敏活に處理して行かねば、今次聖戰の意義を畫餅にしてしまふ恐れがある。そこで興亞院を起したのである。興亞院は内閣に直屬し、内閣總理大臣がその總裁となり、外務・大藏・陸軍・海軍の四大臣が副總裁につき、その下に總務長官があり、總務長官は總裁・副總裁等で開く興亞院會議に列席出来るのみか、時としては閣議にも參列し得る。初代總務長官は杭州灣上陸で武名を轟かした陸軍中將柳川平助である。興亞院は總裁官房を初め、政務・經濟・文化の三部及び技術部があり、現地との連絡を保つために興亞院連絡部が現地各地に設置されてゐる。

戒嚴令下ではどうなるか

戒嚴令は戰時又は事變、國內動亂、大天變地異等の起つた時、天皇の大權により國內の全體又は一地方に限つて布かれるものである。戒嚴令下にある地方には行政權・警察權・裁判權は停止せられ、これ等一切は戒嚴司令官の手に移される。即ち戒嚴司令官は絶大の權限を有し、一切の治安を維持すると共に言論機關を停止し、人民の財産を差押へ或は沒收、毀却することが出来る。又、物資の需要供給及び人民の營業を統制し、軍隊を動かし、各種産業機關及び人民を動員する事も出来る。これ等は全て 天皇の大權に屬し、天皇御親ら下命し給ふ所であるが、極めて急を要する場合には上命を待たず司令官自ら宣告することも出来る。但し二・二六事件當時のやうに戒嚴司令官の權限を縮少し、行政權・司法權・警察權等の大部分を常態のまゝに存する場合もあるが、その範圍を定めるのも大權の内に屬する。

議會政治の適否

議會政治は又の名を立憲政治・政黨政治ともいへる。現在では立憲政體の國家の大半が持つ政治形式で、國民の選出した議員を以て國會を起し、一切の立法その他を審議し、多數決によつて決定し、政府をしてこれを施行せしめる政治形式である。

- エルブルーズ(コーカサス山脈) 五、六三〇
- デイチ・タウ(同) 五、一九七
- シユカラ(同) 五、一九三
- コシユタンタン(同) 五、一四五
- モン・ブラン(アルプス山脈) 四、八二〇
- モンテ・ローザ(同) 四、六三六
- ミシアベル(同) 四、五五四
- リスカム(同) 四、五三八
- ヴァイスホーン(同) 四、五二二
- マツターホーン(同) 四、五〇五
- フィンステルアールホーン(同) 四、二七五
- アレツチホーン(同) 四、一八二
- ユング・フラウ(同) 四、一六六
- 〔アフリカ〕
- キリマ・ヌジャロ(東アフ

これは國民の輿論を議會に反影し、國民多數の利益を計らうとするものであつて、理論的には極めて合理的な形式である。議會政治を布く國家では、憲法を尊重し、一個人又は一政府の獨裁専行を許さず、常に民意の多數に集る所に政權が移る。議會政治國には幾つかの政黨が組織される。政黨は國民一部の意見を合成し代表するものと考へられる。故に多くの國民の支持を得る政黨は強大となり、少數國民の支持しか得ぬ黨は弱小となる。故に政權は常に最大の政黨の手に委ねらるべきものと考へられ、若しその政府が議會の反對に會つてこれに勝つことが出来なかつた場合には、既にその政黨は多數國民の支持を失つたものと解され、政權を潔く反對黨に譲る。斯くする事によつて議會が常に國民多數の輿論を反影するばかりでなく、政府そのものも國民多數の支持を得てゐる理窟になる。けれども、これは理論であつて、現今各國の實状とは甚だ異なつてゐる。その矛盾の第一は選舉法の不備にある。即ち第一に、選舉人は年齢、住所、日數、性別、納税額等によつて限定せられ、必ずしも國民の大多數とは限らない事、第二に被選舉人にも一定の資格があり、自

- リカ) 五、九六九
- ケニヤ(同) 五、一九四
- マルゲリータ(南) 五、一〇二
- アレクサンドラ(同) 五、〇八一
- 〔北アメリカ〕
- マツキンレー(アラスカ) 六、一八七
- ローガン(同) 六、〇五〇
- オリザバ(メキシコ) 五、六五八
- セント・エリアス(アラスカ) 五、四九四
- ポボカペトル(メキシコ) 五、四三四
- ルカニヤ(カナダ) 五、三三七
- キング(同) 五、三三一
- ホイットニー(カスケード山脈) 四、四三〇
- エルバート(ロツキース山脈)

ら立候補した者でなければならぬから、假令如何に大多數の支持があつても、本人が立候補してゐなければ當選者とはならぬこと、第三に、一定の選舉区内に屬する選舉人は、その区内で立候補した者しか選べないから、従つて不満足な人にも投票するか、又は棄權してしまふことが多く、一方また、その政黨全體としては多くの得票があつても、立候補者個々の當選が多くなければ議會に多數を得ることが出来ないこと、第四には選舉人の政治的自覺不足のため、買収、説伏によつて自分の意志を曲げたり、候補者個々の人格とその政黨の政策とを混同し、政黨には反對しながら個人のために投票したりすること等の矛盾のために、議會での多數必ずしも民意の多數とはならぬ。然も猶一方、政黨はその強大を得て政權を獲得したいばかりに國民に阿り、國家百年の大計を樹てることを忘れ、目先の私利のために國政を弄ぶといふ弊害さへあり、近來議會政治は漸次その魅力を失つて來た。それは政黨自身の罪でもあり、國民の罪でもあるが、一層根本的にいへば、資本主義の没落が如實に政治に反影したものである。資本主義は自由主義を以て思想とする。議會政治

レニアー(カスケード) 四、三九四

〔南アメリカ〕

アコンカグワ(アンデス山脈) 七、〇三五
 メルセダリオ(同) 六、八〇三
 ツブングト(同) 六、五六八
 イラムプ(同) 六、五五三
 イリマニ(同) 六、四五九
 チムボラゾ(同) 六、一七三
 カカ・アカ(同) 六、一七三
 コンカル(同) 六、一五一
 サン・ホセ(同) 六、一〇三
 コトバクシ(同) 五、九七八

〔大洋洲〕
 チャールス・ルイス(ニュージーニー) 五、〇〇〇

は自由主義の生みの子である。従つて自由主義が否定せられ、資本主義が修正を餘儀なくせられつゝある今日、議會政治が飽きられ、修正を要求せられるのは當然のことである。全體主義が全面的に進出したからと云つて必ずしも獨裁政治になるとは限らず、議會に民意を反影せんとすることは何等かの形式で残されるだらうが、甚しく修正されることは餘儀ない運命であらう。

獨裁政治の内容

獨裁政治は、民意の如何に拘らず、或る獨裁者が自分の思ふがままに政治を施行する形式であつて、憲法に據ることもあるが、憲法そのものをも自ら改變するから、理論的には全く民意を反影する餘地なく、甚だ面白からぬ政治形態である。昔は帝王、領主、貴族、軍閥等の獨裁であつた。その弊害は多くを云ふまでもなく明かである。近代になつて民主國體、議會政治が起つたのも要するに封建的獨裁政治への反動である。然るに最近になつて再び獨裁政治を謳歌する空氣が世界を通じて高ま

ジュリヤナ(同) 四、七五〇
 ウイルヘルム(同) 四、七三〇
 マウナ・ケア(ハワイ) 四、二一〇
 クツク(ニュージーラン) 三、七六八
 〔南極地方〕
 マルカム(南極洲) 四、六〇〇

世界の火山

(▲印は活火山)

名稱(所在地) 高さ(米)
 ミスチ(ペルー) 六、一〇〇
 コトバクシ(エクアドル) 五、九七八
 オリザバ(メキシコ) 五、六五九
 ポポカトペトル(同) 四、四二四
 マイプー(チリ) 五、三三六
 ツンクラグワ(エクアドル)

りつゝある。イタリーのムツソリーニ、トルコのケマル、ドイツのヒットラー、そしてソ聯のレーニン及びスターリン等の出現は、世界の政治形態に大きな影響を與へた。彼等は先づ自らの政黨を持ち、これを強大ならしめた。併し今日では、その政黨は他の政黨と對立するものではなく、一國一黨であるから、議會政治に於ける政黨とは全く異り、政黨あつて政黨なきに等しい、にも拘らず彼等が政黨を有し、他の追隨者達もこれに倣はうとする所に今日の獨裁政治の特長がある。ムツソリーニ、ヒットラー、スターリン等は各々強大な人格であり一種の英雄である。併し彼等はナポレオンの如くたゞ一人立つ英雄ではなく、政黨といふ大多數の足場の上に立つ英雄であり、ナポレオンが亭々として獨り曠野に立つ大樹であるのに反し、彼等はピラミットの頂點である。この頂點が若し斃れた時にどうなるかは將來に残された大きな興味ではあるが、併し頂點が缺けても土臺は残つて揺がなからうといふ形式をとつてゐる所に近代獨裁政治の異つた形態がある。別言すれば、今日の獨裁政治は個人の獨裁でなく政黨の獨裁である點に特長があり、その事は、國民が

- ル)
- クリューチエフ▲ 五、〇八七
- (カムチャツカ) 四、九三〇
- メル(東アフリカ) 四、七三〇
- レニア(米國) 四、三九二
- ランゲル(アラスカ) 四、二六七
- マウナ・ロア▲(ハワイ島) 四、一六八
- カメルン(西アフリカ) 四、〇七〇
- コリマ(メキシコ) 三、八七〇
- フエゴ(中米) 三、八三五
- リンヂヤニ(スンダ諸島) 三、七七五
- エレプス(南極洲) 三、七七〇
- テネリフエ島(カナリヤ諸島) 三、七三〇
- コリンチ(スマトラ) 三、六九〇

一個人の前にひれ伏すのではなく、國民全體の利益のために獨裁を有利と認める點に大きな特色がある。各般の社會の進歩は天才の力によつて促進せられた事は歴史が充分に證明してゐる。議會政治は天才をも凡愚の中に埋没するが、獨裁政治は正に天才をして十二分に力を發揮させる。たゞ獨裁政治の危険は、それが眞の天才なりや、天才も亦暴君と化する虞れなきやといふ點にかゝつてゐる。茲に於て我々日本國民が限りなく喜んでよいことは、皇統連綿たる一天萬乗の君を仰いで搖ぎないといふ一事である。議會政治の如くにして議會政治に非ず、獨裁政治の如くにして獨裁政治に非ず、渾然たる獨特の形態を持つことは吾人の誇りであり強みである。併しこの形態をより一層遺憾なく發揮する爲には猶多くの改善を要すべきことは論を俟たず、これこそ現代の國民に掛けられた大きな使命であらう。

議會の讀會とは何か

帝國議會で法律案を審議する時、第一讀會、第二讀會などいふ言葉がある。或る

- セメル(ジャヴァ) 三、六七六
- スラマート(同) 三、四七三
- イラヅ(中米) 三、四三二
- エトナ▲(伊太利) 三、二二四
- シウエルチ(カムチャツカ) 三、二〇六
- キザブ(チリ) 三、二〇〇
- ラツセン(米國) 三、一八四
- キルンガ(東アフリカ) 二、九六〇
- メラピ(スマトラ) 二、八九〇
- メラビ(ジャヴァ) 二、八七五
- ヴイラリカ(チリ) 二、八六五
- フォーゴ島(ケープ・ヴェルデ諸島) 二、八五〇
- ルアペフ(新西蘭) 二、八〇三
- レユニオン島(マダガスカル) 二、五二五

法律案が議會に提出せられると、議長はこれを受理し、事務所に命じて印刷せしめ、議員全部に配布し、二日後に第一讀會を開く。即ち本會議を開き、議案を朗讀し、議案提出者に提出理由を説明せしめ、質疑應答を行ひ、簡單なものならその場で即決するが、研究を要するものは委員會に附託する。委員長はそれを以て委員會を開き、審議の結果を議長に報告し、議長は本會議を開いてこれを討論審議させる。こゝまでが第一讀會である。所がその時議決に至らなかつた場合には、議長は第二讀會を開くべきや否やを議會にはかり、賛成を得て第二讀會に移る。即ち二日間の後に第二讀會を開き、逐條朗讀して修正意見を出さしめ、充分に修正した上で第三讀會に廻す。第三讀會は、第二讀會の二日後に開かれ、文句の修正はなさず、たゞ文字の適切でないものを改めるだけに止め、直ちに議決に入り、初めて生きるか死ぬかの運命が決するのである。

帝國議會はどんな組織か

- マヨン▲(フライリツピン) 二、四二一
- テンゲル(ジャヴァ) 二、三九〇
- サンタ・アナ(中米) 二、三六五
- カトマイ(アラスカ) 二、二八六
- オソルノ(チリ) 二、二五〇
- トンガリロ(新西蘭) 一、九六六
- ピサニノ(伊太利) 一、九四六
- イザルコ(中米) 一、八八五
- アウ(サンギ島) 一、八六〇
- ソプタン(セレベス) 一、八三〇
- カルブコ(チリ) 一、七三八
- マクシン(アレウト諸島) 一、七三五
- ケルト(ジャヴァ) 一、七三〇
- カトラ(イスラント) 一、六〇〇
- テルナテ(ジロロ諸島) 一、五八〇

帝國議會は貴族院と衆議院とから成る。貴族院は、(一)皇族の成年男子、(二)満三十歳以上の公侯爵、(三)満三十歳以上の伯子男爵中より互選により、伯爵十八人、子爵六十六人、男爵六十六人(任期七年)、(四)國家に功勞あり又學識ある者より勅選された者、(五)帝國學士院の互選により勅任せられた者(任期七年)多額納税者中各府縣から一人乃至二人互選して勅任せられた者。この四、五、六の勅選議員總數百二十五人によつて組織せられ、衆議院は、衆議院議員選舉法により一般國民から公選せられた者四百六十六人から組織せられてゐる。

議會の交渉團體とは何か

帝國議會では議事進行の圓滑を圖るため、議決事項の順序、議員發言の順序等につき議長は議員と豫め相談取決をする。それは議員個々又は全體にせず、政黨に交渉する。併し所屬議員二十五名以下の政黨にはしない。だから二十五名以上の政黨を交渉團體といふ。従つて無所屬議員は一室に何十人ゐても無視されるが、無所

- ヘクラ(イスラント) 一、五五七
- スーフリエール(西印度) 一、四八四
- グワドループ島) 一、四八四
- ペレー▲(同) 一、三三〇
- スーフリエール(ドミニカ島) 一、二四三
- キラウエア▲(ハワイ島) 一、二三三
- ヴェスヴィオ▲(伊太利) 一、二三三
- タラウエラ(新西蘭) 一、一五〇
- スーフリエール(サン・ヴェンサン島) 一、一三〇
- ストロンボリ島▲(伊太利) 九二六
- コセグイナ(中米) 八六三
- ラキ(イスラント) 八五三
- クラフラ(同) 八二八

屬議員がもし二十五人以上集つて院内だけのものでもよいから一つの會を作れば、これは政黨と見なして交渉團體たり得るのである。

堂々廻りとはどんな事をするか

帝國議會の本會議では議員達が時々堂々廻りといふ事をする。議長から與へられた青票と白票の内のどちらかを持ち、全員行列を作つて議長の前に置かれた投票箱の中へ入れに行くことであつて、これは代理を許さないから、どうしても一列縱隊で堂々廻りをしなくてはならぬ。これは或る議案の決を取るため、賛成者は白票、反対者は青票を入れるのである。但し賛否の數が餘り甚しいと見た時にはこれを排し、賛成者を起立せしめて、その數を數へる。

國民投票はどんな時に行ふか

國民投票は日本には無い政治形式であるが、獨逸、米國、アイルラント、スミス

- クラカトア島▲(スマトラ) 八二六
- アスキヤ(イスラント) 六九八
- マタヴァヌ(サモア諸島) 六五〇
- カミギン島(フィリッピン) 六五〇
- アビ(ジロロ諸島) 六三〇
- サントリン(ギリシヤ) 五八四
- テレキ(東アフリカ) 五八〇
- ウルカノ島(伊太利) 四九九
- スーフリエール(西印度) 三四〇
- サン・リニシヤ島) 三四〇

世界の大瀑布

(落差一五〇米以上)

- 名称 所在地 高さ(米)
- クケナム(英領ギアナ) 六〇九

- スザーランド(新西蘭) 五八〇
- ツニゲラ(ナダル) 五八〇
- リボン(米國加州) 四九一
- ロレイマ(英領ギアナ) 四七七
- カラムボ(南阿聯邦) 四三七
- ガブアルニー(佛蘭西) 四三三
- ヨセミテ(上)(加州) 三九六
- タツカツコー(英領コロンビア) 三六六
- ウイドース・テイーア(米國加州) 三五七
- スタウプバハ(瑞典) 二九九
- トリユンメルバハ(瑞典) 二八九
- ヴェツチス(諸威) 二五九
- マルトノマー(米領オレゴン州) 二五九
- ガーソツツパ(印度) 二五三

等の民主國では多く採用されてゐる。これにも種々な意義や形式があり、各々の國家が法律によつて規定してゐる。

イニシヤテイヴ

國民提案、民衆發議とも譯すべきもので、代議士による間接手段によらず、有権者直接に立法的意思表示をさせるものである。スミスでは有権者五萬人の賛成署名を得れば憲法の修正をすら提議することが出来る、スミスの各州では一定数の賛成署名を得れば自ら法案を作つて一般投票にかけることが出来る。

米國のオハイオ州では有権者總数の三パーセントの賛成署名を得れば自ら法案を起草して立法部の審議にかけることが出来る、立法部がこれを否決しても、更に別の三パーセントの賛成署名をうれば、一般投票にかけて採否を決定することが出来る。又オレゴン州では八パーセントの賛成署名をうれば一般投票にかけることが出来る、勝てば法律としての效力を發する。アイルランドでは有権者五萬人の賛成署名で憲法修正、法律制定を提議することが出来る、獨逸でも一パーセントの賛成署名で法案を議會に提出することが出来る、もし議會が否決すれば一般投票にかけることが出来る。

ることになつてゐる。

レフエレンダム

國民抗議、民衆再審議といふことで、イニシヤテイヴの反對

に、國民投票によつて既にある法律を否定する方法である。スミスでは有権者三萬人、或は八ヶ州からの要求があればレフエレンダムを行ふことが出来る、獨逸では有権者の五パーセントの署名を得れば國民の再審議にかける。アイルランドは有権者五パーセントの賛成署名か、上院議員五分の一の要求によつて法案をレフエレンダムにかけられる。

リコール

國民解職と譯すべきもので、國家の官吏に對し、上は大統領から下

は一巡查に至るまで、國民投票によつて免職にする権利がある。獨逸の大統領は國會議員の三分の二が同意すれば直ちに解職となる。但し有権者の過半数が議會の處置に反對すれば又復活することも出来る。而もこの時大統領は自らの職權で國民投票を行ひ、議會の處置を國民に問ふことも出来る。スミスの或る州では、議員が民意に反した行動をした時にはリコールを行ふことが出来る、米國の或る州では市長や

- カイエツール(英領ギアナ) 三六
- カラムボ(東アフリカ) 二五
- フェアリー(レイニアア公園) 二三
- テルニ(伊太利) 一九八
- マラダルスホス(諸威) 一九八
- スカイケホス(諸威) 一九八
- ブリドル・ヴェール(米國加州) 一八九
- ウオリングフォース(諸威) 一八三
- ネバダ(米國加州) 一八二
- スクヤエゲツタルソス(諸威) 一六二

行政官吏の端々に至るまで、リコールが行へるし、ソヴェート聯邦でもこれを認めてゐる。

我が國でも國會議員が法律案を提案する権利があり、國民は所謂陳情團を議會に送つて議員を動かすことが出来るが、陳情團は法律で許されたものではなく、決して國民投票といふことは出来ない。

高等官と勅任官とはどう違ふか

高等官と勅任官との區別はない。官吏を大別すると高等官と判任官との二つになり、高等官を更に細別すると一等から九等まであり、一等と二等を勅任官、三等以下を奏任官と呼び、勅任官中の特殊なものを親任官といふ。だから普通には親任官・勅任官・奏任官・判任官といふ順序で四種あるやうに考へてゐるのも正しい區別法ではない。併し事實上はその四段階になつてゐる。親任官は、天皇が特

- 前者は幅八百米、落差四十八米、後者は幅三百十二米、落差五十一米である。
- 世界の主要河川
- 名稱 河口 長さ(浬)
- 〔アジア〕
- オプ(オビ)(オプ湾) 五、二〇〇
- イエニセイ(北氷洋) 五、二〇〇
- 揚子江(黄海) 五、二〇〇
- レナ(北氷洋) 四、六〇〇
- 黒龍江(間宮海峡) 四、四八〇
- 黄河(渤海湾) 四、一〇〇
- インダス(アラビア海) 三、一八〇
- ガンガ・プラマプトラ(ベンガル湾) 三、〇〇〇

に御親ら命じ給ふ官吏で、官記(任命書)には天皇の親書と御璽(御判)があり、

内閣總理大臣又は主務大臣が副書する。その親任式は宮中で行はれ、天皇は臨御遊ばされ、總理大臣又は主務大臣が待立する。若し本人が病氣又は遠隔の地にあつて自ら親任式に臨めない場合には、國務大臣が代つてこれを傳達する。勅任官は總理大臣(宮内省では宮内大臣)が勅命を奉じて任命し、官記には御璽がある。奏任官は總理大臣又は主務大臣が奏薦し、總理大臣の傳宣によつて任命され、官記には内閣の印がある。判任官は一等から四等まであり、獨立官 廳長官によつて任命され、天皇直接の任命ではなく、従つて奏聞もされない。以上は本官であるが、猶この他に、これに準ずる待遇を受ける待遇官がある。

國務大臣と各省大臣の相違

大抵の國ではどちらも同一人が二つの機能を兼ねてゐるが、本来の使命(法律上の働き)は異つてゐる。例へば宮内大臣は各省大臣ではあるが國務大臣ではなく、無任所大臣は國務大臣ではあるが各省大臣ではない。國務大臣は憲法上の機關で、

- シル(アラル海) 二、八六〇
- アム(裏海) 二、五〇〇
- ウラル(同) 二、三七八
- ユウフラテス(イラン灣) 二、〇〇〇
- イラワジ(ベンガル) 二、〇〇〇
- 〔ヨーロッパ〕
- ヴォルガ(黒海) 三、五七〇
- ドナウ(ダニユープ) 二、八五〇
- (黒海)
- ドニエプル(同) 二、一五〇
- ドン(アゾフ海) 一、八六〇
- ドヴィナ(白海) 一、七六〇
- ペチヨラ(ペチヨラ灣) 一、五八〇
- ドニエストル(黒海) 一、三七〇
- ライン(北海) 一、三三六
- エルベ(同) 一、二五四

各大臣が單獨として天皇の大權を輔弼し奉り、國家統治の責任を負ふてゐる。國務大臣が法律・詔勅・條約等に必ず副書するのは、その責任の所在を明らかにしたものである。併し各省大臣は各省の長官であり、行政事務を掌る一官吏にすぎないから、各省次官と同様で、たゞその上位にあるだけである。従つて國務大臣としては總理大臣の了解を得たり、閣議で物を決める必要はなく、これ等は法律的にはみな各省大臣としてなされるのであるが、元來が同一人であるから、事實上は殆んどその區別がない。

樞密院の使命は何か

樞密院といふ名稱は英國にもあるが、これは政治家に與へられる單なる名譽の待遇で、それ自身殆んど何の仕事もないが、我國の樞密院は、天皇の諮詢機關であり最高顧問府である。同じく天皇の諮詢機關でも、内大臣は行政に關する常時輔弼の任にあるが、樞密院は立法・條約等に關し、天皇の御諮詢を受けた時に會議を開いて檢討し、多數決によつて決をとり、その結果を奉答するけれども、それは天皇に奉答するだけであつて、これを決定する權利はない。併しながらその奉答は事實上非常な權威のあるものであり、樞密顧問官たる者は國家の功勞者たるばかりでなく聲望・學識共に兼ね備へる第一人者達を網羅してゐるから、政府及び議會がいゝ加減な法律を定めようとしても、樞密院の眼の黒い間は思ふやうに行かない。だからこそ樞密院のことを「憲法の番人」と云はれてゐるのである。樞密院は、議長・副議長各一人のほか二十四人の顧問官があり、會議は顧問官が十三人以上出席して初めて成立するが、會議にはなほこのほか國務大臣が出席して決に加はる。天皇が會議に臨御しますは云ふまでもなく、成年以上の皇族男子も御臨席遊ばすことが出来る。

内大臣と宮内大臣の相違

内大臣は、天皇に對し奉り常侍輔弼の任にあるもので、御璽・國璽を保管し、

- ヴァイスツラ(バルト海) 一、二五
- ロアール(ビスケー灣) 一、〇三〇
- タホ(大西洋) 一、〇一〇
- ヂウムナ(リガ灣) 九三〇
- オーデル(バルト海) 九〇三
- グアヂャナ(大西洋) 八〇三
- メメル(タリワセス灣) 七六八
- ローヌ(地中海) 七五九
- ウエーゼル(北海) 七二二
- セーヌ(イギリス海峽) 七〇〇
- ポー(ヴェニス灣) 六八〇
- チームス(北海) 四〇五
- チベル(チレニア海) 三九三
- 〔アフリカ〕
- ナイル(地中海) 五、七六〇
- コンゴ(大西洋) 四、二〇〇

- ニジェル(ギニヤ湾) 四、一六〇
- ザンベジ(印度洋) 二、六六〇
- オレンヂ(大西洋) 一、八六〇
- 〔北アメリカ〕
- ミシシッピ(墨西哥湾) 六、五三〇
- セント・ローレンス(セント・ローレンス湾) 三、八〇〇
- マツケンジー(ポオフォート海) 三、七八〇
- ニューコン(ベールリング海) 三、六〇〇
- リオ・グランデ・デル・ノルテ(墨西哥湾) 二、八〇〇
- ウイニペツグ(ハドソン湾) 二、四〇〇
- コロンビヤ(大西洋) 二、〇〇〇
- コロラド(加州湾) 二、〇〇〇

詔書・國書その他の文書に關する事務を司る。樞密院も轉弼の任にはあるが、天皇の御諮詢を仰いだ時だけに樞密院會議を開いて奉答申し上げるのであり、その取扱ひ事項は大體制限せられてゐるが、内大臣は何事によらず統治事項に關し、いつでも奉答申し上げる役目にある。所が宮内大臣は、さういふ政治に關する事には原則として關係なく、皇室に關する事務を掌るものであつて、例へていへば、宮内大臣が執事なら、内大臣は顧問とか相談役とかいつたものである。二人とも大臣といふ名をつけられてゐるが、共に國務大臣ではない。従つて内大臣は政治に關して責任を問はれることはない。

詔書・詔勅・勅命はどう違ふか

共に 天皇がその大權によつて意思表示を遊ばされる形式であるが、詔書は嚴密にはそれ等の總稱であり、書面の形式を以てなされたものは皆詔書といふことが出来る。けれども普通には詔書は直接に法律的效力を有しない場合が多いが、統治の

- 〔南アメリカ〕
- アマゾン(大西洋) 六、二〇〇
- ラ・プラタ(同) 四、七〇〇
- オリノコ(同) 二、三三〇
- 〔大洋洲〕
- マレー(印度洋) 一、二〇〇
- ダーリリング(オーストラリヤ湾) 九九四
- 世界大都市人口
- (大體一九三〇—一九三七
- 年の調査に依る)
- (單位千人)
- ニユーヨーク 七、三六五
- 東京 六、二七四
- ベルリン 四、二五一
- ロンドン 四、一四一
- 上海 三、七六四

大本をお示しになることはある。勅書といふのも同様である。詔勅は國務に關して一時的效力を有するものであり、勅命は統治に關することばかりでなく、何事によらず 天皇が御命令遊ばされたことをいひ、勅令は純然たる法律的なものである。

勅令とはどんなものか

勅令とは 天皇が憲法第九條の定める所により命令を發し給ふたもので、これには大權命令・緊急命令・行政命令の三つがある。大權命令とは、憲法上 天皇の親裁し給ふ事項のみに就いて發し給ふ命令で、軍令に關すること、官吏の俸給に關することは大權命令であつて、これに對しては政府も議會も裁判所も何等容喙することが出来ない。

行政命令とは、公共の安寧秩序を保持し、臣民の幸福増進をはかるため、主として警察行政・經濟行政・教育行政等の内務行政に關して發せられ、又は行政官をして發せしめる命令であつて、これを獨立命令ともいふ。

モスクワ	三、六四三
シカゴ	三、六〇八
大阪	三、三二三
パリ	二、八三〇
レニングラード	二、七四〇
ブエノスアイレス	二、三六八
フィラデルフィア	一、九九五
ウイーン	一、八七五
デトロイト	一、七六九
リオデジャネイロ	一、七〇一
北京	一、五五七
カイロ	一、三〇七
ロサンゼルス	一、二九八
天津	一、二五四
シドニー	一、二三五
廣州	一、二〇七
カルカッタ	一、一九六
名古屋	一、一八七

勅令は勿論法律命令と同様に國民が守らねばならぬが、萬一それが他の法律と矛盾した場合には行政裁判に附することが出来る。なほ勅令は如何に天皇の大權發動であるとはいへ、勅令によつて憲法を變更することは出来ない。

緊急勅令はどんな時出るか

帝國議會は立法機關である。併し我が國では完全な立法機關ではなく、議會の協賛を得ただけでは法律たり得ず、これに天皇が御承認を與へ給ひ、勅令として發せられ、初めて施行力を持つ。併し法律は原則として一旦議會の協賛を得ねばならぬことになつてゐる。けれども議會閉會中にして極めて緊急を要する事が生じ、議會を召集してゐる暇のない場合には、天皇の大權を發動し、政府の責任に於て法律同様の效力を持つ法令を發することが出来る。これを緊急勅令といつてゐる。緊急勅令は、天皇の大權發動によるものではあるが、それは萬止むを得ない場合だから、次の議會までの間に合せであり、政府は次の議會に提出して承認を求め、若し

ローマ	一、一七九
ワルツィ	一、一七九
ボンベイ	一、一六一
サンパウロ	一、一五一
バルセロナ	一、一四八
京都	一、一三四
グラスゴー	一、一三〇
ミラノ	一、一四
ハンブルグ	一、〇九七
ブタペスト	一、〇五三
マドリッド	一、〇四八
メキシコ	一、〇三九
南 京	一、〇三〇
バーミンガム	一、〇一九
メルボルン	一、〇〇八
神戸	九六四
クリューランド	九三七
マルセイユ	九一四

承認を得れば恒久的法令となるが、萬一否定されたら、その時限り效力を失ふ。

帷幄上奏とはどんな事か

帷幄とは陣中に張り廻らした幔幕のことである。従つて帷幄上奏とは陣中上奏、即ち軍事上の事を直接帝王に申上げることである。我が天皇は大元帥にましまし軍隊は天皇に直屬する。國務大臣が何かを上奏しようとする場合には一應總理大臣の了解を得べきものであるが、陸海軍大臣が軍機軍令に關して上奏する場合には限りそれを要しない。即ち軍部大臣及び參謀總長等が政府の手を経ないで直接上奏するのを帷幄上奏といふ。

錦鶏間祗候とは何か

宮中には麝香間、錦鶏間などと名づけられた部屋がある。いづれも天機奉伺に參内する時、その身分や位により一定の間までしか進めない。昔は征夷大將軍は麝香

ナポリ	八七六
プラトグ	八四九
ボルチモア	八四八
リヴァプール	八四六
セントルイス	八三九
ボストン	八二二
モントリオール	八二〇
漢口	八〇五
アムステルダム	七八三
ケルン	七六二
横濱	七六〇
ミュンヘン	七五六
マンチエスター	七四四
イスタンブール	七四二
京城	七〇六
ライプツヒ	六九八
サンチャゴ	六九六
サンフランシスコ	六九三

間まで進めたが、大臣は錦鷄間までしか行けなかつた。この習慣が今に残つてゐるので、これは官位勳等とは異り、名譽の稱號にすぎない。今日では麝香間祇候者は舊公卿・大名華族・親任官及び明治維新の勳功者に限られ、錦鷄間祇候者は親任官を五年以上奉職した者及び勳三等以上の者の中で特に功勞多き者に仰付けられる。

軍人援護の諸法制

戦死者の一時賜金は何程頂けるか

軍人・軍屬・囑託者・工員等で戦死し、又は戦傷を受け、その負傷のために三年以内に死致した場合、又は、戦傷以外の傷を受け、この爲に三年以内に死致し、又は疾病にかゝつて二年以内に死致した場合には、特別の一時賜金が賜與される。その額は階級によつて相違があり、上級ほど多くなつてゐるが、上等兵で千四百圓である。

ピッツバーグ	六九二
アレキサンドリア	六八二
コペンハーゲン	六七五
モンテヴィデオ	六七四
バクー	六七〇
エツセン	六六二
マドラス	六四七
ブカレスト	六四一
ドレスデン	六三七
トリノ	六三七
ゼノア	六三一
トロント	六二八
ブレスタウ	六二五
キエフ	六二五
ハルコフ	六一九
ワシントン	六一〇
ミルウォーキー	六一〇
ロツヅ	六〇五

大將	二、二〇〇圓	大尉	七〇六圓	伍長	二二五圓
中將	一、九三四	中尉	五二〇	上等兵	一八〇
少將	一、六六七	少尉	四三四	一等兵	一六五
大佐	一、三八四	見習士官	三八八	二等兵	一五〇
中佐	一、一七三	曹長	二八五		
少佐	九六五	軍曹	二五五		

戦死者遺族扶助料は幾ら頂けるか

昭和十三年四月一日から恩給法が改正せられ、戦争又は事變で戦死した者の遺族へ與へられる扶助料は、従来よりも二割乃至八割増額せられ、上に薄く下に厚く、なほ遺族の人数により扶助料を増加するといふ非常な恩典が加へられた。然も従来は戦死後五年間だけ三割増だつたものを今度は無期限に割増することになつた。そ

ワッテルダム	五九五
リスボン	五九四
バツファロー	五九三
杭州	五七九
青島	五七一
リヨン	五七一
フランクフルト・アム・	
マイン	五五一
ハヴァナ	五五〇
奉天	五四七
ストックホルム	五四四
ドルトムンド	五四〇
重慶	五三三
タシケント	五三二
ヨハネスブルグ	五二九
シエフイーールド	五二八
ヂユツセルドルフ	五二五
ゴルキー	五二三

の割増額は二等兵は年額百五十圓が八割増の二百七十圓。一等兵は百六十五圓だつたのを八割増の二百九十七圓、上等兵は百八十圓だつたのを八割増の三百二十四圓、下士官は四割五分乃至五割五分増で、伍長なら二百二十五圓だつたものが三百三十八圓、尉官は四割増の少尉で六百五十四圓、佐官は三割増の少佐で千四百十圓、將官は二割増の少將で二千二百四十一圓である。猶遺族扶助料受給者で生活に困難してゐる者に對しては、社會政策の意味から、家族の人数により扶助料を加増せられる。その割合は次のやうである。

遺族の數	將官	佐官	尉官	準士官	下士官	兵
三人	五分	一分	割	二割	二割五分	二割五分
四人	一割	一割七分厘	三割	三割	三割五分	三割五分
五人以上	一割五分	二割五分	四割	四割	四割五分	四割五分

そこで家族が五人以上ある上等兵の遺族に對しては、三百二十四圓の四割五分で、百四十五圓八十錢増しの、合計四百六十九圓八十錢の扶助料となる。但しこれは生

オデツサ	五〇九
ニュー・オルレアンス	五〇九
ロザリオ	五〇八
ミネアポリス	四九二
リーツ	四九〇
盤谷	四八九
ヘーグ	四八七
長沙	四八一
成都	四八〇
ロストフ・オン・ドン	四七九
レシフェ	四七三
シンシナチ	四六九
エチンバラ	四六八
ダブリン	四六八
ハイダラバード	四六七
哈爾濱	四六五
アテネ	四五九
ニューアーク	四五八

活困難なる者に限るのであるから、別段の申告のない者には規定の扶助料を給與せられるだけであり、他の収入がある場合にも配慮せられる。即ち生活の實狀に照して減率したり、給與しなかつたりすることがある。

遺族扶助料は誰に給せられるか

軍人が公務で死亡した場合には遺族へ遺族扶助料が給せられる。但しこれを受けるときには規定により順序がある。(これは一般官吏の遺族の場合も同じ) 第一に妻、二に未成年の子(未婚者に限る) 三に父、四に母、五に成年の子(但し不具廢疾者で生活資料を得る道がなく、且扶養者のない場合) 六に祖父、七に祖母の順序であり、一がなければ二、二がなければ三といふ風に、順々に受けて行く。但しこれにも種々の資格を必要とする。第一の妻は内縁であつてはならない。尤も内縁の妻も漸く権利が認められるやうになつたが、手續が面當である。但し夫の戦歿後も婚姻届は受理せられるから、手續を経れば正妻となり得る。二の未成年の子にも順序が

ハノーヴァー	四三三
スフェルド	四三〇
デリー	四二七
シンガポール	四二六
濟南	四二四
ヂュニスボルグ	四二〇
ベルファスト	四一八
シユツツトガルト	四一七
バタヴィア	四一五
ラホール	四一〇
チフリ	四〇六
カンサスシチー	四〇四
パレルモ	四〇一
プリストル	四〇〇
ニユルンベルヒ	三九八
ウツペルター	三九六
蘇州	三九三
ラングー	三九〇

あり、第一に嫡出男子、二に庶出男子、三に嫡出女子、四に庶出女子である。養子は一般には扶助料を受けられないが、死亡した軍人が戸主か或は家督相續人であつて、それが死亡した事によつて家督相續人となるべき養子に限り扶助料を受ける資格がある。次に父母や祖父母は、養父母でも繼父母でもよく、軍人が養子に行つた場合には養父母を先にし、實父母を後にする。兄弟姉妹は大體その資格がないものとされてゐるが、その兄弟姉妹が未成年者で生活資料を得る道なく、扶助を受ける者がない場合か成年者であつても不具廢疾のため生活資料を得る道なく、且つ扶養者が不在の場合に限る。なほ出征前に妊娠中であつた胎兒が父死亡後に無事に生れて生長した場合には、勿論子として取扱はれる。

傷病軍人歸郷手當は幾らか

白衣勇士に對する種々な恩典は傷兵院の項で説いた通りであるが、なほ陸海軍病院を出て歸郷した場合には、毎月左の手當が支給せられる。これは昭和十三年四月

スターリング	三九〇
イバダン	三八七
リガ	三八五
ドニエプロペト	三八五
ク	三八五
インディアナ	三八〇
大連	三七七
シアトル	三七五
福州	三六八
サン・サルヴァドル	三六四
ヴァイクトリア	三五八
マニラ	三五二
ヴァレンシア	三五三
フウーストン	三四三
スラバヤ	三四二
ルイスヴィル	三四一
サラトフ	三四〇
ブレメン	三三七

二十二日の勅令によつて改正せられたもので、従來のものに比し、兵に於て約七倍強、下士官で六倍乃至七倍強、准士官見習士官で三倍から五倍、尉官以上で二倍半から三倍弱となつた。

一二等兵	四一・五〇	(五・七〇)	中	尉	二	八五・〇〇	(三・〇〇)
上等兵	四二・四〇	(五・七〇)	大	尉	二	四四・一六	(四・二〇)
伍長	四四・〇〇	(七・五〇)	大	尉	一	一三・五〇	(一・五〇)
軍曹	四八・五〇	(八・五〇)	少	佐	二	一四・一六	(六・四〇)
曹長	六〇・〇〇	(九・五〇)	中	佐	一	二四・一六	(八・五〇)
見習士官	五二・〇〇	(二・五〇)	大	佐	二	三三・三三	(三・三三)
准士官	七六・〇〇	(二・〇〇)	少	將	二	四一・八三	(一・六〇)
尉	八〇・〇〇	(二・〇〇)	中	將	一	四六・六六	(一・四九・〇〇)
少尉	七〇・三三	(二・六〇)	大	將	一	四八・三三	(一・七〇・〇〇)
			大	將	一	五五・〇〇	(二・三三・〇〇)

改正額 (舊規定)

改正額 (舊規定)

ロチエスタ	三三七
ケムニツツ	三三六
ケーニスベルヒ	三三五
フロレンス	三三一
ポルト・アレグレ	三三八
ジャージー・シチー	三三八
ゲルゼンキルヘン	三三七
廣島	三三七
コロンバス	三三三
キングストン・アボン	三三三
ハル	三三三
マゲデブルグ	三三〇
武昌	三三〇
テヘラン	三三〇
チヌーリツヒ	三三八
ルポオウ	三三六
アトレイド	三三五
ポートランド	三三五

なほこのほかに傷病賜金として兵は百五十圓から六百圓、下士官は百六十五圓から六百六十圓までの一時賜金が給せられ、其額は傷病の原因と程度によつて異なる。

傷兵保護院はどんな仕事をするか

傷兵保護院は厚生省の外局として、昭和十三年四月十六日開設し、三千五百三十萬圓の豫算を計上して、傷兵軍人の醫療保護と職業補導をすることにした。事業を大別すると、第一に傷兵及び國民の教養教化で、傷兵軍人の名譽を長く保ち、再び君國に奉公し得るやう志操を教化する一方、國民に對しては、傷兵軍人に尊敬と感謝の念を抱かしめ、その自力更生に協力するやう教化する。第二には醫療保護で、陸海軍病院を退院した後に病が再發したり、完全に治り切らなかつたりする者に對して、適當な醫療保護を加へる。その施設として傷兵軍人療養所、傷兵軍人温泉療養所、委託療養、居宅醫療等がある。傷兵軍人療養所は、内科、殊に胸膜炎や結核性の病氣を持つ人を收容するためのものであり、五百人收容のものを全國に二十五ヶ所設立される。温泉療養所は、病氣はよくなつたが季節の變り目毎に痛むとか、その他物理的治療を施さねばならぬ者のために全國の温泉地十ヶ所に百人收容のものを作られる。委託療養は、各地の官・私立療養所や病院・温泉旅館等に委託して治療させるもので、原則として上記の療養所が全部完成するまでの一時的便法となつてゐる。居宅療養は自宅にあつて近所の醫師の治療を受けるもので、傳染性の病氣でなく、入院するほどの重態でない人又は入院出来ない者のために作つた便法で最も多く利用されてゐる。その他精神病系の者は收容人員百人の精神療養所を一ヶ所設ける筈である。これ等の治療に要する費用は一切國庫の負擔であるは云ふまでもなく、療養所までの往復旅費も國庫で支出する。第三は職業補導で、傷兵軍人の希望や還境に應じて職業の再教育をしたり就職の斡旋をする。職業再教育機關としては、大阪府の堺市と福岡縣の小倉市とに傷兵軍人國立職業補導所を設け、洋服、洋裁、家具工藝、製圖、精密機械、旋盤等に關する技術を一ヶ年乃至二ヶ年で習得せしめるほか、他の工場や會社・學校等に委託して短期間の職業補導を行ふ。こゝ

ボフム	三三五
アーマダバード	三三四
ベレン	三三一
ダラス	三三一
ノヴォシビルスク	三三〇
福岡	三〇八
開封	三〇七
トレド	三〇七
バンガロア	三〇六
ブリスベーン	三〇六
セントポール	三〇六
オー克蘭ド	三〇六
臺北	三〇三
南昌	三〇二

右のうち支那の各都市人口は推定で、確かなものではない。

帝國經濟統計

重要輸出品

品別	昭和二年	同一二年
綿織物	四八三、五九一	五七二、〇六四
生糸	三九二、八〇八	四〇七、二一七
人造絹	一四九、一六九	一五四、八〇〇
織物	八二、〇三四	一〇九、八八一
機械及	七二、〇七六	八六、九〇五
部分品	六八、〇二六	七三、二六六
織物	三八、三四四	五四、九〇五
絹織物	四〇、三〇二	四〇、二一六
鐵製品	四三、五四八	五〇、九七一
陶磁器	五〇、〇八三	
毛織物		

には義肢製作所が附屬してをり、こゝに入所してゐる者は勿論、一般傷痍軍人に對して作業用の義肢を無料で支給する。なほ東京にある財團法人啓成社は早くからこの種の仕事をやつてゐたが、今回政府は三十萬圓の補助金を出し、約百人の傷痍軍人を收容してもらふ事になつた。その教科目は、洋服、ミシン裁縫、家具工藝、旋盤、製圖等である。失明軍人に對しては東京市に寮舎を設けて日常生活を指導し、希望者は東京盲學校の中で特に失明傷痍軍人教育所を作つて教育し、他に希望によつて鍼灸、マツサージ、速記術、點字印刷等の職業輔導をする。又、職業の再教育を受けるために特に學校教育を必要とする者に對しては學費を給與し、その額は専門學校以上で一年六百圓以内、中等學校程度で年三百圓以内である。傷兵院第四の事は、優遇に關する事業で、傷痍軍人の子弟には中等程度以上の教育を受けられるやう資金を補助するとか、修養團體たる大日本傷痍軍人會へ補助金を與へ、全國に支部を設けて身上相談に應じるとか、傷痍軍人保護機關として新たに財團法人を設けるとか、軍人傷痍記章を授けて他の偽物と區別し、これに各種の便宜を與へ

シヤツ	四三、〇二五	四九、四六二
人造絹糸	二九、一七三	四四、八〇三
玩具	三六、四九九	四三、二九四
紙類	二七、五四四	三六、七〇七
木材	二四、七〇三	三五、四二一
硝子及	二五、六二七	三三、五七二
同製品	一七、六二一	三〇、七四五
小麥粉	一九、七三六	二六、三三六
帽子及	三五、四九五	三三、六六一
植物油	一三、二二九	二二、一八〇
茶	一八、五六六	二二、六四九
ランプ及	三三、二二六	二二、九二五
部分品	一七、七九七	二二、三三四
水産物	六、〇九〇	一九、八四四
靴	二〇、九七六	一八、五七六
汽船		
精糖		

又は與へるべく助力するとかいふことをする。

軍事扶助法とはどんなものか

軍事扶助法とは、軍人遺族扶助料や傷痍軍人への扶助とは異なり、戦争又は事變等による出征兵ばかりでなく、平時の入營兵の家族に對しても扶助の手が差向けられるものである。即ち、この扶助を受ける資格のある者は、現役兵の入營、下士官兵の應召、或は以上の者の傷病、又は死亡等が原因で生活に困難する所の(一)下士官兵の家族、(二)下士官兵の遺族、(三)傷病兵、(四)傷病兵の家族、(五)傷病兵の遺族の五種類である。但しこの中でいふ「下士官兵」とは、曹長以下の一般兵であり、「傷病兵」とは、戦闘、公務のため、或は故意や重大な過失でなくして傷痍を受け疾病にかゝり、豫後備・補充・國民兵役等の一段階以上を免じられた者を云ひ、「家族、遺族」とは下士官兵と同一戸籍内にある者はいふまでもなく、當時下士官兵と同一家庭に起居してその扶養を受けてゐた者のことである。但し内縁の妻

自動車部分品	一五、三七	一八、三八
メリヤス靴下	一三、七八	一七、五九
襪	一五、七六	一七、一三
テーパー	一〇、四二	一六、〇三
クロール	一一、八三	一五、五三
身邊装飾用品	一〇、一八	一五、四三
魚油及	一三、七〇	一五、三三
絶縁電線	九、八五	一五、一〇
銅	一一、〇九	一四、三九
毛織糸	一四、九三	一三、八七
手巾	一一、六三	一三、七三
肩紐	七、四三	一一、八五
肩掛	七、九五	一一、二五
サロン	五、六三	六、九一

は同一家庭内にあつて扶養は受けてゐるが、民法上扶養を受くべき者となつてゐないから資格がない。但し近頃では、なるべく事實に即して内縁の妻の権利をも認めるやうになつた。扶助の方法は、原則としては「居宅扶助」であるが、事情により養育院・病院・養老院等に收容する場合もあり、その場合には扶助料は直接本人に渡さず、その收容機關に渡す。居宅扶助は、現金又は物品を本人に渡すが、その額は一般的生活程度により適當と認める額を市町村長が決定する。従つて地方により異なる。これには次の六種がある。

生活扶助——生活費を與へるもので、その額は地方によつて異なり、例へば東京府では市部は一人一日五十錢以内、郡部は四十錢以内である。或る縣では、市部は三十五錢、郡部は三十錢となつてゐる。而して家族の人数が増す毎に一定の率を以て増加される。今東京府の例をとつてみると、次のやうである。

人数	市部月額	郡部月額
一人	十五圓まで	十二圓まで
二人	二十八圓まで	二十一圓まで
三人	三十八圓まで	二十九圓まで
四人	四十七圓まで	三十六圓まで
五人	五十一圓まで	四十二圓まで
六人	五十九圓まで	四十六圓まで
七人以上	六十二圓まで	四十九圓まで

魚粉	七、四三	一一、一五
自動車部分品	九、二九	一〇、八二
きもの	一〇、五一	一〇、三七
硬化油	一〇、〇三	一〇、一四
石炭	一〇、三六	九、九二
ケツト	七、七七	九、八七
地氈	八、四七	九、七〇
豆類	七、〇〇	九、三三
綿タオル	六、八二	八、九三
ワイシャツ	六、五八	八、〇六
スフ	三、七八	七、九六
眞田	三、二〇	七、八七
除虫菊	三、二〇	七、六九
スフ糸	—	七、四〇
シラツ	五、六三	六、九一

但しこれは「生活に困難なる者」だから、困難しない者は受けられないし、困難してゐても他に定収入のある場合には、その額だけ扶助額の中から差引かれる。

医療扶助——軍事扶助を受ける者が傷病にかゝり医療を受ける場合には、生活扶助以外に医療扶助をする。居宅医療の場合には一人一日五十錢以内、入院医療の場合には一人一日二圓五十錢以内とする。

助産扶助——出産の場合には助産費として、居宅出産には一回十二圓以内、入院出産には一人一日二圓五十錢以内とする。

スフ織物	六、八七一
セメント	八、〇〇一
寒天	五、五七四
紡績絹	七、二五九
織糸	六、五三三
清酒	三、九八〇
合成染料	五、九九〇
重要輸入品	六、二六九
緑綿	八四九、七四九
羊毛	二〇〇、八九八
護謨及	八二、五二七
樹脂	一三三、二八七
豆類	八二、六〇一
人絹用	四四、〇五六
バルブ	八〇、三七〇
木材	五五、五四七
石炭	六四、八一七
肥料	五九、三三四
	四八、二〇〇

但し以上の二つは本人に手渡さず、地方長官から直接醫師・産婆に支拂ふ。
 埋葬費——家族が死亡した場合には、埋葬を行ひ、又は埋葬を行ふ者に對して十二圓以内を支給する。

生業扶助——何かの生業に就かうとする時は、その資金・資料を貸與する。即ち開業する者には資金・器具・資料代として一世帯に百五十圓以内を、何かの技術を習はうとする者には、居室では一人一日二十五圓以内、收容では一人一日六十圓以内を貸與する。但しこれは「貸與」だからその業で収益を得たら返さなくてはならない。

臨時生活扶助——不時の災害を受けた時は一世帯に對し三十圓以内を支給する。

これ等は軍人が應召中又は入營中に限られてゐるが、必要な場合には除隊後二十日間延長することが出来る。

軍事扶助法による扶助を受けようとするには、世帯主から住居地の市町村長を経て地方長官に願書を出せばよく、役場へ行けばその手續は判るが、なほ方面委員や

皮類	二四、三八五	四四、五七一
麻類	三七、三〇〇	四〇、九九四
物維織	四二、八九五	四〇、五四四
採油用	二二、〇〇〇	三六、三四九
種用	二二、三九二	三〇、八一〇
燐鐵石	三三、六五〇	二九、六〇四
小麥	一七、七六一	二八、九一〇
食鹽	二〇、五二五	二六、四三〇
玉蜀黍	三三、九二九	二〇、一九一
硫酸安	九、三八八	一九、六九一
硫酸加里	二〇、九二七	一八、八〇六
砂糖	一一、四〇四	一六、九二七
合成染料	一〇、五五三	一五、七八五
鹽化加里	八、七三四	一〇、六五三
數	七、六一八	一〇、三三三
縫衣機		

在郷軍人會等も懇切に世話してくれる筈である。

軍人援護資金とはどんなものか

軍人援護資金とは帝國軍人援護會から軍人の遺家族に對して支給する扶助金である。軍人の遺家族の生計扶助は、前の軍事扶助法で殆んど充分に盡されてゐるから、觀はあるが、何分にもこれは法令により政府が行ふものであるから、法令に縛られた不自由な所がある。例へば内縁の妻などには容易に支給されない。けれども世間には内縁の妻にして正妻以上の良妻賢母が幾らもある。さういふ者、つまり法律の保護を受け得ない者で事實上は受けてもよい筈のものに對し、簡単に救ひの手をのべようとするのがこの軍人援護資金である。従つてこれは、軍事扶助法の扶助を受ける迄の間、又はその後眞に生業を得るまでの間等に軍事扶助法と同様の扶助を與へる。この金は地方長官の権限の中にある。

なほこの他に、軍人及び遺家族援護の公私の施設や機關は幾らもあるが、昭和十

石絨及製品	六、一〇二	九、六二八
毛織物	九、六七五	九、三九一
印刷料紙	一〇、一六四	九、一七〇
飼料	八、八二二	八、九二五
高粱	七、五九五	八、五八一
鳥獸肉	九、一三三	八、二八〇
屑及故	八、一三〇	七、八三五
織維	七、八〇〇	七、七四一
獸毛	五、四六四	七、五九一
革類	三、五五三	六、六〇二
珈琲	三、九四八	六、三九二
寫眞器及	七、〇七五	六、三三六
部分品	五、六二四	六、二七七
寫眞用フ	三、〇七五	六、三三六
貴石	五、六二四	六、二七七
寫眞用フ	三、〇七五	六、三三六
イルム	五、六二四	六、二七七

國別輸出額

國名	昭和十一年	同十二年
亞細亞洲	一、三七〇、九六九	一、六四五、九四四
滿洲國	一、〇八五、九	二、六〇九、一
關東州	三、五七、一六四	三、九五、九一六
中國	一、五九、六九〇	一、七九、二五〇
露領亞	三、三、九三二	三、三、八五〇
細亞	五、八、四四五	四、九、一五〇
暹羅	四、三、〇三八	四、九、三八一
海峽植	五、八、七七〇	六、七、四三三
民地	二、五、一〇七	二、九、三六六
英領	一、三、八四〇	一、八、六五五
印度	一、九、〇一八	二、三、六四四
シラク	一、三、〇七七	一、九、二四九
イラク	一、三、〇七七	一、九、二四九
シリヤ	一、三、〇七七	一、九、二四九

三年十二月一日には恩賜財團法人軍人援護會が新しく生れた。これは恐れ多くもその秋、軍人の遺家族を救へとの有難き思召により御内帑金三百萬圓を御下賜遊ばされた大御心を體し、この御下賜金を基礎とし、各方面有志の寄附を集めて恩賜財團法人を組織したものであつて、事業の内容は大體上述のものと同じく、朝香宮鳩彦王殿下を總裁に奉戴し、陸軍大將元侍從武官長の奈良武次氏を會長とし、既に活潑な活動を開始してゐる。

最近の社會的立法

國家總動員法はどんな内容か

國家總動員法は第七十三議會を通過し、昭和十三年四月一日公布、同年五月五日から施行せられた法律で、全部五十條から成つてゐる。そのうち第三十二條以下の十九ヶ條は罰則を示したもので、本法の内容を示すものは三十一ヶ條である。第一

條には、

本法ニ於テ國家總動員トハ戰時ニ準スヘキ事變ノ場合ヲ含ムニ際シ國防目的達成ノタメ國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムルヤウ人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ

とあり、その人的及び物的資源の統制運用を種々に規定したものである。従つて必要ある時は國民及び法人・團體等を徵用して總動員業務に従事せしむるほか、労働者の使用、傭入、解雇、労働時間等を制限するのみか、労働賃銀をも制定し、作業所の作業の中止や閉鎖、労働争議の制限、解決、禁止等をも命じることが出来る。又、物資の生産、修理、配給、譲渡、その他の處分、使用、消費、所持、移動、輸出入等に必要な命令を加へ、或る場合にはこれを強制使用したり收用したりすることも出来る。物ばかりでなく、資本に對しても同様で、配當や利子を制限したり、原價償却や積立金繰入、その他資金運用に關して命令を發し、金融業者にも強制貸付を命じることがある。又、工場、事業場、艦船、建造物、土地、水、動力等を管

ウルグアイ	七、八九一	二〇、二〇六
伯刺西爾	八、八〇〇	一七、三〇五
ヴェネズエラ	七、八二四	九、一三八
阿弗利加	一九七、七〇二	二四二、七三五
埃及	四〇、九〇六	三三、七七三
アンダロ、エ	一一、九一四	一五、八一〇
ジブチ、アン	一一、九一四	一五、八一〇
スーダン	一一、九一四	一五、八一〇
ケニア、ウガ	三〇、六〇一	四〇、一二二
イカ	三〇、六〇一	四〇、一二二
モザンビク	一〇、八六〇	一六、〇五四
南ア	四二、五三三	五三、七四八
聯邦	四二、五三三	五三、七四八
白領	七、六四八	一六、四七四
ンゴ	七、六四八	一六、四七四
カルメ	三、〇九四	五、六六一
ンズ	三、〇九四	五、六六一

られない——といふだけのことで、一般國民には大して影響はない。従つて社會的問題になつてゐるといつても、上層階級だけの事であつて、一般的なことではない。國家總動員法が全面的に發動せられ、一般國民、即ち國民の大多數をなす勞働階級が、雇用の自由契約を制限せられ、賃銀さへ制限せられ、職能登録をして何時徴用せられてもよいやう、本も子も擧げて國家に委せた態勢を取つてゐる際に一部金持階級が若干の利益を制限せられる位のことには當然といふべきである。

國民登録制とはどんな事か

國民登録制とは、國民各自の持つ職業能力を國家機關に登録しておく、必要な場合の動員に便ならしめようために設けられた法律である。これは國家總動員法第二十一條に規定されてゐる。即ち、

第二十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帝國臣民及帝國臣民ヲ雇傭若ハ使用スル者ヲシテ帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ヲ

申告セシメ又ハ帝國臣民ノ職業能力ニ關シ検査スルコトヲ得

ナイジャ	七、〇一〇	一四、六八三
リヤ	七、〇一〇	一四、六八三
コールド	三、五六五	六、七六六
コスート	三、五六五	六、七六六
佛領モ	二〇、五二二	一八、二八三
ロツコ	二〇、五二二	一八、二八三
大洋洲	九七、七三六	一〇六、四三三
濠洲	六八、七六三	七三、〇七九
新西蘭	一六、七四〇	一九、三五八
布哇	九、二九九	一一、一五四

備考—昭和十二年輸出額
五百萬圓以上の國のみ舉
げ各洲輸出額は本表掲載
の國以外の分をも含む。

國別輸入額

亞細亞洲	一、〇六〇、一八九一、二九五、一四
滿洲國	二〇五、五六六 二四九、〇七一

この規定によれば如何なる職業に關しても登録せしめ得るので、政府は必要に應じ次々に法令を發してゐる。即ち、先に、醫師、齒科醫師、藥劑師、看護婦には「醫療關係者職業能力申告令」を、船員には「船員職業能力申告令」を、獸醫師には「獸醫師職業能力申告令」を制定實施し、昭和十四年一月には更に「國民職業能力申告令」を發した。普通「國民登録」と呼ばれるのは是れのことである。併しこれは、目下の所、一切の職業を意味せず、「厚生大臣が指定する職業」だけで、主として軍需産業又は作戦用兵上最も必要と認められた職業百三十餘種に限られてゐる。従つて農業、商業、事務方面の官吏や社員等は除外されてゐる。併しそれとも萬一必要が生じれば何時「厚生大臣が指定する」かも知れないから、その場合には何人も、何時でも申告し得るやう心の準備をしておかねばならぬ。

どんな者が國民登録をするのか